

ANNUAL REPORT 2020-2021, UGSAS, TOTTORI UNIV.

# 年 報

令和2年度



TOTTORI  
UNIV.



SHIMANE  
UNIV.



YAMAGUCHI  
UNIV.

鳥取大学大学院連合農学研究科

# 目 次

## 第1部 教育活動

### 第1章 学生の在籍状況

1 学生の在籍状況（全体）	1
2 外国人留学生在籍状況	1
3 社会人学生在籍状況	2
4 学生名簿	3

### 第2章 学生の研究活動（公表論文等）

#### 平成29年度以前入学生

1 生物生産科学専攻	8
2 生物環境科学専攻	10
3 生物資源科学専攻	11
4 国際乾燥地科学専攻	13

#### 平成30年度以降入学生

1 生産環境科学専攻	16
2 生命資源科学専攻	21
3 国際乾燥地科学専攻	26

### 第3章 学位授与者

1 入学者に対する在学3年間での学位授与者数及び学位取得率	31
2 課程修了者	32
3 論文提出者	33

### 第4章 就職状況（学位取得者の就職先）

1 課程修了者	34
2 論文提出者	35

### 第5章 共通セミナー（日程表）

1 2020年度前期連合一般ゼミナール（日本語）日程表	36
2 2020年度後期連合一般ゼミナール（英語）日程表	37
3 2020年度各専攻特論開講表	38
4 2020年度「科学コミュニケーションⅠ」日程表	39
5 2020年度「科学コミュニケーションⅡ」日程表	40

## 第2部 教員の研究活動

### 第1章 公表論文

- 1 生産環境科学専攻 ..... 4 1
- 2 生命資源科学専攻 ..... 5 2
- 3 国際乾燥地科学専攻 ..... 6 1

### 第2章 招待講演

- 1 生産環境科学専攻 ..... 6 9
- 2 生命資源科学専攻 ..... 7 0
- 3 国際乾燥地科学専攻 ..... 7 1

### 第3章 学術賞等の受賞 ..... 7 2

### 第4章 研究助成 ..... 7 4

### 第5章 その他の教育研究活動 ..... 8 3

## 第3部 組織・運営

### 第1章 主指導教員の教育研究分野一覧 ..... 8 7

### 第2章 委員会

- 1 研究科委員会（委員及び審議事項等） ..... 8 9
- 2 代議委員会（委員及び審議事項等） ..... 9 1

### 第3章 令和2年度連合農学研究科教員

- 1 有資格教員（教授・准教授・講師・助教）一覧 ..... 9 5
- 2 担当教員を補助する教員（助教）一覧 ..... 9 6

### 第4章 その他

- 1 組織 ..... 9 7
- 2 予算規模 ..... 9 8
- 3 行事 ..... 9 9

## 第4部 在学生へのアンケート ..... 1 0 0

「学生及び教員の研究活動」の掲載基準 ..... 1 1 9

# 第 1 部 教育活動

# 第1部 教育活動

## 第1章 学生の在籍状況

### 1 学生の在籍状況（全体）

専攻	連合講座	鳥取大学	島根大学	山口大学	合計
生産環境科学	農業生産学		3	1	4
	経済・経営学	3	1	1	5
	森林・流域環境科学	5	2		7
	環境生物学	1	7	3	11
生命資源科学	菌類・きのこ科学	9			9
	生物機能科学	3	2	1	6
	資源利用化学	5	5		10
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	25	1		26
生物生産科学*1	農業生産学	1	4		5
	森林資源学	1			1
	経済・経営学	1	1		2
生物環境科学*1	生産環境工学	1			1
	環境科学	1	2		3
生物資源科学*1	生物機能科学*2	2	3	1	6
	資源利用化学		1		1
国際乾燥地科学*1	国際乾燥地科学	15			15
合計		73	32	7	112

(注) ※ 112名には、令和2年9月修了者11名及び令和2年10月入学者10名を含む。

\*1…平成29年度以前入学生

\*2…生物機能科学には、名称変更前の資源生物科学の学生数も含む。

### 2 外国人留学生在籍状況

平成30年度以降入学生

専攻	生産環境科学									生命資源科学						国際乾燥地科学			合計										
	農業生産学			経済・経営学			森林・流域環境科学			環境生物学			菌類・きのこ科学			生物機能科学							資源利用化学			国際乾燥地科学			
連合講座	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	計				
中国				1	1			1					1								5			7	2	0	9		
バングラデシュ		2								1						1	1		3						0	7	1	8	
タイ						1				1															1	1	0	2	
インドネシア													4												4	0	0	4	
ベトナム												1													0	0	1	1	
韓国				1																					1	0	0	1	
モンゴル																					1				1	0	0	1	
インド																		1							0	1	0	1	
タジキスタン																							1		1	0	0	1	
スーダン														1										7		8	0	0	8
エチオピア																							4		4	0	0	4	
ナイジェリア																						1	1		1	1	0	2	
エジプト																						1			1	0	0	1	
ベナン											1														0	1	0	1	
チュニジア												1													0	1	0	1	
ブルキナファソ				1																					1	0	0	1	
ケニア																						1			1	0	0	1	
小計	0	2	0	3	1	0	1	1	0	0	4	1	5	0	0	1	1	1	0	4	0	21	1	0	31	14	2	47	
計		2		4			2			5			5			3			4			22							
合計										13									12			22						47	

平成29年度以前入学生

専攻	生物生産科学									生物環境科学			生物資源科学			国際乾燥地科学	合計											
	農業生産学			森林資源学			経済・経営学			生産環境工学			環境科学			生物機能科学					資源利用化学		国際乾燥地科学					
連合講座	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	計						
中国							1												2			2	1	0	3			
バングラデシュ													1			1							0	2	0	2		
タイ		1		1			1									1							2	2	0	4		
エジプト																			1				1	0	0	1		
スーダン															1								1	0	0	1		
エチオピア																						4			4	0	0	4
ウガンダ																						2			2	0	0	2
小計	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	9	0	0	12	5	0	17
計	1			1			2			0			1			3			0			9						
合計	4									1			3			9			17									

3 社会人学生在籍状況

平成30年度以降入学生

専攻	生産環境科学				生物資源科学			国際乾燥地科学	合計				
	農業生産学	経済・経営学	森林・流域環境科学	環境生物学	菌類・きのこ科学	生物機能科学	資源利用化学	国際乾燥地科学					
鳥取大学				2		1	1	1					5
島根大学	1			1	1			1					4
山口大学													0
合計	1	0		3	1	1	1	2			0		9

平成29年度以前入学生

専攻	生物生産科学			生物環境科学		生物資源科学		国際乾燥地科学	合計			
	農業生産学	森林資源学	経済・経営学	生産環境工学	環境科学	生物機能科学	資源利用化学	国際乾燥地科学				
鳥取大学	1			1	1	1		4				8
島根大学	3					1	1					5
山口大学												0
合計	4	0	0	1	2	2	0	4				13

※生物機能科学には、名称変更前の資源生物科学の学生数も含む。

## 4 学生名簿

連 合 講 座	入 学 年 度		氏 名	配 属 大 学	主 指 導 教 員 名	備 考
平成29年度以前入学生						
農業生産学	27後		加古 哲也	島根	小林 伸雄	社会人学生
	27後		金森 健一	島根	浅尾 俊樹	社会人学生
	28		中村 広樹	鳥取	田村 文男	社会人学生
	29		持田 耕平	島根	小林 伸雄	社会人学生
	29後	☆	MEANCHAIPIBOON SUNISA	島根	中務 明	私費留学生
森林資源学	29後	★	CHERNKHUNTHOD CHONTHIDA	鳥取	日置 佳之	私費留学生
経済・経営学	29後		VIANMANA SUKONTIP	鳥取	能美 誠	国費留学生
	29後	☆	PENG WEI	島根	伊藤 康宏	私費留学生
生産環境工学	24後		森 明寛	鳥取	日置 佳之	社会人学生
環境科学	26		藤井 美希	鳥取	児玉基一朗	社会人学生
	27後		辻谷 睦巳	島根	山口 啓子	社会人学生
	29後		SALEHIN AHSANUL	島根	井藤 和人	私費留学生
資源生物科学	19後		北 実	鳥取	有馬 二郎	社会人学生
生物機能科学	27後		TAHERUZZAMAN KAZI	島根	松崎 貴	私費留学生
	29		飯田 亮平	山口	阿座上弘行	
	29	★	田部 卓磨	島根	川向 誠	
	29後		JUMPATHONG JOMKWAN	島根	川向 誠	私費留学生
	29後	★	SARA AHMED ELTIGANI EBRAHIM	鳥取	有馬 二郎	国費留学生
資源利用化学	29		岩崎 啓太	島根	山本 達之	
国際乾燥地科学	25		加藤 敦司	鳥取	明石 欣也	社会人学生
	27		アクリッシュ 穂波	鳥取	山本 定博	社会人学生
	28		SHAO YANG	鳥取	安 萍	私費留学生
	28		田中 晴飛	鳥取	山中 典和/ 衣笠 利彦	
	29		笹川 大輔	鳥取	西原 英治	
	29	☆	GOU, XIAOWEI	鳥取	恒川 篤史	私費留学生
	29後		糀 妙子	鳥取	辻本 壽	社会人学生

連 合 講 座	入 学 年 度		氏 名	配 属 大 学	主 指 導 教 員 名	備 考
国際乾燥地科学	29後	★	小中 隆文	鳥取	明石 欣也	
	29後	★	ACIDRI ROBERT	鳥取	西原 英治	国費留学生
	29後	★	BASALIRWA DANIEL	鳥取	西原 英治	国費留学生
	29後	★	ASMAA ABDALLAH TALKHAN ALHAMSHRY	鳥取	清水 克之	私費留学生
	29後	★	ZEWDU SHIGDAF MEKURIAW	鳥取	恒川 篤史	国費留学生
	29後	★	GEBRU BIRHANU KEBEDE	鳥取	Nigussie Haregeweyn Ayehu	私費留学生
	29後	★	MESSALEA GETU ABEBE	鳥取	Nigussie Haregeweyn Ayehu	私費留学生
	29後	★	BERIHUN MULATU LIYEW	鳥取	Nigussie Haregeweyn Ayehu	私費留学生
平成30年度以降入学生						
農業生産学	30	☆	DHAR PROTIMA	鳥根	松本 真悟	私費留学生
	30	☆	水田 圭祐	山口	荒木 英樹	
	1後		郷原 優	鳥根	小林 伸雄	社会人学生
	2		RAZZAK MD ABDUR	鳥根	浅尾 俊樹	国費留学生
経済・経営学	1後		LEE JAEHWAN	鳥取	松村 一善	私費留学生
	2		橋本 芙奈	山口	高橋 肇/種市 豊	
	2後		DU SANQIANG	鳥取	安延 久美	私費留学生
	2後		SAWADOGO DIDIER	鳥取	松村 一善	私費留学生
	2後		GAO, XIAOXI	鳥根	井上 憲一	私費留学生
森林・流域 環境科学	30	☆	末次 優花	鳥取	日置 佳之	
	30		前野 萌実	鳥根	桑原 智之	社会人学生
	30		高木 康平	鳥取	日置 佳之	
	30		WONGSUPATHAI CHITAPA	鳥取	日置 佳之	私費留学生
	30		原口 正道	鳥取	長澤 良太	社会人学生
	30後		LI WAN	鳥根	伊藤 勝久	私費留学生
	31		堤 晴彩	鳥取	藤本 高明	社会人学生

連合講座	入学年度		氏名	配属大学	主指導教員名	備考
環境生物学	30		LAM PHAN TUNG ANH	山口	伊藤 真一	国費留学生
	30	☆	GANPHUNG RATTRIKORN	島根	上野 誠	私費留学生
	31		大森 鑑能	山口	竹松 葉子	
	31		中野 由布妃	山口	竹松 葉子	
	31		横山 祐一郎	島根	上野 誠	
	2		ADAM DADE GASTA MOUKA ADECHINA	島根	上野 誠	国費留学生
	2		KHATUN DALIA	島根	荒西 太士	国費留学生
	2		GATRI DORSAP	島根	井藤 和人	国費留学生
	2		田久和 剛史	島根	山口 啓子	社会人学生
	2		富永 貴哉	鳥取	上中 弘典	
	2		松本 紘輝	島根	宮永 龍一	
菌類・きのこ科学	30		尾崎 佑磨	鳥取	霜村 典宏	
	30後		NUR HASANAH	鳥取	霜村 典宏	私費留学生
	31		志野 遼太郎	鳥取	中桐 昭	
	1後		IVAN PERMANA PUTRA	鳥取	霜村 典宏	国費留学生
	1後		ZHANG WEITONG	鳥取	會見 忠則	国費留学生
	1後		TOGA PANGIHOTAN NAPITUPULU	鳥取	霜村 典宏	国費留学生
	2		明間 民央	鳥取	霜村 典宏	社会人学生
	2		菅原 遼	鳥取	中桐 昭	
	2後		RUDY HERMAWAN	鳥取	霜村 典宏	国費留学生
生物機能科学	30		藤原 希	鳥取	東 政明	
	30		松井 悠樹	鳥取	東 政明	
	31		FIROSE HOSSAIN MD	島根	中川 強	国費留学生
	1後		SULTANA MOST SHARMIN	山口	真野 純一	国費留学生
	2		直塚 豪気	島根	川向 誠	
	2後		ALIA HASSAN SULIMAN SAAD	鳥取	有馬 二郎	国費留学生
資源利用化学	30	☆	岡本 奈穂	鳥取	渡邊 文雄	
	30後		CHOWDHURY MD MAZHARUL ISLAM	島根	清水 英寿	国費留学生
	31		田村 敬裕	鳥取	田村 純一	

連合講座	入学年度		氏名	配属大学	主指導教員名	備考
資源利用化学	31		MUHAMMAD SARWAR HOSSAIN	島根	山本 達之	私費留学生
	31		山家 雅之	島根	室田佳恵子	社会人学生
	1後		HOSSAIN MOHAMMAD IMRUL	島根	山本 達之	私費留学生
	1後		望月 証	鳥取	石原 亨	社会人学生
	2		小野 真弘	鳥取	河野 強	
	2		小関 喬平	鳥取	渡邊 文雄	
	2後		ANJIKAR AJINKYA DEEPAK	島根	山本 達之	私費留学生
国際乾燥地科学	30		只野 翔大	鳥取	明石 欣也	
	30	☆	MULUKEN BAYABLE TADEGE	鳥取	Nigussie Haregeweyn Ayehu	私費留学生
	30後		GAMILA MOHAMED IDRIS ELHADI	鳥取	辻本 壽	国費留学生
	30後		ITAM MICHAEL OKOI	鳥取	辻本 壽	国費留学生
	30後		FEKREMARIAM ASARGEW MIHRETIE	鳥取	恒川 篤史	国費留学生
	30後		MAZIN MAHJOOB MOHAMED MAHJOOB	鳥取	辻本 壽	国費留学生
	31		大山 幸輝	鳥取	兵頭 正浩	
	31		加藤 諭	鳥取	緒方 英彦	
	31		CHU ZONGHUI	鳥取	山本 定博	私費留学生
	31		BAIYIN BATEER	鳥取	山田 智	私費留学生
	31		松永 幸子	鳥取	辻本 壽	
	31		MOHAMED FARIG SAAD RAGAB	鳥取	清水 克之	国費留学生
	31		LIU JIA	鳥取	安 萍	私費留学生
	1後		GASHAW TENNA ALEMU	鳥取	恒川 篤史	私費留学生
	1後		BATJARGAL BUYANTOGTOKH	鳥取	恒川 篤史	私費留学生
	1後		ABUELGASIM IBRAHIM IDRIS MUSA	鳥取	坪 充	私費留学生
	1後		IKRAM ELSADIG SULIMAN MOHAMED	鳥取	辻本 壽	私費留学生
	1後		SALMA OSMAN MOHAMEDKHAIR OSMAN	鳥取	明石 欣也	私費留学生
	1後		MOHAMMED YOUSIF BALLA ABDALLA	鳥取	辻本 壽	私費留学生

連 合 講 座	入 学 年 度		氏 名	配 属 大 学	主 指 導 教 員 名	備 考
国際乾燥地科学	2		HURICHA	鳥取	山中 典和／ 衣笠 利彦	私費留学生
	2		LIANG SHUOSHUO	鳥取	安 萍	私費留学生
	2		OLANREWAJU JOHN SEYE	鳥根	増永 二之	私費留学生
	2後		TADESUAL ASAMIN SETARGIE	鳥取	恒川 篤史	国費留学生
	2後		BENEDICT NZIOKI MAURICE	鳥取	恒川 篤史	国費留学生
	2後		MONIR IDRES YAHYA AHMED	鳥取	辻本 壽	私費留学生
	2後		KIMSANOV DILSHOD	鳥取	清水 克之	私費留学生

(注) 1. 「入学年度」欄の「後」は、後期（10月）入学を示す。

2. 「氏名」欄の「★」は令和2年9月修了者、「☆」は令和3年3月修了者を示す。

## 第2章 学生の研究活動

### 平成29年度以前入学生

#### 1 生物生産科学専攻

##### 1) 農業生産学連合講座

#### 【鳥取大学】

中村 広樹 (Nakamura, Hiroki) 平成28年度入学 (主指導教員: 田村 文男)

#### 【島根大学】

加古 哲也 (Kako, Tetsuya) 平成27年度10月入学 (主指導教員: 小林 伸雄)

公表論文

学会誌等

- 1) 持田耕平・加古哲也・杉山万里・中務明・小林伸雄: ボタンにおける RAPD マーカーを用いた実用的な品種識別法の確立. 園芸学研究, 19: 121-129 (2020年4月)
- 2) 加古哲也・持田耕平・中務明・小林伸雄: 隠岐諸島に自生するトウテイラン (*Veronica ornata* Monjuschko) の園芸化を目的とした各種形質の評価. 園芸学研究, 19: 339-347 (2020年10月)

学会発表

国内学会

- 1) 加古哲也\*・山中光司・今岡由美・神門卓巳: シクラメンにおける秋期のエセフォン処理による出荷時期調節 (ポスター). 園芸学会令和3年度春季大会 (オンライン) (2021年3月)
- 2) 持田耕平\*・加古哲也・杉山万里・中務明・小林伸雄: ボタンの品種発達に関与する種間雑種判別 DNA マーカーの開発 (ポスター). 園芸学会令和3年度春季大会 (オンライン) (2021年3月)

学会等招待講演

招待講演

- 1) 加古哲也: 島根県オリジナルアジサイ・オリジナル品種を軸にした産地形成. 全国新品種育成者の会 2020年オンラインセミナー (オンライン) (2020年10月)

その他 (特筆すべき事項)

- 1) 一般社団法人園芸学会代議員

金森 健一 (Kanamori, Kenichi) 平成27年度10月入学 (主指導教員: 浅尾 俊樹)

持田 耕平 (Mochida, Kouhei) 平成29年度入学 (主指導教員: 小林 伸雄)

公表論文

学会誌等

- 1) 持田耕平・加古哲也・杉山万里・中務明・小林伸雄: ボタンにおける RAPD マーカーを用いた実用的な品種識別法の確立. 園芸学研究, 19: 121-129 (2020年4月)
- 2) 加古哲也・持田耕平・中務明・小林伸雄: 隠岐諸島に自生するトウテイラン (*Veronica ornata* Monjuschko) の園芸化を目的とした各種形質の評価. 園芸学研究, 19: 339-347 (2020年10月)

学会発表

国内学会

- 1) 持田耕平\*・加古哲也・杉山万里・中務 明・小林伸雄：ボタンの品種発達に関与する種間雑種判別 DNA マーカーの開発（ポスター）．園芸学会令和 3 年度春季大会（オンライン）（2021 年 3 月）

MEANCHAIPIBOON SUNISA 平成 29 年度 10 月入学，令和 3 年 3 月修了（主指導教員：中務 明）

公表論文

学会誌等

- 1) Meanchaipiboon, S., Kobayashi, N. and Nakatsuka, A. : Analyses of pigment compositions and anthocyanin biosynthesis gene expression in Hirado azalea cultivars. The Horticulture Journal, 89 : 284-291 (Apr., 2020)
- 2) Meanchaipiboon, S., Kobayashi, N. and Nakatsuka, A. : Genetic relationships among Hirado azalea cultivars and their putative parents inferred from flavonoid 3', 5' hydroxylase gene sequences. The Horticulture Journal, 90 : 114-121 (Jan., 2021)

## 2) 森林資源学連合講座

### 【鳥取大学】

CHERNKHUNTHOD CHONTHIDA 平成 29 年度 10 月入学，令和 2 年 9 月修了（主指導教員：日置 佳之）

公表論文

学会誌等

- 1) Chonthida Chernkhunthod, Hioki, Y. : Fuel Characteristics and Fire Behavior in Mixed Deciduous Forest Areas with Different Fire Frequencies in Doi Suthep-Pui National Park, Northern Thailand, Landscape and Ecological Engineering 16 : 289-297 (2020 年 6 月)
- 2) Chonthida Chernkhunthod, Hioki, Y. : Floristic composition and forest structure in different fire frequency of mixed deciduous forest, Doi Suthep-Pui National Park, Northern Thailand Journal of the Japanese Society of Revegetation Technology, Vol.46, No1 : 202-217 (2020 年 11 月)

## 3) 経済・経営学連合講座

### 【鳥取大学】

VIANMANA SUKONTIP 平成 29 年度 10 月入学（主指導教員：能美 誠）

公表論文

学会誌等

- 1) Sukontip Vianmana, Nohmi M. : Committee Characteristics of Silk Weaving Groups and the Factors Generating Their Variety: A Case Study in Northeastern Thailand. Food, Agriculture and Environment, 27 : 21-32 (March, 2021)

## 【島根大学】

PENG WEI 平成 29 年度 10 月入学, 令和 3 年 3 月修了 (主指導教員: 伊藤 康宏)

公表論文

学会誌等

- 1) 彭璋・伊藤康宏: 関東州租借地における漁業構造の変貌—1920 年～30 年代の機船底曳網漁業を基軸に—. 地域漁業研究, 60 (2) : 71-80 (2020 年 7 月)
- 2) 彭璋・伊藤康宏: 租借地「関東州」における中国人漁業問題—1920 年代～1930 年代を中心に—. 漁業経済研究, 64(2)&65(1) : 125-137 (2021 年 1 月)

学会等招待講演

国内学会等

- 1) 彭璋・伊藤康宏: 関東州租借地における中国人漁業問題—1920 年代～1930 年代を中心に— (オンライン). 第 67 回漁業経済学会大会 (2020 年 7 月)

## 2 生物環境科学専攻

### 1) 生産環境工学連合講座

## 【鳥取大学】

森 明寛 (Mori, Akihiro) 平成 24 年度 10 月入学 (主指導教員: 日置 佳之)

### 2) 環境科学連合講座

## 【島根大学】

辻谷 睦巳 (Tsujiitani, Mutsumi) 平成 27 年度 10 月入学 (主指導教員: 山口 啓子)

SALEHIN AHSANUL 平成 29 年度 10 月入学 (主指導教員: 井藤 和人)

公表論文

学会誌等

- 1) Salehin, A., Hafiz, M.H.R., Hayashi, S., Adachi, F. and Itoh, K. : Effects of the biofertilizer OYK (*Bacillus* sp.) inoculation on endophytic microbial community in sweet potato. Horticulturae 6 (4) : 1-12 (Nov., 2020)

### 3 生物資源科学専攻

#### 1-1) 資源生物科学連合講座

(平成 23 年度入学より生物機能科学連合講座)

#### 【鳥取大学】

北 実 (Kita, Makoto) 平成 19 年度 10 月入学 (主指導教員 : 有馬 二郎)

#### 1-2) 生物機能科学連合講座

#### 【鳥取大学】

SARA AHMED ELTIGANI EBRAHIM 平成 29 年度 10 月入学, 令和 2 年 9 月修了 (主指導教員 : 有馬 二郎)

公表論文

学会誌等

- 1) Eltigani, S.A., Eltayeb, M.M., Bito, T., Ishihara, A., and Arima, J. : Non-specific inhibitor from *Origanum vulgare* leaves restrains *Porphyromonas gingivalis* growth and virulence factors. *International Journal of Agriculture and Biology*, 23 : 1068–1074 (Apr., 2020)
- 2) Eltigani, S.A., Eltayeb, M.M., Bito, T., Ichiyangi, T., Ishihara, A., and Arima, J. : Argeloside I inhibits the pathogenicity of *Porphyromonas gingivalis* TDC60. *Journal of Bioscience and Bioengineering*, 130(6) : 644–649 doi:10.1016/j.jbiosc.2020.07.016 (Dec., 2020)

#### 【島根大学】

田部 卓磨 (Tanabe, Takuma) 平成 29 年度入学, 令和 2 年 9 月修了 (主指導教員 : 川向 誠)

公表論文

学会誌等

- 1) Tanabe, T., Kawamukai M., Yasuhiro K., Matsuo, Y., Glucose limitation and *pka1* deletion rescue aberrant mitotic spindle formation induced by *Mal3* overexpression in *Schizosaccharomyces pombe*. *Bioscience, Biotechnology and Biochemistry*, 84(2) : 1667-1680 (Aug., 2020)

学会発表

国内学会

- 1) 田部卓磨・秋吉英雄・吉田真明・川向誠 : 藻食性魚類から単離した *Vibrio* 属細菌のテリトリー形成 (口頭) . 日本農芸化学会 2021 年度大会 (仙台, Web) (2020 年 3 月)

JUMPATHONG JOMKWAN 平成 29 年度 10 月入学 (主指導教員 : 川向 誠)

#### 【山口大学】

飯田 亮平 (Iida, Ryohei) 平成 29 年度入学 (主指導教員 : 阿座上 弘行)

公表論文

学会誌等

- 1) Iida, R., Taniguchi, S., Yoshimatsu, A., Yanai, M. Hirata, M., Karim, M. M., and Azakami, H. : *Lentinula edodes* methanol extract inhibits biofilm formation and autoinducer-2 production by *Eikenella corrodens*, a periodontopathogenic bacterium, *Mushroom Science and Biotechnology*, 28 : 68-75 (Jul., 2020)

- 2) Iida, R., Taniguchi, S., Hamaji, M., Takamuku, M., Ishida, E., Siddiqa, A., and Azakami, H. : *Hericum erinaceum* (Yamabushitake) extract inhibits biofilm formation and degrades mature biofilm of the periodontopathogenic bacterium *Eikenella corrodens*, *Mushroom Science and Biotechnology*, 28 : 100-106 (Oct., 2020)

#### 学会発表

##### 国内学会

- 1) 谷口彰吾\*・濱治百々子・飯田亮平・阿座上弘行：きのこ成分による歯周病関連細菌のバイオフィルム阻害（口頭）．日本バイオフィルム学会（新潟県新潟市（オンライン））（2020年8月）
- 2) 谷口彰吾\*・濱治百々子・飯田亮平・阿座上弘行：食用きのこ成分による歯周病原性細菌のバイオフィルム阻害（口頭）．日本農芸化学会中四国支部大会（徳島県徳島市（オンライン））（2020年9月）
- 3) 谷口彰吾\*・飯田亮平・阿座上弘行：シイタケおよびヤマブシタケ抽出物による歯周病関連細菌のバイオフィルム阻害（口頭）．日本細菌学会中国四国支部総会（徳島県徳島市）（2020年10月）
- 4) 飯田亮平・谷口彰吾・阿座上弘行\*： *Lentinula edodes*（シイタケ）メタノール抽出物が歯周病原性細菌 *Eikenella corrodens* のバイオフィルム形成とオートインデューサー2の生産を阻害する（口頭）．日本生物工学会西日本支部大会（岡山県岡山市）（2020年11月）
- 5) 阿座上弘行・濱治百々子\*・谷口彰吾・飯田亮平：ヤマブシタケ抽出物に含まれる歯周病原性細菌 *Eikenella corrodens* のバイオフィルム阻害タンパク質の精製と解析（口頭）．日本農芸化学会（宮城県仙台市（オンライン））（2021年3月）

## 2) 資源利用化学連合講座

### 【島根大学】

岩崎 啓太 (Iwasaki, Keita) 平成 29 年度入学（主指導教員：山本 達之）

#### 公表論文

##### 学会誌等

- 1) Iwasaki, K., Araki, A., Krishna, M. C., Maruyama, R., Yamamoto, T., Noothalapati, H. : Identification of molecular basis for objective discrimination of breast cancer cells (MCF-7) from normal human mammary epithelial cells by Raman microspectroscopy and multivariate curve resolution analysis, *International Journal of Molecular Sciences*, 22 : 800 (Feb., 2021)

## 4 国際乾燥地科学専攻

### 国際乾燥地科学連合講座

#### 【鳥取大学】

加藤 敦司 (Kato, Atsushi) 平成 25 年度入学 (主指導教員：明石 欣也)

アクリッシュ 穂波 (Akriich, Honami) 平成 27 年度入学 (主指導教員：山本 定博)

公表論文

学会誌等

- 1) アクリッシュ穂波・森川信也・草刈眞一・中山武典・高橋正行・高橋靖之：高機能抗菌素材“KENIFINETM”でめっき処理した農作物の養液栽培向け防藻資材の開発. 植物環境工学会誌, 33(1) : 28-31 (2021 年 3 月)

学会発表

国内学会

- 1) アクリッシュ穂波\*・荒川竜太・佐野修司・遠藤常嘉・山本定博：ナスの半促成栽培における日焼け果発生と土壌の理化学性, 直径別の根長の関係. 日本土壌肥料学会 2020 年岡山大会 (オンライン) (2020 年 9 月)
- 2) アクリッシュ穂波・荒川竜太\*・佐野修司・遠藤常嘉・山本定博：ナスにおける日焼け果発生と果実中元素濃度との関係. 日本土壌肥料学会 2020 年岡山大会 (オンライン) (2020 年 9 月)
- 3) 佐野修司\*・木村良仁・内山知二・アクリッシュ穂波・荒川竜太：灰色低地土の有機物連用施設栽培ほ場における変化. 日本土壌肥料学会 2020 年岡山大会 (オンライン) (2020 年 9 月)
- 4) 佐野修司\*・アクリッシュ穂波・荒川竜太：塩化カルシウムによる土壌中の炭化物の分離. 2020 年度日本土壌肥料学会 関西支部講演会 (オンライン) (2020 年 12 月)

その他 (特筆すべき事項)

- 1) 園芸振興松島財団 2020 年度第 47 回研究助成

SHAO YANG 平成 28 年度入学 (主指導教員：安 萍)

笹川 大輔 (Sasagawa, Daisuke) 平成 29 年度入学 (主指導教員：西原 英治)

GOU XIAOWEI 平成 29 年度入学, 令和 3 年 3 月修了 (主指導教員：恒川 篤史)

公表論文

学会誌等

- 1) Gou, X.W, Tsunekawa, A., Tsubo, M., Peng, F., Sun, J., Li, Y.L., Zhao, X.Y. and Lian, J. : Seasonal dynamics of cattle grazing behaviors on contrasting landforms of a fenced ranch in northern china. Science of The Total Environment, 749(2) : 141613 (Aug., 2020)

糺 妙子 (Koji, Taeko) 平成 29 年度 10 月入学 (主指導教員：辻本 壽)

学会発表

国内学会

- 1) 糺妙子\*・山崎裕司・岩田洋佳・佐々木剛志・石森元幸・高梨秀樹・辻本壽：マルチスペクトル

カメラを用いた Phedimus 属 F1 雑種集団の表現型解析 (ポスター) . 第 12 回中国地域育種談話会岡山大会 (オンライン) (2020 年 12 月)

小中 隆文 (Konaka, Takafumi) 平成 29 年度 10 月入学, 令和 2 年 9 月修了 (主指導教員: 明石 欣也)

ACIDRI ROBERT 平成 29 年度 10 月入学, 令和 2 年 9 月修了 (主指導教員: 西原 英治)

BASALIRWA DANIEL 平成 29 年度 10 月入学, 令和 2 年 9 月修了 (主指導教員: 西原 英治)

ASMAA ABDALLAH TALKHAN ALHAMSHRY 平成 29 年度 10 月入学, 令和 2 年 9 月修了 (主指導教員: 清水 克之)

ZEWDU SHIGDAF MEKURIAW 平成 29 年度 10 月入学, 令和 2 年 9 月修了 (主指導教員: 恒川 篤史)

公表論文

学会誌等

- 1) Mekuriaw, S., Tsunekawa, A., Ichinohe, T., Tegegne, F., Haregeweyn, N., Kobayashi, N., Tassew, A., Mekuriaw, Y., Walie, M., Tsubo, M. and Okuro, T., 2020. Effect of Feeding Improved Grass Hays and Eragrostis tef Straw Silage on Milk Yield, Nitrogen Utilization, and Methane Emission of Lactating Fogera Dairy Cows in Ethiopia. *Animals*, 10(6), p.1021. <https://www.mdpi.com/2076-2615/10/6/1021> (Jun., 2020)

その他 (特筆すべき事項)

- 1) Preparing improved forage feed and inputs to conduct feeding experiment for Holstein Friesian crossbred lactating dairy cows in Ethiopia.

GEBRU BIRHANU KEBEDE 平成 29 年度 10 月入学, 令和 2 年 9 月修了 (主指導教員: Nigussie Haregeweyn AYEHU)

公表論文

学会誌等

- 1) Kebede, B., Atsushi, T., Haregeweyn, N., Adgo, A., Ebabu, K., Meshesha, D.T., Mitsuru, T., Tsugiyuki, M. and Fenta, A.A. : Determining C- and P-factors of RUSLE for different land uses and management practices across agro-ecologies : case studies from the Upper Blue Nile basin, Ethiopia. *Physical Geography*, 42(2) : 160-182 (Apr 2020)
- 2) Kebede, B., Atsushi, T., Haregeweyn, N., Amrakh, I., Mitsuru, T., Fenta, A.A., Meshesha, D.T., Tsugiyuki, M., Adgo, A., Abebe, G. and Berihun, L.B. : Effectiveness of Polyacrylamide in Reducing Runoff and Soil Loss under Consecutive Rainfall Storms. *Sustainability*, 12(4) : 1597 (Feb., 2020)

MESSALEA GETU ABEBE 平成 29 年度 10 月入学, 令和 2 年 9 月修了 (主指導教員: Nigussie Haregeweyn AYEHU)

公表論文

学会誌等

- 1) Kebede, B., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Mamedov, A. I., Tsubo, M., Fenta, A. A., Meshesha, D. T., Masunaga, T., Adgo, E. & Abebe, G. 2020. Effectiveness of Polyacrylamide in Reducing Runoff and Soil Loss under Consecutive Rainfall Storms. *Sustainability*, 12 : 1597 (Feb., 2020)
- 2) Abebe, G., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Takeshi, T., Wondie, M., Adgo, E., Masunaga, T., Tsubo, M., Ebabu, K. & Berihun, M. L. 2020. Effects of Land Use and Topographic Position on Soil Organic Carbon

and Total Nitrogen Stocks in Different Agro-Ecosystems of the Upper Blue Nile Basin. *Sustainability*, 12 : 2425 (Mar., 2020)

- 3) Abebe, G., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Taniguchi, T., Wondie, M., Adgo, E., Masunaga, T., Tsubo, M., Ebabu, K., Mamedove, A. and Meshesha, D.T. 2020. Effect of soil microbiome from Church Forest in the northwest Ethiopian highlands on the growth of *Olea europaea* and *Albizia gummifera* seedlings under glasshouse conditions. *Sustainability*, 12 : 4976. (Jun., 2020)
- 4) Mamedov, A. I., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Tsubo, M., Haruyuki F., Takayuki K., Kebede, B., Mulualem T., Abebe, G., Wubet A. and Guy J. 2021. Soil Structure Stability under Different Land Uses in Association with Polyacrylamide Effects. *Sustainability*, 12 : 1407 (Jan., 2021)

BERIHUN MULATU LIYEW 平成 29 年度 10 月入学,令和 2 年 9 月修了(主指導教員:Nigussie Haregeweyn AYEHU)

公表論文

学会誌等

- 1) Fenta, A.A., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Tsubo, M., Yasuda, H., Shimizu, K., Kawai, T., Ebabu, K., Berihun, M.L., Sultan, D. and Belay, A.S. : Cropland expansion outweighs the monetary effect of declining natural vegetation on ecosystem services in sub-Saharan Africa. *Ecosystem Services*, 45 : 101154 (Oct., 2020)
- 2) Berihun, M.L., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Dile, Y.T., Tsubo, M., Fenta, A.A., Meshesha, D.T., Ebabu, K., Sultan, D. and Srinivasan, R. : Evaluating runoff and sediment responses to soil and water conservation practices by employing alternative modeling approaches. *Science of The Total Environment*, 747 : 141118 (Dec., 2020)
- 3) Yibeltal, M., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Adgo, E., Meshesha, D.T., Masunaga, T., Tsubo, M., Billi, P., Ebabu, K., Berihun M.L. : Effect of subsurface water level on gully headcut retreat in tropical highlands of Ethiopia. *Earth Surface Processes and Landforms-Wiley*, <https://doi.org/10.1002/esp.5095>, 46(6) : 1209-1222 (Feb., 2021)

## 平成 30 年度以降入学生

### 1 生産環境科学専攻

#### 1) 農業生産学連合講座

##### 【島根大学】

DHAR PROTIMA 平成 30 年度入学, 令和 3 年 3 月修了 (主指導教員: 松本 真悟)

公表論文

学会誌等

- 1) Dhar, P., Kobayashi, K., Ujiie, K., Adachi, F., Kasuga, J. Akahane, I., Arao, T. and Matsumoto, S.\* : The Increase in the Arsenic Concentration in Brown Rice Due to High Temperature During the Ripening Period and Its Reduction by Silicate Material Treatment. *Agriculture*, 10 : 1-16 (Jul., 2020)
- 2) Protima Dhar, Kazuhiro Kobayashi, Kazuhiro Ujiie, Fumihiko Adachi, Junko Kasuga, Ikuko Akahane, Tomohito Arao and Shingo Matsumoto\* : Effect of High Temperature During the Ripening Period on the Arsenic Accumulation in Rice Grain Grown on Uncontaminated Soil with Relatively Low Level of Arsenic. *Journal of Japanese Society of Agricultural Technology Management*, 27 : 133-145 (Mar., 2021)

郷原 優 (Gobara, Yu) 令和元年度 10 月入学 (主指導教員: 小林 伸雄)

RAZZAK MD ABDUR 令和 2 年度入学 (主指導教員: 浅尾 俊樹)

##### 【山口大学】

水田 圭祐 (Mizuta, Keisuke) 平成 30 年度入学, 令和 3 年 3 月修了 (主指導教員: 荒木 英樹)

公表論文

学会誌等

- 1) 水田圭祐・荒木英樹・中村和弘・松中仁・高橋肇: 肥効調節型肥料を用いた穂肥重点施肥がパン用コムギの収量と子実タンパク質含有率におよぼす影響. *日本作物学会紀事*, 90 : 18-28 [doi.org/10.1626/jcs.90.18](https://doi.org/10.1626/jcs.90.18) (2021 年 1 月)
- 2) 水田圭祐・荒木英樹・高橋肇 (2020). パン用コムギ品種「せときらら」における茎数を指標とした生育診断に基づく可変施肥法の検証. *日本作物学会紀事*, 89 : 299-306 (2020 年 10 月)
- 3) Mizuta, K., Araki, H. and Takahashi, T. : Shifting timing of intensive nitrogen topdressing later to the stem-elongation phase reduced lower internodes length and lodging risk of wheat. *Plant Production Science*, 23 : 427-435 (Oct., 2020)

#### 2) 経済・経営学連合講座

##### 【鳥取大学】

LEE JAEHWAN 令和元年度 10 月入学 (主指導教員: 松村 一善)

学会発表

国際学会

- 1) Lee J, Morimoto, E., Nonami, K., Matumura, I., Ikebe, M., Sato, S., : Development of canopy mapping

system of Asian pears (*pyrus pyrifolia nakai*) using terrestrial laser scanning], 1st African Conference on Precision Agriculture (AfCPA 2020), On-Demand

DU SANQIANG 令和2年度10月入学（主指導教員：安延 久美）

### 【島根大学】

GAO, XIAOXI 令和2年度10月入学（主指導教員：井上 憲一）

### 【山口大学】

橋本 芙奈 (Hashimoto, Funa) 令和2年度入学（主指導教員：高橋 肇／種市 豊）

公表論文

学会誌等

- 1) 橋本芙奈：小売店訪問 KATAOKAYA. 果実日本, 75(12) : 5-7 (2020年12月)
- 2) 橋本芙奈・種市豊：地域間の連携で進める6次産業化～「やまぐちシードル」とリンゴ生産者に焦点をあてて. 果実日本, 76(1) : 22-26 (2021年1月)
- 3) 橋本芙奈：小売店訪問 株式会社田中フルーツ. 果実日本, 76(3) : 5-7 (2021年3月)

学会発表

国内学会

- 1) 橋本芙奈・種市豊：養鶏業における資源循環型畜産の課題—山口県と鳥取県の取組に焦点をあてて—（口頭）. 流通学会九州部会（オンライン開催）（2020年9月）
- 2) 橋本芙奈・種市豊・中嶋嘉孝：採卵養鶏業と小売店との関係性に関する実証研究—高付 加価値卵の流通チャンネルに焦点をあてて—（口頭）. 日本企業経営学会第61回研究大会（常葉大学, オンライン参加）（2020年12月）

## 3) 森林・流域環境科学連合講座

### 【鳥取大学】

末次 優花 (Suetsugu, Yuka) 平成30年度入学, 令和3年3月修了（主指導教員：日置 佳之）

公表論文

学会誌等

- 1) 末次優花・日置佳之：鳥取県を事例としたロードキル記録の現状と課題. 景観生態学 25(2) : 209-234 (2020年12月)
- 2) 末次優花・菅井理恵・日置佳之・田中一郎・土居克：オオタカ(*Accipiter gentilis*)の生息に配慮したマツ林管理に関する事例研究. 景観生態学, 25(2) : 235-257 (2020年12月)

学会発表

国内学会

- 1) 末次優花・日置佳之：ロードキル発生要因の新たな可能性（口頭）. 日本景観生態学会第30回大会（オンライン）（2020年9月）
- 2) 末次優花：『産官学連携・地域課題ソリューション研究』鳥取県を事例としたロードキル記録の現状と課題. 第1回 JALE-Tomorrow（日本景観生態学会 研究交流セミナー）（オンライン）（2020年11月）

その他（特筆すべき事項）

- 1) 2021 年度日本景観生態学会論文奨励賞（主題） オオタカ(*Accipiter gentilis*)の生息に配慮したマツ林管理に関する事例研究（著者） 末次優花・菅井理恵・日置佳之・田中一郎・土居克夫（掲載誌）景観生態学 第25巻2号（受賞日）2021年6月22日

高木 康平 (Takagi, Kohei) 平成30年度入学（主指導教員：日置 佳之）

公表論文

学会誌等

- 1) 日置佳之・高木康平・服部圭斗：国立公園の展望園地における通景伐採のための景観シミュレーション. ランドスケープ研究 84 増刊技術報告集 11：130-135（2021年2月）

学会発表

国内学会

- 1) 高木康平・宇野女草太・日置佳之：ミツガシワ自生地の光環境改善を目的とした UAV LiDAR を用いた伐採シミュレーション（口頭）. 日本景観生態学会第30回大会（Web）（2020年9月）

WONGSUPATHAI CHITAPA 平成30年度入学（主指導教員：日置 佳之）

原口 正道 (Haraguchi, Masamichi) 平成30年度入学（主指導教員：長澤 良太）

堤 晴彩 (Tsutsumi, Harusa) 平成31年度入学（主指導教員：藤本 高明）

公表論文

学会誌等

- 1) Tsutsumi,H., Haga,H., Fujimoto,T. : Variation in wood shrinkage evaluated by the eigenvalue distribution of the near infrared spectral matrix. Vibrational Spectroscopy, Vol.109, DOI : 10.1016/j.vibspec.2020.103091 (Jul., 2020)
- 2) Tsutsumi,H., Haga,H., Fujimoto,T. : Energetics of the distribution of cell wall in wood based on an eigenvalue analysis. Journal of Wood Science, Vol.66, article number 58, DOI : 10.1186/s10086-020-01908-w (Sep., 2020)

その他（特筆すべき事項）

- 1) 第7回日本木材学会優秀女子学生賞（2021年1月23日）

### 【島根大学】

前野 萌実 (Maeno, Moemi) 平成30年度入学（主指導教員：桑原 智之）

LI WAN 平成30年度10月入学（主指導教員：伊藤 勝久）

#### 4) 環境生物学連合講座

##### 【鳥取大学】

富永 貴哉 (Tominaga, Takaya) 令和2年度入学 (主指導教員: 上中 弘典)

公表論文

学会誌等

- 1) Kaminaka, H., Miura, C., Isowa, Y., Tominaga, T., Gonnami, M., Egusa, M. and Ifuku, S. : Nanofibrillation is an effective method to produce chitin derivatives for induction of plant responses in soybean. *Plants*, 9 : 810 (Jun., 2020)
- 2) Tominaga, T., Yamaguchi, K., Shigenobu, S., Yamato, M. and Kaminaka, H. : The effects of gibberellin on the expression of symbiosis-related genes in *Paris*-type arbuscular mycorrhizal symbiosis in *Eustoma grandiflorum*. *Plant Signaling & Behavior*, 15 : 1784544 (Sep., 2020)

学会発表

国内学会

- 1) 富永貴哉\*・上野琴巳・武田直也・山口勝司・重信秀治・三浦千裕・大和政秀・上中弘典: ジベレリンで促進されるトルコギキョウのアーバスキュラー菌根共生の制御機構の解明 (口頭). 日本植物学会第84回大会 (オンライン) (2020年9月)
- 2) 富永貴哉\*・澄川柚香・広瀬幸音・山口勝司・重信秀治・峯 彰・上中弘典: 異なる形態型を示すアーバスキュラー菌根を形成する植物間の比較解析 (口頭). 第62回日本植物生理学会年会 (オンライン) (2021年3月)

その他 (特筆すべき事項)

- 1) 日本学術振興会特別研究員 (DC1) 採用 (2020年4月)
- 2) 科学研究費助成事業特別研究員奨励費 (2020年4月)

##### 【島根大学】

GANPHUNG RATTRIKORN 平成30年度入学, 令和3年3月修了 (主指導教員: 上野 誠)

公表論文

学会誌等

- 1) Ganphung, R., Kihara, J. and Ueno, M. : Suppressive effect of *Burkholderia* sp. GT1022 isolated from soil against anthracnose disease caused by *Colletotricum orbiculare*. *Journal of Japanese Society of Agricultural Technology Management*, 27 : 185-195 (Mar., 2021)

学会発表

国内学会

- 1) Ganphung Rattirikorn\*・横山祐一郎・権藤由理・木原淳一・上野 誠: 島根微生物ライブラリーを用いたキュウリ立枯病の抑制に関する研究 (ポスター). 令和2年度日本植物病理学会関西西部会 (島根県松江市) (2020年11月)
- 2) Abdullah, Z.K\*, Gondo, Y., Ganphung, R., Yokoyama, Y., Kihara, J. and Ueno, M. : Suppressive effect of isolate F31D from soil in Matsue city, Shimane Prefecture, against *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici*, the causal agent of *Fusarium* wilt of tomato (Poster). 令和2年度日本植物病理学会関西西部会 (島根県松江市) (2020年11月)

横山 祐一郎 (Yokoyama, Yuichiro) 平成 31 年度入学 (主指導教員 : 上野 誠)

学会発表

国内学会

- 1) Ganphung Rattrikorn\*・横山祐一郎・権藤由理・木原淳一・上野 誠 : 島根微生物ライブラリーを用いたキュウリ立枯病の抑制に関する研究 (ポスター) . 令和 2 年度日本植物病理学会関西支部会 (島根県松江市) (2020 年 11 月)
- 2) 横山祐一郎\*・木原淳一・上野 誠 : 島根微生物ライブラリーを利用したイネいもち病の抑制について (3) . 令和 2 年度日本植物病理学会関西支部会 (島根県松江市) (2020 年 11 月)
- 3) Abdullah, Z. K\*., Gondo, Y., Ganphung, R., Yokoyama, Y., Kihara, J. and Ueno, M. : Suppressive effect of isolate F31D from soil in Matsue city, Shimane Prefecture, against *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici*, the causal agent of Fusarium wilt of tomato (Poster). 令和 2 年度日本植物病理学会関西支部会 (島根県松江市) (2020 年 11 月)
- 4) 井野真稔\*・横山祐一郎・木原淳一・上野 誠 : 雑草から分離した ME202 菌株によるキュウリ炭疽病の抑制について (口頭) . 令和 3 年度日本植物病理学会大会 (三重県津市) (2021 年 3 月)

ADAM DADE GASTA MOUKA ADECHINA 令和 2 年度入学 (主指導教員 : 上野 誠)

KHATUN DALIA 令和 2 年度入学 (主指導教員 : 荒西 太士)

GATRI DORSAF 令和 2 年度入学 (主指導教員 : 井藤 和人)

田久和 剛史 (Takuwa, Tsuyoshi) 令和 2 年度入学 (主指導教員 : 山口 啓子)

松本 紘輝 (Matsumoto, Hiroki) 令和 2 年度入学 (主指導教員 : 宮永 龍一)

学会発表

国内学会

- 1) 松本紘輝\*・中越善紀・泉 洋平 : モリチャバネゴキブリ *Blattella nipponica* の発生活長及び越冬生態について (口頭) . 令和 2 年度西日本応用動物昆虫研究会・中国地方昆虫学会合同例会 (松江市) (2020 年 9 月)
- 2) 松本紘輝\*・泉 洋平 : モリチャバネゴキブリ低標高地個体群と高標高地個体群の発生活長及び発育特性の比較 (ポスター) . 第 65 回日本応用動物昆虫学会大会 (松江市・オンライン) (2021 年 3 月)

## 【山口大学】

LAM PHAN TUNG ANH 平成 30 年度入学 (主指導教員 : 伊藤 真一)

大森 鑑能 (Omori, Akitaka) 平成 31 年度入学 (主指導教員 : 竹松 葉子)

公表論文

学会誌等

- 1) 大森鑑能・早川大輔・細井栄嗣 : ニホンジカの毛衣における保温性の地域間比較. 山口生物, 40 : 21-31 (2021 年 3 月)
- 2) 大森鑑能・細井栄嗣 : 画像処理ソフトを用いた堅果類カウント法. 山口生物, 40 : 41-48 (2021 年 3 月)

- 3) 中村真理・大森鑑能・村上恵梨・細井栄嗣：周防大島町片島のノヤギ個体群が利用するムベ *Stauntonia hexaphylla* のリターフォールの季節変動. 山口生物, 40 : 49-57 (2021年3月)
- 4) 大森鑑能・細井栄嗣：山口県におけるツブラジイ (*Castanopsis cuspidata*) の一斉開花. 山口生物, 40 : 59-69 (2021年3月)

学会発表

国内学会

- 1) 大森鑑能\*・徳永 萌・細井栄嗣：シイの実の豊凶がイノシシの捕獲効率に与える影響（口頭）. 第68回日本生態学会（online）（2021年3月）
- 2) 徳永 萌\*・大森鑑能・細井栄嗣：山口県西部におけるイノシシ(*sus scrofa*)の栄養状態について（ポスター）. 第68回日本生態学会（online）（2021年3月）
- 3) 阿部奈月\*・細井栄嗣・大森鑑能：ツキノワグマとタンニンとの関係（ポスター）. 第68回日本生態学会（online）（2021年3月）

その他（特筆すべき事項）

- 1) 日本クマネットワーク 2020年度研究助成

中野 由布妃 (Nakano, Yuki) 平成31年度入学（主指導教員：竹松 葉子）

学会発表

国内学会

- 1) 中野由布妃\*・竹松葉子：山口県に生息する2種のヤマトシロアリ属の同胞認識行動に対して遺伝的要因が及ぼす影響（口頭）. 第65回日本応用動物昆虫学会大会(島根県松江市)(2021年3月)

## 2 生命資源科学専攻

### 1) 菌類・きのこ科学連合講座

#### 【鳥取大学】

尾崎 佑磨 (Ozaki, Yuma) 平成30年度入学（主指導教員：霜村 典宏）

志野 遼太郎 (Shino, Ryotaro) 平成31年度入学（主指導教員：中桐 昭）

学会発表

国内学会

- 1) 志野遼太郎\*・早乙女梢・遠藤直樹・前川二太郎・中桐昭：水辺の材上に分生子柄束様構造を形成する *Physisporinus* 属菌の分類学的研究（口頭）. 日本菌学会第64回大会（大阪府大阪市）（2020年6月）

IVAN PERMANA PUTRA 令和元年度10月入学（主指導教員：霜村 典宏）

ZHANG WEITONG 令和元年度10月入学（主指導教員：會見 忠則）

公表論文

学会誌等

- 1) Riffiani, R., Chen, F.-C., Zhang, W., Wada, T., Shimomura, N., Yamaguchi, T., and Aimi, T. :

Identification, characterization and expression of *A*-mating type genes in monokaryons and dikaryons of the edible mushroom *Mycoleptodonoides aitchisonii* (Bunaharitake), *Mycoscience* 61 (6) : 106-114 (Jan., 2021)

TOGA PANGIHOTAN NAPITUPULU 令和元年度10月入学（主指導教員：霜村 典宏）

明間 民央 (Akema, Tamio) 令和2年度入学（主指導教員：霜村 典宏）

学会発表

国内学会

- 1) 明間 民央：ウッドチップ施用がクロマツ実生の定着を促進する可能性について（ポスター）．日本緑化工学会第51回大会（岩手県盛岡市，オンライン）（2020年9月）

菅原 遼 (Sugawara, Ryo) 令和2年度入学（主指導教員：中桐 昭）

公表論文

学会誌等

- 1) Sugawara, R., Sotome, K., Maekawa, N., Nakagiri, A., and Endo, N. : Mycorrhizal synthesis, morpho-anatomical characterization of mycorrhizae, and evaluation of mycorrhiza-forming ability of *Hydnum albidum*-like species using monokaryotic and dikaryotic cultures. *Mycorrhiza* 31(3) : 349–359 (Feb., 2021)

学会発表

国内学会

- 1) 菅原遼\*・前川二太郎・中桐昭・早乙女梢・遠藤直樹：交配和合性に基づく日本産カノシタ属 (*Hydnum* L.) 種の再評価（口頭）．一般社団法人 日本菌学会 第64回大会（大阪府大阪市）（2020年6月）
- 2) 菅原遼\*・早乙女梢・中桐昭・前川二太郎・遠藤直樹：*Hydnum* 属菌の外生菌根形態の多様性とその分類形質としての評価（口頭）．菌根研究会 2020年度大会（JCOM2020）（長野県南箕輪村）（2020年11月）

その他（特筆すべき事項）

- 1) 科研費研究費助成：「カノシタ属菌をモデルケースとした，外生菌根菌資源の多様化過程の解明」を研究課題とした特別研究員奨励費（20J20884）（2021年度交付額は800千円）

RUDY HERMAWAN 令和2年度10月入学（主指導教員：霜村 典宏）

## 2) 生物機能科学連合講座

### 【鳥取大学】

藤原 希 (Fujiwara, Nozomi) 平成30年度入学（主指導教員：東 政明）

公表論文

学会誌等

- 1) Fujiwara, N., Azuma, M., Itoh, M., and Kobayashi, J. : Isolation and primary culture of stem cells from the midgut epithelium of the silkworm *Bombyx mori*. *Journal of Insect Biotechnology and Sericology*, 89 : 55-62 (Oct., 2020)

松井 悠樹 (Matsui, Yuki) 平成 30 年度入学 (主指導教員 : 東 政明)

公表論文

学会誌等

- 1) Matsui, Y., Naka, H., and Jinbo, U. : DNA barcoding and morphology reveal a new cryptic species of *Nagiella* (Lepidoptera, Crambidae, Spilomelinae) from Japan. *ZooKeys*, 1023 : 171-192 (2021 年 3 月)

学会発表

国内学会

- 1) 松井悠樹\*, 中秀司. なに食ってるか分からない蛾を飼育し実験に使用する~ノメイガ類を題材に (口頭, オンライン). 第二回オンライン基礎昆虫学会議 (2021 年 2 月)
- 2) 服部夏実\*, 松井悠樹, 藤井毅, 中秀司: クワゴマダラヒトリ *Lemyra imparilis* の配偶行動解析 (ポスター, オンライン). 第 65 回日本応用動物昆虫学会大会, PS67, 島根大学(島根県松江市) (2021 年 3 月)
- 3) 中秀司\*, 松井悠樹, 服部夏実, 青木一幸, Miriam F. Cooperband : タイリクマツカレハ及びオキナワマツカレハの性フェロモン(予報)(口頭, オンライン). 第 65 回日本応用動物昆虫学会大会, D110, 島根大学(島根県松江市), (2021 年 3 月)
- 4) 松井悠樹\*, 龍美沙紀, 藤野めぐり, 三田村栞, 青木一幸, 中秀司 : 日本産ノメイガ類における "Hybrid type" 性フェロモンの普遍性 (口頭, オンライン). 第 65 回日本応用動物昆虫学会大会, D111, 島根大学(島根県松江市), (2021 年 3 月)

ALIA HASSAN SULIMAN SAAD 令和 2 年度 10 月入学 (主指導教員 : 有馬 二郎)

### 【島根大学】

FIROSE HOSSAIN MD 平成 31 年度入学 (主指導教員 : 中川 強)

学会発表

国内学会

- 1) Hossain, M.F. \*, Momtaz, Mst S., Tanaka, A., Hachiya, T. and Nakagawa, T. : Tissue-specific expression analysis of plant intracellular Ras-group LRR Proteins (PIRLs) in *Arabidopsis thaliana*. 第 62 回日本植物生理学会年会 (ポスター) オンライン (2021 年 3 月)

直塚 豪気 (Naozuka, Goki) 令和 2 年度入学 (主指導教員 : 川向 誠)

### 【山口大学】

SULTANA MOST SHARMIN 令和元年度 10 月入学 (主指導教員 : 真野 純一)

## 3) 資源利用化学連合講座

### 【鳥取大学】

岡本 奈穂 (Okamoto, Naho) 平成 30 年度入学, 令和 3 年 3 月修了 (主指導教員 : 渡邊 文雄)

公表論文

学会誌等

- 1) Bito, T., Bito, M., Hirooka, T., Okamoto, N., Harada, N., Yamaji, R., Nakano, Y., Inui, H., and Watanabe F. : Biological activity of pseudovitamin B<sub>12</sub> on cobalamin-dependent methylmalonyl-CoA mutase and

methionine synthase in mammalian cultured COS-7 cells. *Molecules*, 25 : 3268 (Jul., 2020)

- 2) Yabuta, Y., Nagata, R., Aoki, Y., Kariya, A., Wada K., Yanagimoto, A., Hara, H., Bito T., Okamoto, N., Yoshida, S., Ishihara, A., and Watanabe F. : L-Ascorbate biosynthesis involves carbon skeleton rearrangement in the nematode *Caenorhabditis elegans*. *Metabolites*, 20 : 334 (Aug., 2020)

#### 学会発表

##### 国内学会

- 1) 美藤友博\*, 後井俊哉, 岡本奈穂, 藪田行哲, 河野強, 渡邊文雄 : ビタミン B<sub>12</sub> 欠乏が線虫 (*Caenorhabditis elegans*) の脂質代謝に及ぼす影響 (口頭) . 第 74 回日本栄養・食糧学会大会一般講演, 仙台市 (オンライン) (2020 年 5 月)
- 2) 岡本奈穂\*, 美藤友博, 渡邊文雄 : 食用エビ・カニの頭部内臓部に含有されるビタミン B<sub>12</sub> 化合物の同定 (口頭) . 第 74 回日本栄養・食糧学会大会一般講演, 仙台市 (オンライン) (2020 年 5 月)
- 3) 岡本奈穂\*, 長尾ふみ, 美藤友博, Prangthip Pattaneeeya, 渡邊文雄 : 食用コオロギに含まれるビタミン B<sub>12</sub> 化合物の特徴 (口頭) . 日本ビタミン学会第 72 回大会, 名古屋市 (オンライン) (2020 年 6 月)
- 4) 美藤友博\*, 岡本奈穂, 山本葵, 藪田行哲, 渡邊文雄 : ビタミン B<sub>12</sub> 欠乏が線虫 (*C. elegans*) のジチロシン含量に及ぼす影響 (口頭) . 日本農芸化学会 2021 年度大会, 仙台市 (オンライン) (2021 年 3 月)
- 5) 永田隆太\*, 青木優果, 荻谷あゆみ, 和田滉佑, 柳本綾子, 原寛佳, 岡本奈穂, 美藤友博, 吉田晋一, 石原亨, 渡邊文雄, 藪田行哲 : 線虫のビタミン C 生合成経路の同定とビタミン C 新機能の探索 (口頭) . 日本農芸化学会 2021 年度大会, 仙台市 (オンライン) (2021 年 3 月)

田村 敬裕 (Tamura, Takahiro) 平成 31 年度入学 (主指導教員 : 田村 純一)

#### 公表論文

##### 学会誌等

- 1) Tamura, T., Omura, Y., and Tamura, J. : Stereo- and regioselective synthesis of *O*-mannosyl glycan containing matriglycan and a part of tandem ribitol phosphate. *The Journal of Organic Chemistry*, 85 : 12935-12946 (Sep., 2020)

#### 学会発表

##### 国内学会

- 1) 田村敬裕\*・田村純一 : *O*-マンノシルグリカン部分構造, Xyl $\alpha$ 1-3GlcAb1-3Xylb1-4Rbo の合成 (web 口頭) . 日本農芸化学会中四国支部大会第 57 回講演会 (徳島市) (2020 年 9 月)
- 2) 田村敬裕\*・田村純一 : *O*-マンノシルグリカン部分四糖, Xyl $\alpha$ 1-3GlcA $\beta$ 1-4Xyl $\beta$ 1-4Rbo の合成 (誌上開催) . 第 39 回日本糖質学会年会 (2020 年 11 月)
- 3) 田村純一・大村優華・田村敬裕\* : マトリグリカン繰返しオリゴ糖 ; -3Xyl $\alpha$ 1-3GlcA $\beta$ 1-二量体の合成 (誌上開催) . 第 39 回日本糖質学会年会 (2020 年 11 月)
- 4) 田村敬裕\*・大村優華・田村純一 : *O*-マンノシルグリカン部分構造, Xyl-GlcA 繰返し四糖の合成 (web 口頭) . 日本農芸化学会中四国支部第 58 回講演会 (徳島市) (2021 年 1 月)
- 5) 田村敬裕\*・大村優華・田村純一 : マトリグリカンの合成~Xyl-GlcA のオリゴマー化~ (web 口頭) . 日本農芸化学会 2021 年度大会 (2021 年 3 月)

#### その他 (特筆すべき事項)

- 1) (特許出願) REPEATING OLIGOSACCHARIDE FOR OLIGOSACCHARIDE SYNTHESIS AND METHOD FOR PRODUCING OLIGOMER THEREOF, 国際出願番号 PCT/JP2020/35624 (2020 年 9 月 18 日出願), 国際公開日 2021 年 3 月 25 日, 国際公開番号 WO2021/054474, 発明者 : 田村純一, 田村敬裕, 出願人 : 国立大学法人鳥取大学

望月 証 (Mochizuki, Akashi) 令和元年度 10 月入学 (主指導教員 : 石原 亨)

小野 真弘 (Ono, Masahiro) 令和 2 年度入学 (主指導教員 : 河野 強)

公表論文

学会誌等

- 1) Ono, M., Arai, C., Kunimatsu, Y., Hori, Y., Matsunaga, Y., Bito, T., Iwasaki, T., and Kawano, T. : Regulatory mechanism of larval diapause by a *C. elegans* neuropeptide, FLP-6. *Peptide Science* 2020, 157-160 (Feb., 2021)

学会発表

国内学会

- 1) 小野真弘\*・荒井千佳子・国松友香・堀 結佳・松永洋平・美藤友博・岩崎 崇・河野 強 : 線虫の短鎖神経ペプチド FLP-6 の休眠制御機構 (ポスター) . 第 57 回ペプチド討論会 (オンライン) (2020 年 11 月)
- 2) 小野真弘\*・松下健二郎・松永洋平・岩崎 崇・河野 強 : 線虫 *C. elegans* の休眠を制御する短鎖神経ペプチド受容体の探索 (口頭) . 日本農芸化学 2021 年度大会 (オンライン) (2021 年 3 月)

小関 喬平 (Koseki, Kyohei) 令和 2 年度入学 (主指導教員 : 渡邊 文雄)

公表論文

学会誌等

- 1) Koseki, K., Maekawa, Y., Bito, T., Yabuta, Y., and Watanabe, F. : High-dose folic acid supplementation results in significant accumulation of unmetabolized homocysteine, leading to severe oxidative stress in *Caenorhabditis elegans*. *Redox biology*, 37 : 101724 (Oct., 2020)
- 2) Bito, T., Koseki, K., Asano, R., Ueda, N., Yamada, T., Yabuta, Y., Ichiiyanagi, T., Ishihara, A., Watanabe, K., and Watanabe, F. : 5-hydroxymethyl-2-furaldehyde purified from Japanese pear (*Pyrus pyrifolia* Nakai cv. Nijisseiki) juice concentrate inhibits melanogenesis in B16 mouse melanoma cells. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 84 : 2374-2384 (Nov., 2020)

学会発表

国内学会

- 1) 小関喬平\*・美藤友博・渡邊文雄 : 食用藻類に含まれる葉酸化合物の特徴 (口頭) . 第 74 回日本栄養・食糧学会, 宮城県仙台市 (2020 年 5 月)

## 【島根大学】

CHOWDHURY MD MAZHARUL ISLAM 平成 30 年度 10 月入学 (主指導教員 : 清水 英寿)

学会発表

国内学会

- 1) Chowdhury, MMI.\* , Kurata, K., Yuasa, K., Koto, Y., Nishimura, K., and Shimizu, H. : Indole-3-acetic acid leads to suppression of the expression levels of TNF $\alpha$  by AhR-independent mechanism in Caco-2 cells (Oral). 日本農芸化学会中四国支部第 58 回講演会 (例会) (オンライン) (2021 年 1 月)
- 2) Chowdhury, MMI.\* , Koto, Y., Kurata, K., Ishii, K., Tomii, A., Nishimura, K., and Shimizu, H. : Expression regulation mechanism of SLC26A3 by indole-3-acetic acid is different in culture stages of Caco-2 cells. 日本農芸化学会 2021 年度大会 (オンライン) (2021 年 3 月)

その他 (特筆すべき事項)

- 1) 日本農芸化学会中四国支部奨励賞 (2021 年 1 月 14 日)

MUHAMMAD SARWAR HOSSAIN 平成 31 年度入学（主指導教員：山本 達之）

山家 雅之 (Yamaga, Masayuki) 平成 31 年度入学（主指導教員：室田 佳恵子）

公表論文

学会誌等

- 1) Yamaga, M., Tani, H., Nishikawa, M., Fukaya, K., Ikushiro, S., and Murota, K. : Pharmacokinetics and metabolism of cinnamic acid derivatives and flavonoids after oral administration of Brazilian green propolis in humans. *Food & Function*, 12 : 2520-2530 (Mar., 2021)

学会発表

国内学会

- 1) 山家雅之\*・谷央子・室田佳恵子：ラットにおけるブラジル産グリーンプロポリス由来桂皮酸誘導体の代謝（口頭）．日本農芸化学会 2021 年度大会（オンライン）（2021 年 3 月）

HOSSAIN MOHAMMAD IMRUL 令和元年度 10 月入学（主指導教員：山本 達之）

### 3 国際乾燥地科学専攻

#### 国際乾燥地科学連合講座

#### 【鳥取大学】

只野 翔大 (Tadano, Shota) 平成 30 年度入学（主指導教員：明石 欣也）

MULUKEN BAYABLE TADEGE 平成 30 年度入学，令和 3 年 3 月修了（主指導教員：Nigussie Haregeweyn AYEHU）

公表論文

学会誌等

- 1) Bayable, M., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Ishii, T., Alemayehu, G., Tsubo, M., Adgo, E., Tassew, A., Tsuji, W., Asaregew, F., and Masunaga, T. : Biomechanical properties and agro-morphological traits for improved lodging resistance in Ethiopian teff (*Eragrostis tef* (Zucc.) Trotter) accessions. *Agronomy*, 10(7) : 1012 (July., 2020)

GAMILA MOHAMED IDRIS ELHADI 平成 30 年度 10 月入学（主指導教員：辻本 壽）

公表論文

学会誌等

- 1) Elhadi, G. M. I., Kamal, N. M., Gorafi, Y. S. A., Yamasaki, Y., Takata, K., Tahir, I. S. A., Itam, M. O., Tanaka, H., and Tsujimoto, H. : Exploitation of tolerance of wheat kernel weight and shape-related traits from *Aegilops tauschii* under heat and combined heat-drought stresses. *International Journal of Molecular Sciences*, 22 : 1830, doi : 10.3390/ijms22041830 (Feb., 2021)

学会発表

国内学会

- 1) Elhadi, G. M. I.\*, Kamal, N. M., Yamasaki, Y., Gorafi, Y. S. A., Takata, K., Tahir, I. S. A., and Tsujimoto, H. : GWAS revealed loci for kernel weight and shape-related traits under heat and combined heat-drought stresses in wheat multiple synthetic derivatives. The 138th Meeting of the Breeding Science of Japan (Poster). (Online) (Oct., 2020)

ITAM MICHAEL OKOI 平成 30 年度 10 月入学（主指導教員：辻本 壽）

公表論文

学会誌等

- 1) Itam, M. O., Abdelrahman, M., Yamasaki, Y., Mega, R., Gorafi, Y. S. A., Akashi, K., and Tsujimoto, H. : *Aegilops tauschii* introgressions improve physio-biochemical traits and metabolite plasticity in bread wheat under drought stress. *Agronomy*, 10 : 1588, doi : 10.3390/agronomy10101588 (Oct., 2020)
- 2) Itam, M. O., Mega, R., Tadano, S., Abdelrahman, M., Matsunaga, S., Yamasaki, Y., Akashi, K., and Tsujimoto, H. : Metabolic and physiological responses to progressive drought stress in bread wheat. *Scientific Reports*, 10 : 1-14, doi : 10.1038/s41598-020-74303-6 (Oct., 2020)

学会発表

国内学会

- 1) Itam, M. O. \*, Gorafi, Y. S. A., Tahir, I. S. A., and Tsujimoto, H. : Physio-agronomic and metabolite profiling reveal the role of *Aegilops tauschii* introgressions in wheat lines under drought stress. The 15th Triticeae meeting (Poster). (Online) (Dec., 2020)
- 2) Itam, M.O. \*, Gorafi, Y. S. A., Yamasaki, Y., Tahir, I. S. A., and Tsujimoto, H. : QTL hotspots for combined heat and drought stress resilience in bread wheat grown in Sudanese fields. The 139th Meeting of the Breeding Science of Japan (Oral). (Online) (Mar., 2021)

FEKREMARIAM ASARGEW MIHRETIE 平成 30 年度 10 月入学（主指導教員：恒川 篤史）

公表論文

学会誌等

- 1) Mihertie F.A, Yayeh, B., Gobeze C., Bitwoded, M., Wudu, G., Mitiku, A., and Atsushi T. : Teff [*Eragrostis tef* (Zucc.)] rain-fed yield response to planting method, seeding density. *Agronomy Journal*, 10 : 1002 (Sep., 2020)
- 2) Mihretie, F.A., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Adgo, E., Tsubo, M., Masunaga, T., Meshesha, T., Ebabu, K., and Bayable, M. : Agro-Economic Evaluation of Alternative Crop Management Options for Teff Production in Midland Agro-Ecology, Ethiopia. *Agriculture*, 11 : 298 (Mar., 2021)

学会等招待講演

国内学会

- 1) Mihertie, F.M, Tsunekawa, A., Tsubo, M., Haregeweyn, N., Adgo, E. Crop yield variability, driving factors and implications in teff production in Northwestern Ethiopia. IPDRE Research Project Workshop, Tottori, Japan (Dec., 2020)

MAZIN MAHJOOB MOHAMED MAHJOOB 平成 30 年度 10 月入学（主指導教員：辻本 壽）

公表論文

学会誌等

- 1) Mahjoob, M. M. M., Gorafi, Y. S. A., Kamal, N. M., Yamasaki, Y., Matsuoka, Y., Tahir, I. S. A., and Tsujimoto, H. : Genome-wide association study of morpho-physiological traits in *Aegilops tauschii* to broaden wheat genetic diversity. *Plants*, 10 : 211, doi : 10.3390/plants10020211 (Jan., 2021)

大山 幸輝 (Oyama, Koki) 平成 31 年度入学（主指導教員：兵頭 正浩）

公表論文

学会誌等

- 1) 大山幸輝・兵頭正浩・緒方英彦・石井将幸・吉原 修：管内面に局所荷重を作用した際の RC 管

の地盤内挙動評価. 農業農村工学会論文集, 312 : I\_53-I\_61 (2021年6月)

その他

- 1) 浅田洋平・松田壮顕・大山幸輝・鈴木友志・辰野宇大 : サマーセミナー2016~2019年活動報告. 農業農村工学会誌, 88(7) : 33-36 (2020年7月)

学会発表

国内学会

- 1) 大山幸輝\*・兵頭正浩・緒方英彦・石井将幸・吉原 修 : 内面載荷法を適用した RC 管の地上および地盤内での挙動の比較 (ポスター). 第 69 回農業農村工学会大会講演会 (オンライン) (2020年8月)
- 2) 大山幸輝\*・浅田洋平・松田壮顕・鈴木友志・辰野宇大・加藤 諭 : 農業農村工学サマーセミナー2019 報告 (口頭). 第 69 回農業農村工学会大会講演会 (オンライン) (2020年8月)
- 3) 大山幸輝\*・兵頭正浩・緒方英彦・石井将幸・上野和弘 : 内面載荷法を適用した地上および地盤内の土性管における変形挙動の比較 (口頭). 第 75 回農業農村工学会中国四国支部講演会 (オンライン) (2021年2月)

加藤 諭 (Kato, Satoshi) 平成 31 年度入学 (主指導教員 : 緒方 英彦)

公表論文

学会誌等

- 1) 加藤 諭・八木沢康衛・川邊翔平・緒方英彦 : 円形治具を用いた無機系補修材の付着強度試験方法の開発に関する基礎的研究, 農業農村工学会論文集, 311 : I\_193-I\_201 (2020年12月)

学会発表

国内学会

- 1) 加藤 諭\*・八木沢康衛・川邊翔平・緒方英彦 : 無機系補修材の付着性評価における荷重-変位曲線の有用性 (ポスター), 2020 年度農業農村工学会大会講演会 (鹿児島県鹿児島市, web 開催) (2020年8月)

CHU ZONGHUI 平成 31 年度入学 (主指導教員 : 山本 定博)

学会発表

国内学会

- 1) Zonghui, C.\* Tsuneyoshi, E. Eiji, N., and Sadahiro, Y. : Effects of plant residue biochar on clay behaviors in different sodic suspensions. Japanese Society of Soil Science and Plant Nutrition (Oral). Okayama, Japan (Sep., 2020)

BAIYIN BATEER 平成 31 年度入学 (主指導教員 : 山田 智)

松永 幸子 (Matsunaga, Sachiko) 平成 31 年度入学 (主指導教員 : 辻本 壽)

公表論文

学会誌等

- 1) Itam, M. O., Mega, R., Tadano, S., Abdelrahman, M., Matsunaga, S., Yamasaki, Y., Akashi, K., and Tsujimoto, H. : Metabolic and physiological responses to progressive drought stress in bread wheat. Scientific Reports, 10 : 1-14, doi : 10.1038/s41598-020-74303-6 (Oct., 2020)

学会発表

国内学会

- 1) 松永幸子\*・アリザメグミ・山崎裕司・明石欣也・辻本壽 : 生育時の高温処理がパンコムギの高

温発芽能力と脂肪酸組成に及ぼす影響（ポスター）．第12回中国地域育種談話会岡山大会（オンライン）（2020年12月）

- 2) 松永幸子\*・戸田悠介・妻鹿良亮・山崎裕司・辻本壽：多様な高温環境に適応するパンコムギ系統の選抜に向けたマルチオミクス解析．日本育種学会第139回講演会（オンライン）（2021年3月）

MOHAMED FARIG SAAD RAGAB 平成31年度入学（主指導教員：清水 克之）

LIU JIA 平成31年度入学（主指導教員：安 萍）

GASHAW TENNA ALEMU 令和元年度10月入学（主指導教員：恒川 篤史）

BATJARGAL BUYANTOGTOKH 令和元年度10月入学（主指導教員：恒川 篤史）

公表論文

学会誌等

- 1) Jing, W., Kurosaki, Y., Gantsetseg, B., Ishizuka, M., Sekiyama, T., Buyantogtokh, B. and Liu, J. : Estimation of dry vegetation cover and mass from MODIS data : Verification by roughness length and sand saltation threshold, International Journal of Applied Earth Observation and Geoinformation, 102 <https://doi.org/10.1016/j.jag.2021.102417> (Oct.,2021)

学会発表

国内学会

- 1) Buyantogtokh, B.\* , Kurosaki, Y., Ishizuka, M., Sekimaya, T., Tanaka, T., Tsunekawa., A. and Tsubo, M. : Effect of stone on threshold friction velocity in Tsogt-Ovoo, Mongolia : Observation and Model simulation, Japan Geoscience Union (JpGU2020) (Poster). (Online) (July, 2020)

ABUELGASIM IBRAHIM IDRIS MUSA 令和元年度10月入学（主指導教員：坪 充）

IKRAM ELSADIG SULIMAN MOHAMED 令和元年度10月入学（主指導教員：辻本 壽）

SALMA OSMAN MOHAMEDKHAIR OSMAN 令和元年度10月入学（主指導教員：明石 欣也）

MOHAMMED YOUSIF BALLA ABDALLA 令和元年度10月入学（主指導教員：辻本 壽）

学会発表

国内学会

- 1) Balla, M. Y. A.\* , Gorafi, Y. S. A., Kamal, N. M., Tahir, I. S. A., and Tsujimoto, H. : Harnessing the genetic diversity of wild emmer wheat for genetic improvement of durum wheat. The 12th Chugoku region Breeding discussion in Okayama (Oral). (Online) (Dec., 2020)

その他（特筆すべき事項）

- 1) The 12th Chugoku region Breeding discussion Excellent presentation award (Dec., 2020)

HURICHA 令和2年度入学（主指導教員：山中 典和／衣笠 利彦）

LIANG SHUOSHUO 令和2年度入学（主指導教員：安 萍）

公表論文

学会誌等

- 1) Liang, S., Zhang, X., Lu, Y., An, P., Yan Z., and Chen, S. : Performance of double cropping silage maize with plastic mulch in the North China Plain. *Agronomy Journal*, 112(5) : 133-4146 (Oct., 2020)

TADESUAL ASAMIN SETARGIE 令和2年度10月入学（主指導教員：恒川 篤史）

BENEDICT NZIOKI MAURICE 令和2年度10月入学（主指導教員：恒川 篤史）

### 第3章 学位授与者

#### 1 入学者に対する在学3年間の学位授与者数及び学位取得率 (令和2年度の状況)

専攻	連合講座	平成30年4月 入学者数	在学3年間の 学位取得者数	学位取得率 (%)
生物生産科学	農業生産学	0 ( 2)	0 ( 1)	5 0
	森林資源学	0 ( 1)	0 ( 1)	1 0 0
	経済・経営学	0 ( 2)	0 ( 0)	0
	計	0 ( 5)	0 ( 2)	4 0
生物環境科学	生産環境工学	0 ( 0)	0 ( 0)	0
	環境科学	0 ( 1)	0 ( 0)	0
	計	0 ( 1)	0 ( 0)	0
生物資源科学	生物機能科学	0 ( 2)	0 ( 1)	5 0
	資源利用化学	0 ( 0)	0 ( 0)	0
	計	0 ( 2)	0 ( 1)	5 0
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	0 ( 9)	0 ( 8)	8 9
	計	0 ( 9)	0 ( 8)	8 9
生産環境科学	農業生産学	2 ( 0)	2 ( 0)	1 0 0
	森林・流域環境科学	5 ( 0)	1 ( 0)	2 0
	経済・経営学	0 ( 0)	0 ( 0)	0
	環境生物学	3 ( 0)	1 ( 0)	3 3
	計	1 0 ( 0)	4 ( 0)	4 0
生命資源科学	菌類・きのこ科学	1 ( 0)	0 ( 0)	0
	生物機能科学	3 ( 0)	0 ( 0)	0
	資源利用化学	1 ( 0)	1 ( 0)	1 0 0
	計	5 ( 0)	1 ( 0)	2 0
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	3 ( 0)	2 ( 0)	6 7
	計	3 ( 0)	2 ( 0)	6 7
合 計		1 8 ( 1 7)	7 ( 1 1)	5 1

(注) ・ ( ) は29年10月入学者を外数で示す。

- ・生物機能科学には、名称変更前の資源生物科学の学生数も含む。
- ・早期修了者を含む。

2 課程修了者 (20名)

専攻	講座	入学年度	申請者氏名	論文題目	指導教員
生物生産科学	農業生産学	29後	MEANCHAIPIBOON SUNISA	Flower color and anthocyanin biosynthesis genes analysis in Hirado azalea ( <i>Rhododendron x pulchrum</i> Sweet) (ヒラドツツジの花色およびアントシアニン合成遺伝子の解析)	中務 明 小林 伸雄 竹村 圭弘
	森林資源学	29後	CHERNKHUNTHOD CHONTHIDA	Fire effects on structure and species composition of mixed deciduous forest in Doi Suthep-Pui National Park, Chiang Mai, Thailand (タイ、ドイステープ・プイ国立公園の落葉混交樹林の構造と種組成に対する山火事の影響)	日置 佳之 長澤 良太 久保満佐子
	経済・経営学	29後	彭 璋	関東州租借地における漁業構造とその変貌 (The Fisheries Structure and its Changes in the Kwantung Leased Territory)	伊藤 康宏 保永 展利 万 里
生物環境科学	環境科学	24前	細澤 豪志	島根県大橋川におけるホトトギスガイ <i>Arcuatula senhousia</i> (Benson, 1842) の時空間分布と個体群動態に関する研究 (Spatiotemporal distribution and population dynamics in <i>Arcuatula senhousia</i> (Benson, 1842) in Ohashi River, Shimane Prefecture, Japan)	山口 啓子 宮永 龍一 日置 佳之
生物資源科学	生物機能科学	29前	田部 卓磨	Analysis of genetic interaction between the cAMP/PKA pathway and the EB1 family protein Mal3 in <i>Schizosaccharomyces pombe</i> (分裂酵母cAMP/PKA経路とEB1ファミリータンパク質Mal3の遺伝学的関連性の解析)	川向 誠 松尾 安浩 明石 欣也
		29後	SARA AHMED ELTIGANI EBRAHIM	Biological constituents from Sudanese medicinal plants hinder the pathogenicity of <i>Porphyromonas gingivalis</i> TDC60 ( <i>Porphyromonas gingivalis</i> TDC60の病原性を阻害するスーダン薬用植物の成分)	有馬 二朗 渡辺 文雄 小崎 紳一
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	29前	GOU, XIAOWEI	Spatial distribution of cattle foraging behavior on contrasting landforms in Horqin Sandy Land of northern China (中国北部ホルチン沙地の対照的な地形における牛の採食行動分布)	恒川 篤史 Peng Fei 増永 二之
		29後	小中 隆文	ジャトロファ ( <i>Jatropha curcas</i> L.) の重金属耐性および非油脂バイオマスの有効利用に関する研究 (Study on the heavy metal tolerance and non-oil biomass utilization of <i>Jatropha curcas</i> L.)	明石 欣也 辻本 壽 増永 二之
		29後	ACIDRI ROBERT	Phytochemical Accumulation in Coffee ( <i>Coffea arabica</i> L.) Plants as a Photoprotective Mechanism during Oxidative Stress Conditions (酸化ストレス条件下における光保護メカニズムとしてのコーヒー( <i>Coffea arabica</i> L.)へのファイトケミカルの蓄積)	西原 英治 山本 定博 増永 二之
		29後	BASALIRWA DANIEL	Assessment of Pyrogenic Carbonaceous Soil Amendments on Greenhouse Gas Emissions in relation to Crop Productivity (作物生産に関与する温室効果ガス排出における土壌改良材としての熱分解炭素質の評価)	西原 英治 山本 定博 増永 二之
		29後	ASMAA ABDALLAH TALKHAN ALHAMSHRY	Statistical analysis of seasonal rainfall variability in Ethiopia and its teleconnection with global sea surface temperatures (エチオピアにおける降水量の季節変動の統計的解析と全球海面水温とのテレコネクション)	清水 克之 木村 玲二 荊木 康臣
		29後	SHIGDAF MEKURIAW ZEWDU	Stall feeding regimen for indigenous dairy cow production in northwestern Ethiopia (エチオピア北西部における在来種乳牛生産のための舎飼い給餌法)	恒川 篤史 Nigussie Haregeweyn Ayehu 一戸 俊義

専攻	講座	入学年度	申請者氏名	論文題目	指導教員
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	29後	BIRHANU KEBEDE GEBRU	Effectiveness of bio-physical and soil amendment land management practices in reducing soil loss (生物物理的手法及び土壌改良剤を用いた土地管理が土壌侵食の削減に及ぼす効果)	Nigussie Haregeweyn Ayeahu 恒川 篤史 増永 二之
		29後	GETU ABEBE MESSALEA	Role of soil microbes from remnant Church Forest to assist seedling establishment of native tree species in a degraded land (劣化地での在来樹種の実生定着における遺された「教会の森」由来の土壌微生物の役割)	Nigussie Haregeweyn Ayeahu 恒川 篤史 増永 二之
		29後	MULATU LIYEW BERIHUN	Modeling hydrological and sediment responses to human activities and climate variability in the Upper Blue Nile basin, Ethiopia (青ナイル川上流域における人間活動と気候変動に対する水文学的応答および堆積物応答のモデリング)	Nigussie Haregeweyn Ayeahu 恒川 篤史 増永 二之
生産環境科学	農業生産学	30前	DHAR PROTIMA	Studies on the Increase in Arsenic Concentration in Brown Rice Due to High Temperatures During the Ripening Period and Countermeasures for Reducing the Arsenic Concentration by Applying Soil Modifiers (登熟期の高温による玄米ヒ素濃度の上昇ならびに種々の土壌改良資材施用によるその低減対策に関する研究)	松本 真悟 小林 和広 荒木 英樹
		30前	水田 圭祐	穂肥重点施肥による西南暖地向けパン用コムギの高品質多収栽培技術に関する研究 (Studies on the cultivating method to achieve high yield and quality in wheat cultivars for bread by intensive nitrogen fertilization during stem elongation)	荒木 英樹 高橋 肇 山口 武視
	森林・流域科学	30前	末次 優花	オオタカ保護とロードキル対策の比較による里地里山の野生生物保護管理に関する研究 (Studies on the wildlife conservation and management in Satochi-Satoyama region by comparison of Northern Goshawk ( <i>Accipiter gentilis</i> ) conservation and countermeasures for roadkill)	日置 佳之 鶴崎 展巨 久保満佐子
	環境生物学	30前	GANPHUNG RATTRIKORN	島根微生物ライブラリーを用いたキュウリ病害の抑制に関する研究 (Studies on the inhibition of cucumber diseases by using Shimane microbial library)	上野 誠 木原 淳一 伊藤 真一
生命資源科学	資源利用化学	30前	岡本 奈穂	Occurrence and Characterization of Naturally Occurring and Unnatural Inactive Corrinoid Compounds in Food (食品に含まれる天然型および非天然型不活性コリノイド化合物の存在と特徴)	渡辺 文雄 藪田 行哲 石川 孝博

### 3 論文提出者 (1名)

学位記番号	申請者氏名	学位論文名	学位論文審査委員会主査
乙 137号	米山 彰造	タモギタケの突然変異および健康機能性成分の育種利用に関する研究 (Study on the utilization of mutation and health beneficial component in breeding for <i>Pleurotus cornucopiae</i> var. <i>citrinopileatus</i> )	児玉基一郎

## 第4章 就職状況（学位取得者の就職状況）

### 1 課程修了者（20名）

専攻	講座	入学年度	氏名	就職先
生物生産科学	生農 産学業	29後	MEANCHAIPIBOON SUNISA	未定
	資森 源学林	29後	CHERNKHUNTHOD CHONTHIDA	Wildlife and Plant Conservation 林業技術職
	経経 営学・	29後	彭 璋	浙江樹人大学 講師
境生 科学環	科環 学境	24前	細澤 豪志	株式会社 海中景観研究所 研究開発職
生物資源科学	生物 機能科学	29前	田部 卓磨	未定
		29後	SARA AHMED ELTIGANI EBRAHIM	未定
国際乾燥地科学	国際 乾燥地科学	29前	GOU, XIAOWEI	鳥取大学乾燥地研究センター 研究員
		29後	小中 隆文	独立行政法人 国際協力機構 プロジェクト調整員
		29後	ACIDRI ROBERT	未定
		29後	BASALIRWA DANIEL	未定
		29後	ASMAA ABDALLAH TALKHAN ALHAMSHRY	National Research Center 研究員
		29後	SHIGDAF MEKURIAW ZEWDU	Amhara Region Agricultural Institute 研究員
		29後	BIRHANU KEBEDE GEBRU	Bahir Dar Institute of Technology, Bahir Dar University 講師
		29後	GETU ABEBE MESSALEA	Amhara Agricultural Research Institute 研究員
		29後	MULATU LIYEW BERIHUN	Bahir Dar Institute of Technology, Bahir Dar University 助教
生産環境科学	農業 生産学	30前	DHAR PROTIMA	未定
		30前	水田 圭祐	香川大学 助教授

専攻	講座	入学年度	氏 名	就 職 先
生産環境科学	環境科学・森林・流域	30前	末次 優花	株式会社 地球計画建築研究所 研究員
	生物環境学	30前	GANPHUNG RATTRIKORN	未定
科生命資源学	用資源利学	30前	岡本 奈穂	中外製薬株式会社 研究員

## 2 論文提出者（1名）

学位記番号	氏 名	就 職 先
乙 137号	米山 彰造	北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場利用部 研究職

## 令和2（2020）年度前期連合一般ゼミナール（日本語）日程表

会場 各連合大学院及び構成大学の遠隔講義システム設置室

8:30 9:00 9:10 10:40 10:50 12:20 13:20 14:50 15:00 16:30 17:00

実施日程	準備 30分	挨拶等 10分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	昼休み 60分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	
6月17日 (水)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶 連絡 事項等	<b>Lecture1</b> 「SDGsに関わるバイオマス・リファイナリ基盤技術とその展開」 (Basic technologies for biomass refinery related to SDGs and its development.)  渡辺 昌規 WATANABE, Masanori (山形大学農学部・教授)		<b>Lecture2</b> 「気候変動下における持続的な作物生産と品種改良」 (Sustainable crop production and the improvement of crop varieties under climate change)  大川 泰一郎 OOKAWA, Taiichiro (東京農工大学大学院農学研究院・教授)		<b>Lecture3</b> 「ロボット技術を活用した知能的食料生産」 (Intelligent Food Production System Using Robot Technology)  有馬 誠一 ARIMA, Seiichi (愛媛大学大学院農学研究科・教授)		<b>Lecture4</b> 「ソバは痩せ地でも育つか」 (Can buckwheat grow in low fertility soil area?)  鬼頭 誠 KITOU, Makoto (琉球大学農学部・教授)	
6月18日 (木)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡 事項等	<b>Lecture5</b> 「植物の病害抵抗性物質ファイトアレキシンの科学」 (Phytoalexins: Disease Resistance Substances in Plants)  長谷川 守文 HASEGAWA, Morifumi (茨城大学農学部・教授)		<b>Lecture6</b> 「森林工学研究の新展開」 (New developments in forest engineering research)  齋藤 仁志 SAITO, Masashi (岩手大学農学部・准教授)		<b>Lecture7</b> 「有用生物多様性の視点からの雑草管理」 (Weed management focused on functional biodiversity.)  稲垣 栄洋 INAGAKI, Hidehiro (静岡大学学術院農学領域・教授)		<b>Lecture8</b> 「土壌有機物の機能と地球環境」 (Function of soil organic matter and its impact on the global environment)  柳 由貴子 YANAGI, Yukiko (山口大学創成科学研究科・准教授)	
6月19日 (金)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡 事項等	<b>Lecture9</b> 「水産物のリスクとベネフィット」 (Risks and benefits of seafoods)  小松 正治 KOMATSU, Masaharu (鹿児島大学水産学部・教授)		<b>Lecture10</b> 「アフリカ・カラハリ砂漠に自生する野生種スイカの乾燥ストレス耐性機構」 (Mechanisms of drought stress tolerance in wild watermelon from the Kalahari Desert, Africa.)  明石 欣也 AKASHI, Kinya (鳥取大学農学部・教授)		<b>Lecture11</b> 「沙地修復のための先駆植物としてのアルファルファ」 (Alfalfa as a pioneer plant for the recovery of sandy land)  康 峪梅 KANG, Yumei (高知大学農林海洋科学部・教授)		<b>Lecture12</b> 「(プロ) レニン受容体の細胞内プロセッシングー基礎科学から医療診断応用へー」 (Intracellular processing of the (pro)renin receptor: basic science to medical diagnosis application)  中川 寅 NAKAGAWA, Tsutomu (岐阜大学応用生物科学部・教授)	

## 令和2（2020）年度後期連合一般ゼミナール（英語）日程表

会場 各連合大学院及び構成大学の遠隔講義システム設置室

8:30 9:00 9:10 10:40 10:50 12:20 13:20 14:50 15:00 16:30 17:00

実施日程	準備 30分	挨拶等 10分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	昼休み 60分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)
2020.11.18 (Wed) 11月18日 (水)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶	<b>Lecture 1</b> The relationship between natural disasters and human society -Focusing on the relationship between human society and forest - <p style="text-align: right;">SHUIN, Yasuhiro (Utsunomiya University)</p> 「人間社会と自然災害の関係ー森林と人間社会の関係に着目してー」 執印 康裕 (宇都宮大学農学部教授)		<b>Lecture 2</b> Sustainable land management (SLM) for climate change mitigation and adaptation <p style="text-align: right;">TSUNEKAWA, Atsushi (Tottori University)</p> 「気候変動緩和・適応のための持続可能な土地管理(SLM)」 恒川 篤史 (鳥取大学乾燥地研究センター教授)		<b>Lecture 3</b> Applications and studies of stress responses of organisms from microbe to human being using OMICS biology <p style="text-align: right;">IWAHASHI, Hitoshi (Gifu University)</p> 「OMICS生物学による微生物および高等生物ストレス応答機構の解明と利用」 岩橋 均 (岐阜大学応用生物科学部教授)		<b>Lecture 4</b> Health effects of koji glycosylceramide <p style="text-align: right;">KITAGAKI, Hiroshi (Saga University)</p> 「麹グリコシルセラミドの健康効果」 北垣 浩志 (佐賀大学農学部教授)
2020.11.19 (Thu) 11月19日 (木)		連絡事項等	<b>Lecture 5</b> Yeast Genetic and Molecular Cell Biology and its applications <p style="text-align: right;">TABUCHI, Mitsuaki (Kagawa University)</p> 「酵母における遺伝学・分子細胞生物学とその応用」 田淵 光昭 (香川大学農学部教授)		<b>Lecture 6</b> Photosynthetic CO <sub>2</sub> assimilation in higher plants and some attempts for its improvement <p style="text-align: right;">SUZUKI, Yuji (Iwate University)</p> 「高等植物における光合成炭酸同化とその強化の試み」 鈴木 雄二 (岩手大学農学部准教授)		<b>Lecture 7</b> Drugs of microbial origin <p style="text-align: right;">HASUMI, Keiji (Tokyo University of Agriculture and Technology)</p> 「微生物が作る薬」 蓮見 恵司 (東京農工大学農学研究院教授)		<b>Lecture 8</b> Bioactive peptides: promises for human therapy <p style="text-align: right;">IBRAHIM Hisham (Kagoshima University)</p> 「機能性ペプチド:ヒト治療への可能性」 イブラヒム ヒッサム (鹿児島大学農学部教授)
2020.11.20 (Fri) 11月20日 (金)		連絡事項等	<b>Lecture 9</b> Overview of Food-Water-Energy Nexus in India <p style="text-align: right;">SATO, Takahiro (Hirosaki University)</p> 「インド半乾燥地域における食料・エネルギー・水の連環」 佐藤 孝宏 (弘前大学農学生命科学部准教授)		<b>Lecture 10</b> Plant disease control <p style="text-align: right;">UENO, Makoto (Shimane University)</p> 「植物病害防除」 上野 誠 (島根大学生物資源科学部教授)		<b>Lecture 11</b> Forest products industry -Pulp and paper technology- <p style="text-align: right;">ICHIURA, Hideaki (Kochi University)</p> 「林産工業ー紙パルプ技術概論ー」 市浦 英明 (高知大学教育研究部教授)		<b>Lecture 12</b> Avian Reproduction -From Behavior to Molecules- <p style="text-align: right;">SASANAMI, Tomohiro (Shizuoka University)</p> 「鳥類の生殖ー行動から分子までー」 笹浪 知宏 (静岡大学大学院農学領域教授)

2020年度各専攻特論 開講表  
Time table of Advanced Subjects in each four doctoral courses in 2020

開講日 Date	時間 Time	番号 Lecture	講義題目及び講師名 Lecture title and Lecturer Name		備考 lecture info
7月29日 (水) 29th Jul. (Wed.)	9:25-9:30			「研究科長挨拶」	各135分 135mins 日本語 Japanese
	9:30 ~ 11:45	Lecture 1-1	生産環境科学特論(日本語) Advanced Bioproduction and Bioenvironmental Science(Japanese)	「緑道一線の社会資本としての現状と課題」 (Greenways, present status and issues as green-infrastructure) 日置 佳之 Yoshiyuki HIOKI (鳥取大学)	
	12:45 ~ 15:00	Lecture 1-2		「地域植物資源の活用と地域活性化」 (Application of Local Plant Genetic Resources and Regional Revitalization) 小林 伸雄 Nobuo KOBAYASHI (鳥根大学)	
15:00 ~ 17:15	Lecture 1-3	「農業市場学におけるイノベーションマーケティング -消費者と事業者の問題点をあてて-」 (Innovation Marketing in Agricultural Market Studie -Focusing on consumer and business issues) 種市 豊 Yutaka TANEICHI (山口大学)			
7月30日 (木) 30th Jul. (Thur.)	9:30 ~ 11:45	Lecture 2-1	生産環境科学特論(英語) Advanced Bioproduction and Bioenvironmental Science(English)	「Smart Agriculture for Sustainable Production」 (持続的生産体系構築のためのスマート農業) 森本 英嗣 Eiji MORIMOTO (鳥取大学)	各135分 135mins 英語 English
	12:45 ~ 15:00	Lecture 2-2		「Plant-Microbe Interactions: Plant immunity and symbiosis」 (植物微生物相互作用: 植物免疫と共生) 上中 弘典 Hironori KAMINAKA (鳥取大学)	
	15:00 ~ 17:15	Lecture 2-3		「Current progress of agronomic technologies for rice, wheat and soybean in Japan」 (日本のイネ, ムギ, ダイズ栽培における近年の農業技術の発達) 荒木 英樹 Hideki ARAKI (山口大学)	
7月31日 (金) 31st Jul. (Fri.)	9:30 ~ 11:45	Lecture 3-1	生命資源科学特論(日本語) Advanced Bioresource and Life Science(Japanese)	「菌根性きのこ類の分類研究の実際と培養法について」 (Actual taxonomic research and culture method of mycorrhizal mushrooms) 遠藤 直樹 Naoki ENDO (鳥取大学)	各135分 135mins 日本語 Japanese
	12:45 ~ 15:00	Lecture 3-2		「分裂酵母におけるストレス応答」 (Stress response in fission yeast) 松尾 安浩 Yasuhiro MATSUO (鳥根大学)	
	15:00 ~ 17:15	Lecture 3-3		「食品に含まれる擬似ビタミンB12の性質と機能」 (Characterization and function of pseudovitamin B12 in food) 渡邊 文雄 Fumio WATANABE (鳥取大学)	
8月17日 (月) 17th Aug. (Mon.)	9:30 ~ 11:45	Lecture 4-1	生命資源科学特論(英語) Advanced Bioresource and Life Science(English)	「Pest Insect Control」 (害虫制御学) 塩月 孝博 Takahiro SHIOTSUKI (鳥根大学)	各135分 135mins 英語 English
	12:45 ~ 15:00	Lecture 4-2		「Protein Structure and Function」 (タンパクの構造と機能) 小崎 紳一 Shinichi OZAKI (山口大学)	
	15:00 ~ 17:15	Lecture 4-3		「Various function of amino acid / peptide-related enzymes and their application to industry」 (アミノ酸・ペプチド関連酵素に備わる様々な機能と産業への応用) 有馬 二朗 Jiro ARIMA (鳥取大学)	
8月4日 (火) 4th Aug. (Tue.)	9:30 ~ 11:45	Lecture 5-1	国際乾燥地科学特論(日本語) Advanced Global Dryland Science(Japanese)	「乾燥地における灌漑農地のソーダ質化による土壌劣化」 (Sodicity-induced soil degradation of irrigated farmland in dry land) 山本 定博 Sadahiro YAMAMOTO (鳥取大学)	各135分 135mins 日本語 Japanese
	12:45 ~ 15:00	Lecture 5-2		「農業水利施設の凍害」 (Frost Damage of Agricultural Facilities) 緒方 英彦 Hidehiko OGATA (鳥取大学)	
	15:00 ~ 17:15	Lecture 5-3		「土壌-植物-大気連続系 (SPAC) における水移動とそのモニタリング」 (Water movement in soil-plant-atmosphere continuum (SPAC) and its monitoring) 齊藤 忠臣 Tadaomi SAITO (鳥取大学)	
8月5日 (水) 5th Aug. (Wed.)	9:30 ~ 11:45	Lecture 6-1	国際乾燥地科学特論(英語) Advanced Global Dryland Science(English)	「Drought and Land Degradation: Case Studies in Asia and Africa」 (干ばつと土地劣化: アジアとアフリカの事例) 坪 充 Mitsuru Tsubo (鳥取大学)	各135分 135mins 英語 English
	12:45 ~ 15:00	Lecture 6-2		「Climate, wind erosion, and dust emission in drylands」 (乾燥地の気候と風食、黄砂発生) 黒崎 泰典 Yasunori KUROSAKI (鳥取大学)	
	15:00 ~ 17:15	Lecture 6-3		「Water productivity and precision irrigation」 (水生産性と精密灌漑) 藤巻 晴行 Haruyuki FUJIMAKI (鳥取大学)	

鳥取大学大学院連合農学研究科  
The United Graduated School of Agricultural Sciences, Tottori University

鳥取大学農学部 1号館 1F 連大セミナー室  
Faculty of Agriculture building No. 1, 1F UGSAS Seminar room, Tottori University  
鳥根大学生物資源科学部 2号館 6F 多目的研修室  
Training room for multipurpose, Faculty of Life and Environmental Science building No. 2, 6F, Shimane University  
山口大学連合獣医学研究科棟 4F 第1講義室  
The United Graduate School of Veterinary Science building 4F Room No.1, Yamaguchi University

2020年度 鳥取大学大学院連合農学研究科「科学コミュニケーション I」日程表  
 Schedule of the "Academic Communication of Science I" 2020

		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
I s t a y	第1日目 5月20日 (水) May. 20 (Wed)							受付・出欠・ 接続確認 Registration, Attendance & Connection	開講式 Opening Ceremony		口頭発表 (WebEx) Oral Presentation ①  進行 Chair 有馬 二郎氏 (鳥取大学) Dr. Jiro Arima (Tottori Univ.) 兵頭 正浩氏 (鳥取大学) Dr. Masahiro Hyodo (Tottori Univ.) 岩永 史子氏 (鳥取大学) Dr. Fumiko Iwanaga (Tottori Univ.)							
	第2日目 5月21日 (木) May. 21 (Thu)				口頭発表 (WebEx) Oral Presentation ②  進行 Chair 有馬 二郎氏 (鳥取大学) Dr. Jiro Arima (Tottori Univ.) 兵頭 正浩氏 (鳥取大学) Dr. Masahiro Hyodo (Tottori Univ.) 岩永 史子氏 (鳥取大学) Dr. Fumiko Iwanaga (Tottori Univ.)	昼食 Lunch	口頭発表 (WebEx) Oral Presentation ③  進行 Chair 有馬 二郎氏 (鳥取大学) Dr. Jiro Arima (Tottori Univ.) 兵頭 正浩氏 (鳥取大学) Dr. Masahiro Hyodo (Tottori Univ.) 岩永 史子氏 (鳥取大学) Dr. Fumiko Iwanaga (Tottori Univ.)	特別講義 Special Lecture 講師: ホーク・フィリップ氏 (静岡県立大学・薬学部・ 科学英語分野・准教授)  <b>Dr. Philip Hawke</b> (Associate Prof., Scientific English Program, Graduate School of Integrated Pharmaceutical and Nutritional Sciences, University of Shizuoka)  『Basic academic communication: Oral presentations』*	特別講義 Special Lecture 講師: ホーク・フィリップ氏 (静岡県立大学・薬学部・ 科学英語分野・准教授)  <b>Dr. Philip Hawke</b> (Associate Prof., Scientific English Program, Graduate School of Integrated Pharmaceutical and Nutritional Sciences, University of Shizuoka)  『Advanced academic communication: Discussion, writing, and research ethics』 **									
	第3日目 5月22日 (金) May. 22 (Fri)				特別セミナー Special seminar  岩永 史子氏 (鳥取大学) Dr. Fumiko Iwanaga  兵頭 正浩氏 (鳥取大学) Dr. Masahiro Hyodo  有馬 二郎氏 (鳥取大学) Dr. Jiro Arima	質疑応答 Q&A  アンケート記入 Questionnaire	解散 Breakup	*『アカデミック・コミュニケーション「基礎編」: オーラル・プレゼンテーション』 **『アカデミック・コミュニケーション「上級編」: ディスカッション、ライティングおよび科学倫理』										

2020年度 鳥取大学大学院連合農学研究科「科学コミュニケーションⅡ」日程表  
 Schedule of the "Academic Communication of Science II" 2020

		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1 s t d a y	10月14日 (水) October. 14 (Wed)							WebEx meeting room will opens. WebEx 会議室 オープン	開講式(研究科長挨拶・オリエンテーション) Opening ceremony of the seminar (Opening remarks by the Dean, Orientation by vice Dean. 受付・仕欠・接続確認 Registration & Connection confirmation		口頭発表 (WebEx) Oral Presentation ①						
	進行 Chair 吉清 恵介氏(鳥根大学) Dr. Keisuke Yoshikiyo (Shimane Univ.)										林 昌平氏(鳥根大学) Gu1#Vkrkhl#Kd   dvk1 #+Vklpdqh#Xql1,						
	特別講義 Special Lecture 講師:工藤 昭英氏 (東京農工大学・ 大学院生物システム応用科学府・ 客員教授 産学官連携コーディネーター) Dr. Akihide Kudoh (Visiting Professor, Coordinator among Business, Industry, Academia and Government Graduate School of Bio- Applications & System Engineering Tokyo University of Agriculture & Technology) 「Business, Innovation & Negotiation -A Chance to Apply These Concepts To Your Research & Life!」*										特別講義 Special Lecture 講師:ホーク・フィリップ氏 (静岡県立大学・薬学部・ 科学英語分野・准教授) Dr. Philip Hawke (Associate Prof., Scientific English Program, Graduate School of Integrated Pharmaceutical and Nutritional Sciences, University of Shizuoka) 「Advanced Academic Communication: Journal article writing and Research ethics」**						
2 n d d a y	10月15日 (木) October, 15 (Thu)				口頭発表 (WebEx) Oral Presentation ②		昼食 Lunch	口頭発表 (WebEx) Oral Presentation ③	進行 Chair 吉清 恵介氏(鳥根大学) Dr. Keisuke Yoshikiyo (Shimane Univ.) 林 昌平氏(鳥根大学) Dr. Shohei Hayashi (Shimane Univ.)	特別講義 Special Lecture 講師:工藤 昭英氏 (東京農工大学・ 大学院生物システム応用科学府・ 客員教授 産学官連携コーディネーター) Dr. Akihide Kudoh (Visiting Professor, Coordinator among Business, Industry, Academia and Government Graduate School of Bio- Applications & System Engineering Tokyo University of Agriculture & Technology) 「Business, Innovation & Negotiation -A Chance to Apply These Concepts To Your Research & Life!」*							
	進行 Chair 吉清 恵介氏(鳥根大学) Dr. Keisuke Yoshikiyo (Shimane Univ.)																
	特別講義 Special Lecture 講師:ホーク・フィリップ氏 (静岡県立大学・薬学部・ 科学英語分野・准教授) Dr. Philip Hawke (Associate Prof., Scientific English Program, Graduate School of Integrated Pharmaceutical and Nutritional Sciences, University of Shizuoka) 「Advanced Academic Communication: Journal article writing and Research ethics」**																
3 r d d a y	10月16日 (金) October, 16 (Fri)				特別セミナー Special seminar Dr. Keisuke Yoshikiyo (Shimane Univ.) 吉清 恵介氏(鳥根大学) Dr. Shohei Hayashi (Shimane Univ.) 林 昌平氏(鳥根大学)	質疑応答 Q&A アンケート記入 Questionnaire	解散 Breakup										

\*「ビジネス、イノベーションと交渉術 -これらの考え方を研究活動と人生に活かす!-」  
 \*\*「科学英語コミュニケーション 上級編:学術論文ライティングおよび研究者倫理」

## 第2部 教員の研究活動

## 第2部 教員の研究活動

### 第1章 公表論文

#### 1 生産環境科学専攻

##### 1) 農業生産学連合講座

###### 【鳥取大学】

###### 論文

- 1) 荻原恭平・近藤謙介・桐村聡子・中田昇・山口武視・野波和好：栽培ベッドの容積の違いがズッキーニの生育，果実硬度，糖含量およびアスコルビン酸含量に及ぼす影響．日本砂丘学会誌，67：1-10（2020年5月）
- 2) 田中裕之・川野千穂・山田茂秋：クリーピングベントグラス（*Agrostis stolonifera* L.）のSSRマーカーによる品種同定と分子系統樹．芝草研究，49：2-6（2020年10月）
- 3) Takemura, Y., Kishimoto, M. and Tamura, F. : Selection of cut flower species affected promotion of flowering and stem elongation by far-red lighting or heating treatments on end of day under limited sunshine from autumn to winter. Horticultural Science, 47 : 169-179 (Oct., 2020)
- 4) Shishikura, M., Takemura, Y., Sotome, K., Maekawa, N., Nakagiri, A. and Endo, N. : Four mycelial strains of *Entoloma clypeatum* species complex form ectomycorrhiza-like roots with *Pyrus betulifolia* seedlings in vitro, and one develops fruiting bodies two months after inoculation. Mycorrhiza, 30 : 31-42 (Jan., 2021)
- 5) Elhadi, G.M.I., Kamal, N.M., Gorafi, Y.S.A., Yamasaki, Y., Takata, K., Tahir, I.S.A., Itam, M.O., Tanaka, H. and Tsujimoto, H. : Exploitation of tolerance of wheat kernel weight and shape-related traits from *Aegilops tauschii* under heat and combined heat-drought stresses. International Journal of Molecular Sciences, 22 : 1830（2021年2月）
- 6) 上中弘典・田中裕之・磯和由希子・才所美晴・竹村圭弘・江草真由美・永江（雨坪）知音・伊福伸介：グルテンフリー米粉パンの膨化に対するキチンナノファイバーの影響．農業生産技術管理学会誌，27：109-113（2021年2月）
- 7) Chen, H., Kumawat, G., Yan Y., Fan B, Xu D. : Mapping and validation of a major QTL for primary root length of soybean seedlings grown in hydroponic conditions. BMC Genomics, 22 : 132 (Feb., 2021)
- 8) 竹村圭弘・菊池茂弘・竹内ゆかり・吉田卓司・稲本俊彦・田村文男：メッシュ農業気象データを利用した鳥取県におけるニホンナシの自発休眠打破日の評価．農業生産技術管理学会誌，27：197-203（2021年3月）

###### その他

- 1) 竹村圭弘：日本ナシ「爽甘」．果実日本，4：14-16（2020年4月）
- 2) 竹村圭弘：異常気象と樹体生理（1.暖冬 気温データから考える、本年の開花異常）．因伯之果樹，10：5-11（2020年10月）

###### 【島根大学】

###### 著書

- 1) Asaduzzaman, Md. and Asao\*, T. : Autotoxicity in strawberry under recycled hydroponics and its mitigation methods. doi : 10.2503/hortj. UTD-R009, The Horticulture Journal 89 : 124-137 (April, 2020)
- 2) Asaduzzaman, Md., Talukdar, Md. R., Tanaka, H., Ueno, M., Kawaguchi, M., Yano, S., Ban T. and Asao\*, T. : Production of low-potassium content melon through hydroponic nutrient management using perlite substrate. *In*

*Soilless cultivation through an intensive crop production scheme. Management strategies, challenges and future directions* (Edited by Tzortzakakis, N., Nicola, S., Savvas, D. and Voogt, W., ISBN : 978-2-88963-742-3), *Frontiers in Plant Science*, pp. 57-74(May, 2020)

- 小林伸雄・倉重祐二. 能登半島の伝統園芸文化 のとキリシマツツジ (ISBN 978-4-9908297-3-5) . 島根大学生物資源科学部植物育種学研究室, 松江, 40p. (2021年2月)

## 論文

- 持田耕平・加古哲也・杉山万里・中務明・小林伸雄：ボタンにおけるRAPDマーカーを用いた実用的な品種識別法の確立. 園芸学研究, 19 : 121-129 (2020年4月)
- Meanchaipiboon, S., Kobayashi, N. and Nakatsuka, A. : Analyses of pigment compositions and anthocyanin biosynthesis gene expression in Hirado azalea cultivars. *The Horticulture Journal*, 89 : 284-291 (Apr. 2020)
- Matsui, T., Kobayashi, K., Yoshimoto, M., Hasegawa, T. and Tian, X. : Dependence of pollination and fertilization in rice (*Oryza sativa* L.) on floret height within the canopy. *Field Crops Research*, 249 : 107741 (Apr. 2020)
- Talukder, M. R., Asaduzzaman, M., Ueno, M., Tanaka, H. and Asao, T. : Alleviation of allelochemical stress-induced growth inhibition and oxidative damage in lettuce under closed hydroponics through electro-degradation. *Horticultural Science*, 47 : 53-68(April, 2020)
- 浅尾俊樹：電気分解で養液栽培の培養液をリサイクル. クリーンテクノロジー, 日本工業出版, 30 : 57-59 (2020年4月)
- 鶴永陽子・斉藤真苗・門脇正行：採取時期の違いがサツマイモ (*Ipomoea batatas* Lam.) の葉ならびに葉柄の品質に及ぼす影響. 日本家政学会誌 (2020年 5月)
- Tamaki, M., Ikeura, H., Enmei, N. : Growth response of hydroponic leaf lettuce and komatsuna to ozone microbubble treatment. *Journal of Plant Nutrition*, 43 : 1369-1377 (May, 2020)
- ニンニクを主としたネギ属作物のV cryo-plate 法によるクライオバンキングへの適用. 田中大介・佐久間義範・山本伸一・新野孝男・松本敏一\*. 園芸学研究19 : 189-195 (2020年6月)
- Dhar, P., Kobayashi, K., Ujiie, K., Adachi, F., Kasuga, J., Akahane, I., Arao, T. and Matsumoto, S. : The increase in the arsenic concentration in brown rice due to high temperature during the ripening period and its reduction by silicate material treatment. *Agriculture*, 289 : <https://doi.org/10.3390/agriculture10070289> (Jul., 2020)
- Dhar, P., Kobayashi, K., Ujiie, K., Adachi, F., Kasuga, J., Akahane, I., Arao, T. and Matsumoto, S.\* : The Increase in the Arsenic Concentration in Brown Rice Due to High Temperature During the Ripening Period and Its Reduction by Silicate Material Treatment. *Agriculture*, 10, 1-16 (Jul., 2020)
- Cossu, M., Yano, A., Solinas, S., Deligios, P.A., Tiloca, M.T., Cossu, A., and Ledda, L. : Agricultural sustainability estimation of the European photovoltaic greenhouses. *European Journal of Agronomy*, 118 : 126074 (Aug., 2020)
- Propagation of *Polygonatum macranthum* (Maxim.) Koidz. from immature seeds using a new sterilization procedure. Lekamge D., Yamamoto S., Morohashi S., Matsumoto T., Hatamoto M., Yamaguchi T., Maki S. *Plant Biotechnology* 37 : 353-357. (Aug., 2020)
- Application of cryobanking for *Platycodon grandiflorum* in vitro axillary buds using cryo-plate methods. Matsumoto T.\*, Tanaka D., Yoshimatsu K., Kawano N., Kawahara N., Maki S., Yamamoto S., Niino T. *In vitro cellular & developmental biology – Plant* 57 : 15-20 (Sep., 2020)
- Kobayashi, N. : Japanese azalea germplasm; the living horticulture properties. *Acta Horticulturae*, 1291 : 163-168 (Oct., 2020)
- 加古哲也・持田耕平・中務明・小林伸雄：隠岐諸島に自生するトウテイラン (*Veronica ornata* Monjuschko) の園芸化を目的とした各種形質の評価. 園芸学研究, 19 : 339-347 (2020年10月)
- 高橋啓太・前田智雄・池浦博美・倉内佑・Wambraw Daniel Zadrak・小山内祥代・本多和茂：青森県で栽培した西洋系, 東洋系および中間型ニンジン品種における香氣成分をはじめとする品質および生育の比較. 園芸学研究, 19 : 391-398 (2020年10月)
- 藤原一樹・倉重祐二・小林伸雄：本邦におけるコーヒーノキの挿し木繁殖法の検討. 日本植物園協会誌, 55 : 55-62 (2020年12月)

- 18) Li, Z., Yano, A., and Yoshioka, H. : Feasibility study of a blind-type photovoltaic roof-shade system designed for simultaneous production of crops and electricity in a greenhouse. *Applied Energy* 279 : 115853 (Dec., 2020)
- 19) Meanchaipiboon, S., Kobayashi, N. and Nakatsuka, A. : Genetic relationships among Hirado azalea cultivars and their putative parents inferred from flavonoid 3', 5' hydroxylase gene sequences. *The Horticulture Journal*, 90 : 114-121 (Jan., 2021)
- 20) Yoko, Tsurunaga., Misaki, Onda., and Tetsuya, Takahash. : Effect of heating methods on astringency recurrence, syneresis, and physical properties of persimmon paste. *Journal of Food Science and Technology* (Jan., 2021) 10.1007/s13197-020-04949-7
- 21) Yoko, Tsurunaga., Taïdo, Takahashi., and Yoshiaki, Nagata. : Production of persimmon and mandarin peel pastes and their uses in food. *Food Science & Nutrition*, 10.1002/fsn3.2146 (Jan., 2021)
- 22) Dhar, P., Kobayasi K., Ujiie, K., Adachi, F., Kasuga, J., Akahane, I., Arao, T. and Matsumoto, S. : Effect of high temperature during the ripening period on the arsenic accumulation in rice grain grown on uncontaminated soil with relatively low level of arsenic. *J. Jpn. Soc. Agri. Tech. Manage.*, 27(3) : 133-145 (Feb., 2021)
- 23) Development of - 80 °C storage for Allium shoot tips using D cryo-plate method. Tanaka D., Sakuma Y., Yamamoto S., Arizaga M.V., Niino T., Matsumoto T\*. *Plant Cell, Tissue and Organ Culture* 144 : 115–122 (Feb., 2021)
- 24) Protima Dhar, Kazuhiro Kobayashi, Kazuhiro Ujiie, Fumihiko Adachi, Junko Kasuga, Ikuko Akahane, Tomohito Arao and Shingo Matsumoto\* : Effect of High Temperature During the Ripening Period on the Arsenic Accumulation in Rice Grain Grown on Uncontaminated Soil with Relatively Low Level of Arsenic. *Journal of Japanese Society of Agricultural Technology Management*, 27, 133-145 (Mar., 2021)

## その他

- 1) 松本真悟：世界農業遺産への認定に関する推薦書。（2020年6月）
- 2) 松本真悟：令和2年度 創薬基盤推進研究事業 中間報告書。（2020年10月）
- 3) 太田勝巳・高森悟郎・金志勲：ミニトマトにおける育苗期の摘心処理が開花および収量性に及ぼす影響。島根大学生物資源科学部研究報告，25：9-13（2020年9月）
- 4) 松本真悟・春日純子：省力的かつ現場で使い易いコメの無機ヒ素低減技術の開発報告書，農業環境変動研究センター，p159-172。（2021年1月）
- 5) 鶴永陽子：ニホングリ‘ぼろたん’の実割れしにくい冷凍貯蔵・加工方法の検討。食品加工技術，40：7-12（2021年2月）

## 【山口大学】

### 著書

- 1) 山本晴彦：第5章 3. 風害と潮風害，4. 水害，5. 干害．農業気象学入門（鮫島良次編，ISBN：978-4-8300-4141-9）．文永堂出版，東京，pp.215-225（2021年1月）

### 論文

- 1) Kawakita, S., Ishikawa, N., Takahashi, H., Okuno, R. and Takahashi, T. : Winter wheat phenological development model with a vernalization function using sigmoidal and exponential functions. *Journal of Agricultural Meteorology* 76 : 81-88 (Apr., 2020)
- 2) Kim, J.H., Handayani, E., Wakana, A., Sato, M., Miyamoto, M., Miyazaki, R., Zhou, X., Sakai, K., Mizunoe, Y., Shigyo, M. and Masuda, J-I. : Distribution and evolution of *Citrus* accessions with  $S_3$  and/or  $S_{11}$  alleles for self-incompatibility with an emphasis on sweet orange [*Citrus sinensis* (L.) Osbeck;  $S_fS_3$  or  $S_fS_{3sm}$ ], *Genetic Resources and Crop Evolution* volume, 67 : 2101-2117 (Jun., 2020)

- 3) 内田多江子・高橋肇・稲葉俊二・吉岡藤治・高橋飛鳥・杉田知彦・荒木英樹・水田圭祐：もち性はだか麦品種「キラリモチ」に対する後期重点型の窒素増施が子実β-グルカン含有率および子実収量に及ぼす影響. 日本作物学会紀事89：195-202（2020年7月）
- 4) 山本晴彦, 兼光直樹, 宮川雄太, 大谷有紀, 渡邊祐香, 坂本京子, 岩谷潔：2019年台風15号(Faxai)により東京湾沿岸で発生した強風, 高潮・高波災害の被害調査. 39(2)：pp.113-136（2020年8月）
- 5) 水田圭祐・荒木英樹・高橋肇：パン用コムギ品種「せときらら」における茎数を指標とした生育診断に基づく可変施肥法の検証. 日本作物学会紀事89：299-306（2020年10月）
- 6) 兼光直樹, 山本晴彦, 渡邊祐香, 村上ひとみ：2018年7月豪雨により洪水災害が発生した倉敷市真備町における避難行動に関するアンケート調査. 自然災害科学, 39(特別号)：pp.13-31（2020年10月）
- 7) 有吉真知子・村田資治・中島勘太・金子和彦・前岡庸介・徳永哲夫・池尻明彦・中野邦夫・荒木英樹：近接リモートセンシングによる「山田錦」の生育量と適正穂肥量の推定. 日本作物学会紀事,90：64-71.（2020年10月）
- 8) Mizuta, K., Araki, H. and Takahashi, T. : Shifting timing of intensive nitrogen topdressing later to the stem-elongation phase reduced lower internodes length and lodging risk of wheat. Plant Production Science, 23 : 427-435. (Oct., 2020)
- 9) Zhongyi Sun, Xiufeng Wang, Haruhiko Yamamoto, Hiroshi Tani, Tangzhe Nie : The effects of spatiotemporal patterns of atmospheric CO<sub>2</sub> concentration on terrestrial gross primary productivity estimation. Climatic Change, 163(2) : pp.913-930 (Nov., 2020)
- 10) Abdelrahman, M., Ariyanti, N.A., Sawada, Y., Tsuji, F., Hirata, S., Hang, T.T.M., Okamoto, M., Yamada, Y., Tsugawa, H., Hirai, M.Y. and Shigyo, M. : Metabolome-based discrimination analysis of shallot landraces and bulb onion cultivars associated with differences in the amino acid and flavonoid profiles, Molecules, 25 : 5300 (Nov., 2020)
- 11) 山本晴彦・大谷有紀・渡邊祐香・兼光直樹・宮川雄太・坂本京子・岩谷潔：2019年秋雨前線豪雨の特徴と佐賀県で発生した洪水災害の概要. 自然災害科学, 39(3) : pp.253-281（2020年11月）
- 12) 山本晴彦・渡邊祐香・兼光直樹・宮川雄太・大谷有紀・坂本京子・岩谷潔：2019年台風19号(hagibis)により長野市で発生した洪水災害の被害調査. 自然災害科学, 39(3) : pp.221-251（2020年11月）
- 13) Shuai Yin a, Meng Guo, Xiufeng Wang, Haruhiko Yamamoto, Wei Ou : Spatiotemporal variation and distribution characteristics of crop residue burning in China from 2001 to 2018. Environmental Pollution, 268 : <https://doi.org/10.1016/j.envpol.2020.115849> (Jan., 2021)
- 14) 水田圭祐・荒木英樹・中村和弘・松中仁・高橋肇：肥効調節型肥料を用いた穂肥重点施肥がパン用コムギの収量と子実タンパク質含有率におよぼす影響. 日本作物学会紀事, 90:18-28, doi.org/10.1626/jcs.90.18（2021年1月）
- 15) Abdelrahman, M., Hirata, S., Mukae, T., Yamada, T., Sawada, Y., El-Syaed, M., Yamada, Y., Sato, M., Hirai, M.Y. and Shigyo, M. : Comprehensive metabolite profiling in genetic resources of garlic (*Allium sativum* L.) collected from different geographical regions, Molecules, 26 : 1415 (Mar., 2021)

## その他

- 1) 鈴木廣志・執行正義：高速栽培法（SHIGYO法）の現状と課題. アグリバイオ, 5 : 39-41（2020年3月）

## 2) 経済・経営学連合講座

### 【鳥取大学】

#### 論文

- 1) 万里：等級別豚肉の可変型循環変動分析. 農林業問題研究, 56(3) : 117-123（2020年9月）
- 2) 能美誠：農業生産資材の配達料金設定法の提示と適用—堆肥の配達サービスを事例として—.フードシステム研究, 27 (4) : 171-176(2021年3月)

- 3) Sukontip Vianmana and Makoto Nohmi : Committee Characteristics of Silk Weaving Groups and the Factors Generating Their Variety : A Case Study in Northeastern Thailand. Food, Agriculture and Environment, 27 : 21-32 (Mar., 2021)
- 4) 松田敏信：消費者，品目，店舗系列の異質性を考慮したビール系アルコール飲料の需要分析—大標本ホームスキャンデータを用いた階層ベイズモデルの推定—．農業生産技術管理学会誌, 27 : 171-184 (2021年3月)
- 5) 小原美咲・安延久美・エリアスアスレス・ポンチョンプスパポーン：タイの大規模農場化政策が稲作経営に与える影響—生産技術と農業粗収益の観点から—．開発学研究31(3) : 38-42 (2021年3月)

#### その他

- 1) 蕪木絵美・御館久里恵・池田玲子・安延久美：コロナ禍における国際交流の新たな取り組み．鳥取大学教育支援・国際交流推進機構 大学教育研究年報 26 : 22-32 (2021年3月)

### 【島根大学】

#### 著書

- 1) 伊藤康宏：(Ⅲ.水産業) 総論，(漁業総説) 近代水産業，(近代の漁業) 明治の漁政，沿岸漁業・養殖業，漁業組合．郷土史大系 生産・流通上(農業・林業水産業) (落合功他編集, ISBN978-4-354-53753-0)．朝倉書店，新宿区，pp.314-315, 318-323, 359-361, 371-374, 394-396. (2020年10月)

#### 論文

- 1) 彭瑋・伊藤康宏：関東州租借地における漁業構造の変貌—1920年～30年代の機船底曳網漁業を基軸に—．地域漁業研究, 60 (2) : 71-80 (2020年7月)
- 2) Inoue, N. : Agriculture Based on the Recirculation of Local Re-sources : Focusing on Community-Based Farming Organizations. New Frontiers in Regional Science : Asian Perspectives, 44 : 73-91 (Sep., 2020)
- 3) Inoue, N. : Diversification Choices for Community-Based Farming Corporations : Focusing on Farm Resources. New Frontiers in Regional Science : Asian Perspectives, 44 : 93-105 (Sep., 2020)
- 4) Inoue, N. : Agriculture Based on Regional Self-Sufficiency in Mountain Villages. New Frontiers in Regional Science : Asian Perspectives, 44 : 107-123 (Sep., 2020)
- 5) 萩原遼・井上憲一：大学生の地域および地域活性化に対するイメージに関する考察．島根大学生物資源科学部研究報告, 25 : 11-17 (2020年9月)
- 6) 彭瑋・伊藤康宏：租借地「関東州」における中国人漁業問題—1920年代～1930年代を中心に—．漁業経済研究, 64(2)&65(1) : 125-137 (2021年1月)

#### その他

- 1) 井上憲一：集落営農の次世代ネットワークとJA．農政運動ジャーナル, 150 : 10-11 (2020年4月)
- 2) 井上憲一：内発的発展による農業担い手育成とJA．農政運動ジャーナル, 153 : 12-13 (2020年10月)
- 3) 井上憲一：【書評】荒木和秋著・坂本秀文協力『よみがえる酪農のまち：足寄町放牧酪農物語』．有機農業研究, 12(2) : 28-29 (2020年12月)

### 【山口大学】

#### 論文

- 1) 種市豊・宮井浩志：食品産業における新技術導入の課題に関する一考察-食品産業からみた酵素剥皮技術の導入と課題に焦点をあてて-．消費経済研究 41 : 3-12 (2020年6月)

- 2) 宮井浩志・種市豊：機能性を表示した生鮮食品の消費者評価の現状と課題—国産カンキツ類に関する消費者webアンケート調査から—。消費経済研究 41：25-39（2020年6月）
- 3) 種市豊：過疎地・農山村における農産物輸送の課題—「基幹型輸送」と「地域内小ロット輸送」の視点からみた巡回集荷の解明—。農業市場研究 115：25-33（2020年12月）

#### その他

- 1) 種市豊：ブックガイド 李哉法・森嶋輝也・清野誠喜著 EU青果農協の組織と戦略。農業と経済 86：105（2020年6月）
- 2) 種市豊：広域産地間連携によるトマト産地の取組～山口県「山口あぶトマト」を事例として。野菜情報 196：37-44（2020年7月）
- 3) 種市豊：小売店訪問373 トレスF.B.C. 果実日本 75（8）：5-7（2020年7月）
- 4) 種市豊：【特集】加工・業務用野菜生産拡大の取り組み 輸送業・スマート農業と連携した加工・業務用野菜の産地形成～宮崎県都城市 有限会社太陽ファームの加工・業務用野菜の契約栽培とスマート農業～。野菜情報204：14-22（2021年3月）

### 3) 森林・流域環境科学連合講座

#### 【鳥取大学】

#### 著書

- 1) 岩永史子：低木。砂漠学事典（日本砂漠学会編，ISBN：978-4-621-30517-1）。丸善出版，東京，534p.（2020年7月）

#### 論文

- 1) Chonthida Chernkhunthod, Yoshiyuki Hioki：Fuel Characteristics and Fire Behavior in Mixed Deciduous Forest Areas with Different Fire Frequencies in Doi Suthep-Pui National Park, Northern Thailand, Landscape and Ecological Engineering 16,：289-297（2020年6月）
- 2) 本部星・日置佳之：既存のイベント型植樹林における目標植生の再設定と目標への誘導過程に関する事例的研究，日本緑化工学会誌Vol.46No.1（2020年8月）
- 3) Yamamoto, F., Iwanaga, F.\*, Al-Busaidi, A., Yamanaka, N.：Roles of ethylene, jasmonic acid, and salicylic acid and their interactions in frankincense resin production in Boswellia sacra Flueck. trees. Scientific Reports 10(1), DOI：https://doi.org/10.1038/s41598-020-73993-2, (2020年10月)
- 4) Chonthida Chernkhunthod, Yoshiyuki Hioki：Floristic composition and forest structure in different fire frequency of mixed deciduous forest, Doi Suthep-Pui National Park, Northern Thailand Journal of the Japanese Society of Revegetation Technology, Vol.46, No1：202-217（2020年11月）
- 5) 末次優花・日置佳之：鳥取県を事例としたロードキル記録の現状と課題，景観生態学 25（2）：209 - 234.（2020年12月）
- 6) 末次優花・菅井理恵・日置佳之・田中一郎・土居克：オオタカ(Accipiter gentilis)の生息に配慮したマツ林管理に関する事例研究，景観生態学，25(2)：235-257（2020年12月）
- 7) 日置佳之・高木康平・服部圭斗：国立公園の展望園地における通景伐採のための景観シミュレーション，ランドスケープ研究84増刊技術報告集No.11：130-135（2021年2月）
- 8) Fujimoto, T.：Evaluation of stress relaxation process of wood based on the eigenvalue distribution of near infrared spectra. Spectrochimica Acta Part A：Molecular and Biomolecular Spectroscopy 248119197. DOI：https://doi.org/10.1016/j.saa.2020.119197（Mar., 2021）

#### その他

- 1) 永松大：鳥取砂丘における2016-2018年の植物量変化とスマートフォン向けゲームイベントの影響。鳥取砂丘景観保全調査報告書—平成28年度～30年度，48-52（2020年12月）

- 2) 日置佳之：新型コロナウイルスと緑道—緑道整備は感染症の緩和策・適応策となり得るか?—, グリーン・エイジ558 : 35-37 (2020年6月)
- 3) 日置佳之：昭和16年刊行の『武蔵野』と生態系ネットワーク・緑道網, グリーン・エイジ559 : 22-25 (2020年7月)
- 4) 日置佳之：昭和後期の歩行者空間に関する書籍, グリーン・エイジ5, 60 : 22-25 (2020年8月)
- 5) 日置佳之：湖山池の汽水化事業—その現状と課題—, 河北潟総合研究, 23号 : 41-48 (2020年12月)
- 6) 日置佳之：京をめぐる緑道-京都一周トレイル-, グリーン・エイジ, 567 : 22-25 (2021年3月)
- 7) 日置佳之：地方大学における樹木医活動—樹木の地方総合病院を目指して—, ツリードクター, 28 : 57-62 (2021年3月)

## 【島根大学】

### 著 書

- 1) Kubo, M. and Sakio, H. : *Cercidiphyllum japonicum*. Acer tree species. In Long-Term Ecosystem Changes in Riparian Forests (edited by Sakio, H., ISBN : 978-981-15-3008-1), Springer Nature, Singapore, pp. 55-82, pp. 83-96 (May, 2020)
- 2) Sakio, H. and Kubo, M. : Coexistence of Tree Canopy Species. In Long-Term Ecosystem Changes in Riparian Forests (edited by Sakio, H., ISBN : 978-981-15-3008-1), Springer Nature, Singapore, pp. 121-136 (May, 2020)
- 3) Kawanishi, H., Kubo, M., Higa, M., Sakio, H. : Changes in Vegetation in the Ooyamazawa Riparian Forest. In Long-Term Ecosystem Changes in Riparian Forests (edited by Sakio, H., ISBN : 978-981-15-3008-1), Springer Nature, Singapore, pp. 139-161 (May, 2020)
- 4) Higa, M., Kawanishi, H., Kubo, M., Sakio, H. : Temporal Changes in Browsing Damage by Sika Deer in a Natural Riparian Forest in Central Japan. In Long-Term Ecosystem Changes in Riparian Forests (edited by Sakio, H., ISBN : 978-981-15-3008-1), Springer Nature, Singapore, pp. 163-178 (May, 2020)
- 5) 高橋絵里奈：吉野杉に見られる樹幹と樹冠. 木本植物の生理生態 (小池孝良・北尾光俊・市栄智明・渡辺誠編著, ISBN : 978-4-320-05812-5) . 共立出版, 東京, pp. 89-90 (2020年11月)
- 6) 高橋さやか・高橋絵里奈：広葉樹多種の肥大成長の特徴. 木本植物の生理生態 (小池孝良・北尾光俊・市栄智明・渡辺誠編著, ISBN : 978-4-320-05812-5) . 共立出版, 東京, pp.99-101 (2020年11月)
- 7) 川口英之：競争密度効果. 木本植物の生理生態 (小池孝良・北野光俊・市栄智明・渡辺誠編, ISBN978-4-320-05812-5) . 共立出版, pp.79-92 (2020年11月)
- 8) 小池孝良・川口英之：C—D 定規. 木本植物の生理生態 (小池孝良・北野光俊・市栄智明・渡辺誠編, ISBN978-4-320-05812-5) . 共立出版, pp.56-58 (2020年11月)

### 論 文

- 1) 石井将幸：改組による学科の大規模化が地域工学コースに与えた影響. 水土の知, 88(4) : 273-276 (2020年4月)
- 2) 長谷川雄基・佐藤周之・上野和広・長束勇：水砂噴流摩耗試験の代替試験としてのサンドブラスト法の適用性に関する研究. 農業農村工学会論文集, 310(88-1) : II\_29-II\_34 (2020年6月)
- 3) 浅野勇・上野和広・長束勇・鮫島信行：表面被覆材料の耐摩耗性評価に用いる標準モルタルの平均摩耗深さの推定. 農業農村工学会論文集, 310(88-1) : IV\_1-IV\_2 (2020年6月)
- 4) Takahashi, S., and Takahashi, E. : Fitting Richards' growth function to estimate seasonal changes in leaf area in jolcham oaks, *Quercus serrata*, and American sweetgum trees, *Liquidambar styraciflua*. *Applied Forest Science*, 29(2) : 1-8 (Aug., 2020)
- 5) 矢島啓・鈴木伴征：ダム貯水池での連続成層化における複数口を用いた異高同時取水特性. 土木学会論文集B1(水工学), 76(2), I\_1375-1380, (2020年8月)

- 6) Nakayama, K, Komai, K., Tada, K., Lin, H.C., Yajima, H., Yano, S. and Hipsey, M.R. and Tsai, J.W. : Modeling dissolved inorganic carbon considering submerged aquatic vegetation. *Ecological Modelling*, 431, 109188, <https://doi.org/10.1016/j.ecolmodel.2020.109188> (Sep., 2020)
- 7) 齋藤直輝・熊柄・小森博仁・矢野真一郎・中山恵介・駒井克明・矢島啓：八代海におけるブルーカーボン動態把握のための海水中CO<sub>2</sub>に関する現地調査. *土木学会論文集B2 (海岸工学)*, 76(2), I\_901-I\_906 (2020年10月)
- 8) Derot, J., Yajima, H. and Jacquet, S. : Advances in forecasting harmful algal blooms using machine learning models : A case study with *Planktothrix rubescens* in Lake Geneva. *Harmful Algae*, 99,101906, ISSN 1568-9883, <https://doi.org/10.1016/j.hal.2020.101906> (Nov., 2020)
- 9) Derot, J., Yajima, H. and Schmitt, F.G. : Benefits of machine learning and sampling frequency on phytoplankton bloom forecasts in coastal areas. *Ecological Informatics*, 60, 101174, ISSN 1574-9541, <https://doi.org/10.1016/j.ecoinf.2020.101174> (Nov., 2020)
- 10) 久保満佐子・鹿島拓也・丹生健太郎：秩父山地におけるカツラとヒロハカツラの種子散布と発芽特性. *日本森林学会誌*, 102 : 368-371 (2020年12月)
- 11) Takahashi, S., and Takahashi, E. : Relationship between vessel formation and seasonal changes in leaf area of evergreen and deciduous species with different vessel arrangements. *Plants*, 10(1) : 100 (Jan., 2021)
- 12) Yajima, H., Morohara, R. and Yamada, M. : Effects of biological behaviors of benthic bivalve (*Corbicula japonica*) on its passive transport. *Hydrobiologia*, 848, <https://doi.org/10.1007/s10750-020-04486-6> (Jan., 2021)
- 13) 飯塚康雄・松江正彦・久保満佐子・舟久保 敏：津波による海岸林の倒伏発生要因と根系を中心とした育成目標. *日本緑化工学会誌*, 46(3) : 316-328 (2021年2月)

#### その他

- 1) 片岡博行・針本翔太・久保満佐子：絶滅危惧植物オキナグサ種子の保存方法が発芽力に及ぼす影響. *日本緑化工学会誌*, 45(4) : 457-459 (2020年5月)
- 2) 土江陽太・針本翔太・久保満佐子・井上雅仁：三瓶山麓西の原における火入れ中断1年目の草原性植物の生育状況. *島根県立三瓶自然観研究報告*, 19 : 1-7 (2021年3月)

## 4) 環境生物学連合講座

### 【鳥取大学】

#### 著 書

- 1) 児玉基一郎：ローカル酵母を活用した新規発酵製品開発(総説). *アグリバイオ* 52 (10) : 891-894 (2020年9月)
- 2) Pujasatria G.C., Miura, C. and Kaminaka, H. : In vitro symbiotic germination : a revitalized heuristic approach for orchid species conservation. *Plants*, 9 : 1742 (Dec., 2020)

#### 論 文

- 1) Karasawa, S. : *Sphaerillo boninensis* Nunomura, 1990 (Crustacea, Isopoda, Oniscidea) is a junior synonym of a pantropical species, *Venezillo parvus* (Budde-Lund, 1885). *ZooKeys*, 923 : 1-14 (2020) (Apr., 2020)
- 2) Fuji, M., Miura, C., Yamamoto, T., Komiyama, S., Suetsugu, K., Yagame, T., Yamato, M. and Kaminaka, H. : Relative effectiveness of *Tulasnella* fungal strains in orchid mycorrhizal symbioses between germination and subsequent seedling growth. *Symbiosis*, 81 : 53-63 (May, 2020)
- 3) Egusa, M., Matsukawa, S., Miura, C., Nakatani, S., Yamada, J., Endo, T., Ifuku, S. and Kaminaka, H. : Improving nitrogen uptake efficiency by chitin nanofiber promotes growth in tomato. *International Journal of Biological Macromolecules*, 151 : 1322-1331 (May, 2020)

- 4) Kaminaka, H., Miura, C., Isowa, Y., Tominaga, T., Gonnami, M., Egusa, M. and Ifuku, S. : Nanofibrillation is an effective method to produce chitin derivatives for induction of plant responses in soybean. *Plants*, 9 : 810 (Jun., 2020)
- 5) 大崎久美子・陶山彩郁・牛島修爾・石原亨・前川二太郎 : *Russula*属および類縁種属のイソベレラール生産性とイソベレラールの菌寄生性菌類に対する抗菌活性. *日本きのこ学会誌*, 28 : 48-55 (2020年7月)
- 6) Takagi, M., Iwamoto, N., Kubo, Y., Morimoto, T., Takagi, H., Takahashi, F., Nishiuchi, T., Tanaka, K., Taji, T., Kaminaka, H., Shinozaki, K., Akimitsu, K., Terauchi, R., Shirasu, K. and Ichimura, K. : *Arabidopsis SMN2/HEN2*, encoding DEAD-box RNA helicase, governs proper expression of the resistance gene *SMN1/RPS6* and is involved in dwarf, autoimmune phenotypes of *mekk1* and *mpk4*. *Plant and Cell Physiology*, 61 : 1507-1516 (Aug., 2020)
- 7) Tominaga, T., Yamaguchi, K., Shigenobu, S., Yamato, M. and Kaminaka, H. : The effects of gibberellin on the expression of symbiosis-related genes in *Paris*-type arbuscular mycorrhizal symbiosis in *Eustoma grandiflorum*. *Plant Signaling & Behavior*, 15 : 1784544 (Sep., 2020)
- 8) Tsuzuki, R., Cabrera Pintado, R.M., Biondi Thorndike, J.A., Gutiérrez Reynoso, D.L., Amasifuen Guerra, C.A., Guerrero Abad, J.C., Aragón Caballero, L.M., Huarhua Zaquinaula, M.H., Ureta Sierra, C., Alberca Cruz, O.I., Elespuru Suna, M.G., Blas Sevillano, R.H., Torres Arias, I.C., Flores Ticona, J., de Baldárrago, F.C., Pérez, E.R., Hozum, T., Saito, H., Kotera, S., Akagi, Y., Kodama, M., Komatsu, K. and Arie, T. : Mutations found in the *Asc1* gene that confer susceptibility to the AAL-toxin in ancestral tomatoes from Peru and Mexico. *Plants*, 10 : 47 (Dec., 2020)
- 9) Nishimura, A., Yoshioka, A., Kariya, K., Ube, N., Ueno, K., Tebayashi, S., Osaki-Oka, K. and Ishihara, A. : Sugars in an aqueous extract of the spent substrate of the mushroom *Hypsizygus marmoreus* induce defense responses in rice. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 85 : 743-755 (Jan., 2021)
- 10) 上中弘典・田中裕之・磯和由希子・才所美晴・竹村圭弘・江草真由美・永江（雨坪）知音・伊福伸介 : グルテンフリー米粉パンの膨化に対するキチンナノファイバーの影響. *農業生産技術管理学会誌*, 27 : 1-5 (2021年2月)

#### その他

- 1) 大崎久美子・尾谷浩・石原亨 : きのこの香り成分および廃菌床を利用した病害防除資材の開発. *農業および園芸*, 95 (7) : 567-576 (2020年7月)
- 2) 上中弘典 : 根粒菌の共生を促すキチンナノファイバー. *現代農業*10月号, 農山漁村文化協会, 東京, pp. 227-229 (2020年10月)

#### 【島根大学】

##### 著書

- 1) Kon, K., Shimanaga, M., Horinouchi, M. : Marine ecology : Intertidal/littoral zone. In *Japanese Marine Life - A Practical Training Guide in Marine Biology*, (Edited by Inaba, K. and Hall-Spencer, J.M., ISBN : 978-981-15-1326-8) Springer, pp. 241-254 (May, 2020)
- 2) Kon K., Yamashiro H., Horinouchi M., Kawaida S. : Experimental design in marine ecology. In *Japanese Marine Life - A Practical Training Guide in Marine Biology*, (Edited by Inaba, K. and Hall-Spencer, J.M., ISBN : 978-981-15-1326-8) Springer, pp. 273-282 (May, 2020)
- 3) Minamoto, T., Miya, M., Sado, T., Seino, S., Doi, H., Kondoh, M., Nakamura, K., Takahara, T., Yamamoto, S., Yamanaka, H., Araki, H., Iwasaki, W., Kasai, A., Masuda, R. and Uchii, K. : An illustrated manual for environmental DNA research : water sampling guidelines and experimental protocols. *Environmental DNA*, 3 : 8-13 (Jan., 2021)

- 4) 高原輝彦・岩井紀子・休場聖美：3.2 種特異的環境DNA手法を用いた希少両生類研究とモニタリング。環境DNA—生態系の真の姿を読み解く—（土居秀幸・近藤倫生編, ISBN：978-4-320-05816-3）。共立出版, 東京, pp. 57-69（2021年3月）

## 論 文

- 1) Espadero, ADA., Nakamura, Y., Uy, WH., Tongnunui, P., Horinouchi, M. : Tropical intertidal seagrass beds : An overlooked foraging habitat for fishes revealed by underwater videos. *Journal of Experimental Marine Biology and Ecology*, 526 : 151353. (May, 2020)
- 2) Hosozawa, T., Kunii, H., Nakamura, M., Ojima T., Sugiyama Y. and Yamaguchi, K. : Spatial, temporal and vertical variation of distribution and major habitats in Asian mussel (*Arcuatula senhousia*) in a brackish river along Sea of Japan. *Plankton and Benthos Research*, 15 (2) : 121-131 (May, 2020)
- 3) Moriguchi, Y., Kihara J, Ueno M. : Fungicidal activity of secondary metabolites from *Annulohyphoxylon* sp. against the rice blast fungus, *Pyricularia oryzae*. *Journal of General Plant Pathology*, 86 : 405-411 (Jun., 2020)
- 4) Takahara, T., Taguchi, J., Yamagishi, S., Doi, H., Ogata, S., Yamanaka, H. and Minamoto, T. : Suppression of eDNA degradation in water samples associated with different storage temperature and period using benzalkonium chloride. *Limnology and Oceanography : Methods*, 18 : 437-445 (Aug., 2020)
- 5) Salehin, A., Hafiz, M.H.R., Hayashi, S., Adachi, F. and Itoh, K. : Effects of the biofertilizer OYK (*Bacillus* sp.) inoculation on endophytic microbial community in sweet potato. *Horticulturae*, 6 : 1-12 (Nov., 2020)
- 6) 立石新・辻冨月・山中裕樹・乾隆帝・赤松良久・高原輝彦：環境DNAを用いた宍道湖・中海におけるモクズガニ (*Eriocheir japonica*) の季節的な分布推定。 *Laguna* (汽水域研究), 27 : 87-100 (2020年12月)
- 7) Kariya, K., Ube, N., Ueno, M., Teraishi, M., Okumoto, Y., Mori, N., Ueno, K. and Ishihara, A. : Natural variation of diterpenoid phytoalexins in cultivated and wild rice species. *Phytochemistry*, 180 : 112518 (Dec., 2020)
- 8) Hafiz, M.H.R., Salehin, A., Adachi, F., Omichi, M., Saeki, Y., Yamamoto, A., Hayashi, S. and Itoh, K. : Latitudinal characteristic nodule composition of soybean-nodulating bradyrhizobia : temperature-dependent proliferation in soil or infection? *Horticulturae*, 7 : 1-12 (Jan., 2021)
- 9) Gondo Y, Miwa Y, Kihara J, Ueno M. : Fungicidal activity of buckwheat leaf extracts against *Colletotrichum orbiculare*, the causal agent of anthracnose disease in cucumber. *Journal of Japanese Society of Agricultural Technology Management*, 27 : 115-122 (Feb., 2021)
- 10) Ganphung R, Kihara J, Ueno M. : Suppressive effect of *Burkholderia* sp. GT1022 isolated from soil against anthracnose disease caused by *Colletotrichum orbiculare*. *Journal of Japanese Society of Agricultural Technology Management*, 27 : 185-195 (Feb., 2021)
- 11) Hafiz, M.H.R., Salehin, A. and Itoh, K. : Growth and competitive infection behaviors of *Bradyrhizobium japonicum* and *Bradyrhizobium elkanii* at different temperatures. *Horticulturae* 7 (3) : 1-10 (Feb., 2021)
- 12) Okabe, N., Yahara, T., Tagane, S., Mitsuyuki, C., Matsuo, A., Sasaki, T., Moritsuka, E., Fuse, K., Shimizu-kaya, U., Sang, J.A., Pungga, R.S. and Suyama, Y. : A New Species of *Actinodaphne* (Lauraceae), *A. lambirensis* from Sarawak, Malaysia, and an analysis of its phylogenetic position using MIG-seq and ITS sequences. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica*, 72 : 43-59 (Feb., 2021)
- 13) Nishiyama, K., Koshimae, Y., Ueda, Y., Kodama, M. and Ueno, M. Uptake of metal (Zn, Y, Ti) oxide nanoparticles by poaceae and cucurbitaceae plants based on metal properties and surface conditions *The Journal of Physical Chemistry B*, 125 : 1755-1759 (Feb., 2021)
- 14) Tho LV, Son DV, Shimizu-kaya U and, Miyanaga R. Species diversity and distribution of wild bees (Hymenoptera : Apoidea) in Binh Chanh District, Ho Chi Minh City. *Thu Dau Mot University Journal of Science*, 3 (1) : 25-35 (Mar., 2021)
- 15) 浴井栞・宮永龍一：人工水域におけるハイイロゲンゴロウの生息場所利用について。 *中国昆虫*, 34 : 1-9 (2021年3月)
- 16) Ganphung, R., Kihara, J. and Ueno, M. Suppressive effect of *Burkholderia* sp. GT1022 isolated from soil against anthracnose disease caused by *Colletotrichum orbiculare*. *Journal of Japanese Society of Agricultural Technology Management*, 27 : 185-195 (Mar., 2021)

## その他

- 1) Komada, N., Nakanishi, A., Tagane, S., Shimizu-kaya, U., Meleng, P., Pungga, R.S., Itioka, T. and Kanzaki, M. Floristic composition of vascular epiphytes in Lambir Hills National Park, Sarawak, Malaysia in Borneo. Contributions from the Biological Laboratory, Kyoto University, 30 : 47-84 (Jul., 2020)
- 2) Gondo Y, Kamada I, Kihara J, Ueno M Antifungal activity of leaf extracts from several buckwheat varieties against plant pathogenic fungi. Bulletin of the Faculty of Life and Environmental Sciences, Shimane University, 25 : 27-30 (Sep., 2020)
- 3) 山口啓子：都市近郊の内湾がSDGsを目指すうえで二枚貝の価値－環境生態学者の視点から－. 豊かな海, 52 : 25-29 (2020年11月)
- 4) 堀之内正博：中国地方環境事務所・中海漁業協同組合：令和2年度グリーンワーカー事業（国指定中海鳥獣保護区カワウ胃内容物等調査業務）報告書54 p. 「4.調査結果（3）胃の内容物調査結果の解析」および「（4）考察」 p. 3-6（堀之内執筆担当）（2021年3月）
- 5) Tho, L.V., Son, D.V., Shimizu-kaya, U. and Miyanaga, R. Species diversity and distribution of wild bees (Hymenoptera : Apoidea) in Binh Chanh District, Ho Chi Minh City. Thu Dau Mot University Journal of Science, 3 : 25-35 (Mar., 2021)
- 6) 高原輝彦・服部真也・山中裕樹：環境DNAを用いた宍道湖-中海を利用する海産魚2種の季節移動性の推定. ホンザキグリーン財団研究報告, 24 : 161-170（2021年3月）
- 7) 泉洋平：菌床の低温処理によるナガマドキノコバエの防除の可能性. 中国昆虫, 34 : 11-15（2021年3月）

## 【山口大学】

### 論文

- 1) Tanaka, K., Hoshi, A., Nojima, R., Suzuki, K., Takiguchi, H., Takatsuki, S., Takizawa, T., Hosoi, E., Tamate, H. B., Hayashida, M., Anezaki, T., Fukue, Y., Minami, M. : Genetic Variation in Y-Chromosome Genes of Sika Deer (*Cervus nippon*) in Japan. Zoological Science, 37(5), 1-6 (Jul., 2020)
- 2) Patil, S. V., Kumudini, B. S., Pushpalatha, H. G., De Britto, S., Ito, S., Sudheer, S., Singhh, D. P., Gupta V. K., Jogaiah, S., Synchronised regulation of disease resistance in primed finger millet plants against the blast disease. Biotechnology Reports, 27 : e00484. doi.org/10.1016/j.btre.2020.e00484. (Sep., 2020)
- 3) Fujikawa, I., Takehara, Y., Ota M., Imada, K., Sasaki, K., Kajihara, H., Sakai, S., Jogaiah, S., Ito, S., Magnesium oxide induces immunity against Fusarium wilt by triggering the jasmonic acid signaling pathway in tomato. Journal of Biotechnology, 325 : 100-108. (Nov., 2020)
- 4) Phoka, N., Suwannarach, N., Lumyong, S., Ito, S., Matsui, K., Arikrit, S. Sunpapao, A. Role of volatiles from the endophytic fungus *Trichoderma asperelloides* PSU-P1 in biocontrol potential and in promoting the plant growth of *Arabidopsis thaliana*. Journal of Fungi, 6 : 341; doi : 10.3390/jof6040341 (Dec., 2020)
- 5) Yanagi, Y., Ochi, Y. and Kobayashi, T. : The effect of humic acids on the phototoxicity of benzo[a]pyrene to the alga, *Pseudokirchneriella subcapitata*. Humic Substances Research, 16/17 : 3-14（2021年3月）

## その他

- 1) 藤間充・小林孝行・柳由貴子・平舘俊太郎：秋吉台の自然と土壌. ペドロジスト, 64 : 24（2020年6月）
- 2) 柳由貴子：秋吉台の土壌（土壌断面の特徴）. ペドロジスト, 64 : 32-36（2020年6月）
- 3) 中村真理・大森鑑能・村上恵梨・細井栄嗣：周防大島町片島のノヤギ個体群が利用するムベ *Stauntonia hexaphylla* のリターフォールの季節変動. 山口生物. 40 : 49-57（2021年2月）
- 4) 大森鑑能・早川大輔・細井栄嗣：ニホンジカの毛衣における保温性の地域間比較. 山口生物. 40 : 21-31（2021年2月）
- 5) 大森鑑能・細井栄嗣：画像処理ソフトを用いた堅果類カウント法. 山口生物. 40 : 41-48（2021年2月）
- 6) 大森鑑能・細井栄嗣：山口県におけるツブラジイ (*Custanopsis cuspidata*) の一斉開花. 山口生物. 40 : 59-67（2021年2月）

## 2 生命資源科学専攻

### 1) 菌類・きのこ科学連合講座

#### 【鳥取大学】

#### 論文

- 1) Chen, F.-C., Shimomura, N., Yamaguchi, T. and Aimi, T. : Spore formation and karyological characterization of basidiosporogenesis, meiosis, post-meiotic and nuclear migration mitosis in *Coprinus comatus*. *Mycoscience* 61 (3) : 122-127 (May, 2020)
- 2) Seemakram, W., Boonrung, S., Kokaew, U., Aimi, T. and Boonlue, S. : Optimization of culture conditions for xylanase production from cellulase-free xylanase-producing thermophilic fungus, *Thermomyces dupontii* KKU-CLD-E2-3. *Chiang Mai Journal of Science*, 47, *Chiang Mai Journal of Science* 47(3) : 391-402 (May, 2020)
- 3) Boonrung, S., Katekaew, S., Mongkolthananuk, W., Aimi, T. and Boonlue, S. : Purification and characterization of low molecular weight alkali stable xylanase from *Neosartorya spinosa* UZ-2-11. *Mycoscience* 61(3) : 128-135 (May, 2020)
- 4) 陳富嘉・陳富杰・尾崎佑磨・霜村典宏・山口武視・會見忠則：ササクレヒトヨタケ担子胞子の発芽促進と単胞子分離技術の開発. *日本きのこ学会誌*, 28 (2) : 62-67 (2020年7月)
- 5) Sato, M., Inaba, S., Noguchi, M. and Nakagiri, A. : Vermiculite as a culture substrate greatly improves the viability of frozen cultures of ectomycorrhizal basidiomycetes. *Fungal Biology* 124 : 742-751 (Aug., 2020)
- 6) Matozaki, T., Hattori, T., Maekawa, N., Nakagiri, A., Ishikawa, N.K. and Sotome, K. : *Hirticrusta* gen. nov. segregated from *Neofomitella* in Polyporaceae (Polyporales). *Mycoscience* 61 : 240-248 (Sep., 2020)
- 7) Yamaguchi, K., Chuaseeharonnachai, C., Huhtinen, S., Tsurumi, Y., Sri-Indrasudhi, V., Boonyuen, V., Okane, I., Hosoya, T. and Nakagiri, A. : Phylogeny and taxonomic revision of the genus *Candelabrum*, aero-aquatic fungi. *Mycoscience* 61 : 265-281 (Nov., 2021)
- 8) Maekawa, N., Yokoi, H., Sotome, K., Matsuura, K., Tanaka, C., Endo, N., Nakagiri, A. and Ushijima S. : *Athelia termitophila* sp. nov. is the teleomorph of the termite ball fungus *Fibularhizoctonia* sp. *Mycoscience* 61 : 323-330 (Nov., 2020)
- 9) Endo, N., Yamamoto, T., Sugawara, R., Sotome, K., Maekawa, N. and Nakagiri, A. : Characterization of Japanese *Lactarius* section *deliciosi* ectomycorrhizae : Toward the use of mycorrhizae for taxonomy and expansion of available cultures. *Mycoscience* 61 : 293-306 (Nov., 2020)
- 10) 陳富嘉・陳富杰・早乙女梢・霜村典宏・山口武視・會見忠則：ササクレヒトヨタケの交配システム. *日本きのこ学会誌*, 28 (3) : 93-99 (2020年10月)
- 11) Riffiani, R., Chen, F.-C., Zhang, W., Wada, T., Shimomura, N., Yamaguchi, T. and Aimi, T. : Identification, characterization and expression of *A*-mating type genes in monokaryons and dikaryons of the edible mushroom *Mycoleptodonoides aitchisonii* (Bunaharitake). *Mycoscience* 61(6) : 106-114 (Jan., 2021)
- 12) Shishikura, M., Takemura, Y., Sotome, K., Maekawa, N., Nakagiri, A. and Endo, N. : Four mycelial strains of *Entoloma clypeatum* species complex form ectomycorrhiza-like roots with *Pyrus betulifolia* seedlings in vitro, and one develops fruiting bodies 2 months after inoculation. *Mycorrhiza* 31 : 31-42 (Jan., 2021)
- 13) 陳富杰・尾崎佑磨・會見忠則・霜村典宏：エゾハリタケ子実体の安定生産条件の推定. *日本きのこ学会誌*, 28 (4) 182-186 (2021年1月)
- 14) Yamamoto, K., Endo, N., Ohmae, M. and Orihara, T. : *Balsamia oblonga* (Helvellaceae), a new species from a subalpine forest in Japan. *Truffology* 4 : 1-7 (Mar., 2021)

#### その他

- 1) Velez, P.A., Walker, A., Jaime, G.P., Barrios, A., Divanli, D., González, M.C. and Nakagiri, A. : Fine-scale temporal variation of intertidal marine fungal community structure : insights from an impacted Baja California sandy beach in Mexico. *Marine Biodiversity* 51(1) : 1 doi : 0.1007/s12526-020-01148-7 (Jan., 2021)

## 2) 生物機能科学連合講座

### 【鳥取大学】

#### 著 書

- 1) 東政明：カイコの科学（編集・分担執筆），ISBN978-4-254-42043-2，3-5 消化と排泄，3-8 シルクを作る体のしくみ，日本蚕糸学会編，朝倉書店，東京（2020年7月）

#### 論 文

- 1) Eltigani, S.A., Eltayeb, M.M., Bito, T., Ishihara, A. and Arima, J. : Non-specific inhibitor from *Origanum vulgare* leaves restrains *Porphyromonas gingivalis* growth and virulence factors. *International Journal of Agriculture and Biology* 23 : 1068-1074 (Apr., 2020)
- 2) Niki, D., Higashitani, A., Osada, H., Bito, T., Shimizu, K. and Arima, J. : Chitinolytic proteins secreted by *Cellulosimicrobium* sp. NTK2. *FEMS Microbiology Letters* 367(3) : doi : 10.1093/femsle/fnaa055 (Apr., 2020)
- 3) Kamada, M., Oka, M., Miyamoto, K., Uheda, E., Yamazaki, C., Shimazu, T., Sano, H., Kasahara, H., Suzuki, T., Higashibata, A. and Ueda, J. : Microarray profile of gene expression in etiolated *Pisum sativum* seedlings grown under microgravity conditions in space : Relevance to the International Space Station experiment "Auxin Transport." *Life Sciences in Space Research* 26 : 55-61 (Aug., 2020)
- 4) Fujiwara, N., Azuma, M., Itoh, M. and Kobayashi, J. : Isolation and primary culture of stem cells from the midgut epithelium of the silkworm *Bombyx mori*. *Journal of Insect Biotechnology and Sericulture* 89 : 55-62 (Oct., 2020)
- 5) Nakamura, Y., Sato, Y., Inaba, H., Iwasaki, T. and Matsuura, K. : Encapsulation of mRNA into Artificial Viral Capsids via Hybridization of a  $\beta$ -Annulus-dT20 Conjugate and the Poly(A) Tail of mRNA. *Applied Sciences* 10(22) : 8004 (Nov., 2020)
- 6) Oka, M., Kamada, M., Inoue, R., Miyamoto, K., Uheda, E., Yamazaki, C., Shimazu, T., Sano, H., Kasahara, H., Suzuki, T., Higashibata, A. and Ueda, J. : Altered localisation of ZmPIN1a proteins in plasma membranes responsible for enhanced-polar auxin transport in etiolated maize seedlings under microgravity conditions in space. *Functional Plant Biology* 47(12) : 1062-1072 (Nov., 2020)
- 7) Nishi, M., Kobayashi, H., Amano, T., Sakate, Y., Bito, T., Arima, J. and Shimizu, K. : Identification of the domains involved in promotion of silica formation in glassin, a protein occluded in hexactinellid sponge biosilica, for development of a tag for purification and immobilization of recombinant proteins. *Marine Biotechnology* 22(6) : 739-747 doi : 10.1007/s10126-020-09967-2 (Dec., 2020)
- 8) Eltigani, S.A., Eltayeb, M.M., Bito, T., Ichiyanagi, T., Ishihara, A. and Arima, J. : Argeloside I inhibits the pathogenicity of *Porphyromonas gingivalis* TDC60. *Journal of Bioscience and Bioengineering* 130(6) : 644-649 doi : 10.1016/j.jbiosc.2020.07.016 (Dec., 2020)
- 9) Iwasaki, T., Murakami, N. and Kawano, T. : A polylysine-polyhistidine fusion peptide for lysosome-targeted protein delivery. *Biochemical and Biophysical Research Communications* 533 : 905-912 (Dec., 2020)
- 10) Tanaka, Y., Nanasato, Y., Omura, K., Endoh, K., Kawano, T. and Iwasaki, T. : Direct protein delivery into intact plant cells using polyhistidine peptides. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* 85 : 1405-1414 (Mar., 2021)

### 【島根大学】

#### 著 書

- 1) 塩月孝博：3.4.化学的防除. 応用昆虫学（石川幸男・野村昌史編，ISBN978-4-254-42044-9 C3061），朝倉書店，pp.97-112（2020年4月）
- 2) 塩月孝博：カイコを使って農薬を開発するー大量の飼育が容易なカイコを使って新しい農薬を開発する. カイコの科学（日本蚕糸学会編，ISBN978-4-254-42043-2 C3061）. 朝倉書店，pp.150-151（2020年6月）

- 3) Mougi, A. : Diversity of Functional Traits and Interactions-Perspectives on Community Dynamics., Theoretical biology series, Springer, Singapore (Nov., 2020)
- 4) Mougi, A. : Spatiality and community stability. Diversity of Functional Traits and Interactions-Perspectives on Community Dynamics (Ed. A. Mougi), Springer, Singapore, 63-77 (Nov., 2020)
- 5) Mougi, A. : Interaction-type diversity and community stability. Diversity of Functional Traits and Interactions-Perspectives on Community Dynamics (Ed. A. Mougi), Springer, Singapore, 175-190 (Nov., 2020)

## 論文

- 1) Muramatsu M., Tsuji T., Tanaka S., Shiotsuki T., Jouraku A., Miura K., Veal I.M. and Minakuchi C. : Sex-specific expression profiles of ecdysteroid biosynthesis and ecdysone response genes in extreme sexual dimorphism of the mealybug *Planococcus kraunhiae* (Kuwana), PLoS One 15 : e0231451 (Apr., 2020)
- 2) Ono, H. and Yoshida, M.A. : Direct RNA sequencing approach to compare non-model mitochondrial transcriptomes : An application to a cephalopod host and its mesozoan parasite. Methods 176 : 55-61 (Apr., 2020)
- 3) Fernandez, A.I., Vangheluwe, N., Xu, K., Jourquin, J., Claus, L.A.N., Morales-Herrera, S., Parizot, B., De Gernier, H., Yu, Q., Drozdzecki, A., Maruta, T., Hoogewijs, K., Vannecke, W., Peterson, B., Opdenacker, D., Madder, A., Nimchuk, Z.L., Russinova, E. and Beeckman, T. : GOLVEN peptide signalling through RGI receptors and MPK6 restricts asymmetric cell division during lateral root initiation. Nature Plants 6 : 533-543 (May, 2020)
- 4) Terai, Y., Ueno, H., Ogawa, T., Sawa, Y., Miyagi, A., Kawai-Yamada, M., Ishikawa, T. and Maruta, T. : Dehydroascorbate reductases and glutathione set a threshold for high light-induced ascorbate accumulation. Plant Physiology 183 : 112-122 DOI : 10.1104/pp.19.01556 (May, 2020)
- 5) Tanabe, T., Kawamukai, M. and Matsuo, Y. : Glucose limitation and *pka1* deletion rescue aberrant mitotic spindle formation induced by Mal3 overexpression in *Schizosaccharomyces pombe*. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 84(8) : 1667-1680 (May, 2020)
- 6) Tamaki, S., Tanno, Y., Kato, S., Ozasa, K., Wakazaki, M., Sato, M., Toyooka, K., Maoka, T., Ishikawa, T., Maeda, M. and Shinomura, T. : Carotenoid accumulation in the eyespot apparatus required for phototaxis is independent of chloroplast development in *Euglena gracilis*. Plant Science, 298 : 110564 (Jun., 2020)
- 7) Tanabe, T., Kawamukai, M. and Matsuo, Y. : Glucose limitation and *pka1* deletion rescue aberrant mitotic spindle formation induced by Mal3 overexpression in *Schizosaccharomyces pombe*. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 84 : 1667-1680 (Aug., 2020)
- 8) Mougi, A. : Coupling of green and brown food webs and ecosystem stability. Ecol Evol 10 : 9192-9199 (Aug., 2020)
- 9) 石川孝博 : 植物のアスコルビン酸生合成研究の現状. ビタミン, 94 : 438-442 (2020年8月)
- 10) Nishida, I., Yanai, R., Matsuo, Y., Kaino, T. and Kawamukai, M. : Benzoic acid inhibits Coenzyme Q biosynthesis in *Schizosaccharomyces pombe*. PLoS One 15(11) : e0242616 (Nov., 2020)
- 11) Mougi, A. : Polyhythmic foraging and competitive coexistence. Sci Rep 10 : 20282 (Nov., 2020)
- 12) Takegaki, T., Nakanishi, A., Kanatani, Y., Kawase, S., Yoshida, M.A. and Sato, N. : Evidence of sperm removal behaviour in an externally fertilizing species and compensatory behaviour for the risk of self-sperm removal. Proc. Biol. Sci. 287(1937) : 20202004 (Dec., 2020)
- 13) Sato, N., Tsuda, S., Nur E. Alam, M., Sasanami, T., Iwata, Y., Kusama, S., Inamura, O., Yoshida, M.A. and Hirohashi, N. : Rare polyandry and common monogamy in the firefly squid, *Watasenia scintillans*. Sci. Rep. 10(1) : 10962 (Dec., 2020)
- 14) Yoshida, M.A., Imoto, J., Kawai, Y., Funahashi, S., Minei, R., Akizuki, Y., Ogura, A., Nakabayashi, K., Yura, K. and Ikeo, K. : Genomic and Transcriptomic Analyses of Bioluminescence Genes in the Enope Squid *Watasenia scintillans*. Mar. Biotechnol. 22(6) : 760-771 (Dec., 2020)
- 15) Kodama, Y. and Miyazaki, S. : Autolysis of *Chlorella variabilis* in starving *Paramecium bursaria* help the host cell survive against starvation stress. Current Microbiology 78 : 558-565 (Jan., 2021)

- 16) Otsuka, K., Mamiya, A., Konishi, M., Nozaki, M., Kinoshita, A., Tamaki, H., Arita, M., Saito, M., Yamamoto, K., Hachiya, T., Noguchi, K., Ueda, T., Yagi, Y., Kobayashi, T., Nakamura, T., Sato, Y., Hirayama, T. and Sugiyama, M. : Temperature-dependent fasciation mutants provide a link between mitochondrial RNA processing and lateral root morphogenesis. *eLife* 10 : e61611 (Jan., 2021)
- 17) Mougi, A. : Diversity of biological rhythm and food web stability. *Biology Letters* 17(2) : 20200673 (Feb., 2021)
- 18) Naruse, S., Ogino, M., Nakagawa, T., Yasuno, Y., Jouraku, A., Shiotsuki, T., Shinada, T., Miura, K., Minakuchi, C. : Ovicidal activity of juvenile hormone mimics in the bean bug, *Riptortus pedestris*, *Journal of Pesticide Science* 46 : 60-67 (Feb., 2021)
- 19) Inoue, M., Shirotani, Y., Morokado, T., Hanaki, S., Ito, M., Kameyama, H., Kofuji, H., Okino, A., Shikata, T., Yoshida, M.A. and Nagao, S. : Kuroshio fractions in the southwestern sea of Japan; implications from radium isotopes. *Continental Shelf Research* 214 : 104328 (Feb., 2021)

## その他

- 1) 菊樂香奈・丸田隆典：細胞質型アスコルビン酸ペルオキシダーゼは4-クマル酸3-ヒドロキシラーゼとしてリグニン合成に関与する。 *ビタミン*, 94 : 450-452 (2020年8月)
- 2) 田中泰裕・丸田隆典・石川孝博：緑藻クラミドモナスのTET1 ホモログCMD1 は新規アスコルビン酸依存型ジオキシゲナーゼである。 *ビタミン*, 94 : 589-592 (2020年12月)
- 3) 児玉有紀：クロレラの細胞内共生による繊毛虫の進化と多様性のメカニズムの解明。公益財団法人発酵研究所 *Research Communications*, 34 : 129 (2020年12月)

## 【山口大学】

### 著書

- 1) 小林淳：カイコを食べる。 *カイコの科学* (日本蚕糸学会編, ISBN : 978-4-254-42043-2) . 朝倉書店, 東京, pp. 147-149 (2020年7月)

### 論文

- 1) Matsumoto, N., Matsutani, M., Azuma, Y., Kataoka, N., Yakushi, T. and Matsushita, K. : In vitro thermal adaptation of mesophilic *Acetobacter pasteurianus* NBRC 3283 generates thermotolerant strains with evolutionary trade-offs. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* 84 : 832-841 (Apr., 2020)
- 2) Sumikawa, K., Kosaka, T., Udo, K., Kanesaki, Y., Yoshikawa, H. and Yamada, M. : Characteristics of physiology of and genomic mutations in aggregation-enhanced mutants of *Methanothermobacter* sp. CaT2. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* 84(5) : 1047-1055 (May, 2020)
- 3) Islam, Md.M., Ye, W., Akter, F., Rhamana, M.S., Matsushima, D., Munemasa, S., Okuma, E., Nakamura, Y., Biswas, Md.S., Mano, J. and Murata, Y. : Reactive carbonyl species mediate methyl jasmonate-induced stomatal closure. *Plant Cell Physiol* 61 : 1788-1797 (Aug., 2020)
- 4) Adachi, O., Nguyen, T.M., Hours, R.A., Kataoka, N., Matsushita, K., Akakabe, Y. and Yakushi, T. : 5-Keto-D-fructose production from sugar alcohol by isolated wild strain *Gluconobacter frateurii* CHM 43. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* 84(8) : 1745-1747 (Aug., 2020)
- 5) 内海俊彦：昆虫細胞由来無細胞タンパク質合成系を用いた脂質修飾タンパク質の網羅的解析。 *蚕糸・昆虫バイオテック*, 89 (2) : 59-68 (2020年8月)
- 6) Adachi, O., Hours, R.A., Akakabe, Y., Arima, H., Taneba, R., Tanaka, J., Kataoka, N., Matsushita, K. and Yakushi, T. : Taro *koji* of *Amorphophallus konjac* enabling hydrolysis of konjac polysaccharides to various biotechnological interest. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* 84(10) : 2160-2173 (Oct., 2020)
- 7) Fujiwara, N., Azuma, M., Itoh, M. and Kobayashi, J. : Isolation and primary culture of stem cells from the midgut epithelium of the silkworm *Bombyx mori*. *Journal of Insect Biotechnology and Sericulture* 89 : 55-62 (Oct., 2020)

- 8) Kinoshita-Kikuta, E., Utsumi, T., Miyazaki, A., Tokumoto, C., Doi, K., Harada, H., Kinoshita, E. and Koike, T. : Protein-N-myristoylation-dependent phosphorylation of serine 13 of tyrosine kinase Lyn by casein kinase 1 $\gamma$  at the Golgi during intracellular protein traffic. *Scientific Reports* 10(1) : 16273 (Dec., 2020)
- 9) Sriherfyna, F.H., Matsutani, M., Hirano, K., Koike, H., Kataoka, N., Yamashita, T., Nakamaru-Ogiso, E., Matsushita, K. and Yakushi, T. : The Auxiliary NADH Dehydrogenase Plays a Crucial Role in Redox Homeostasis of Nicotinamide Cofactors in the Absence of the Periplasmic Oxidation System in *Gluconobacter oxydans* NBRC3293. *Applied and Environmental Microbiology* 87(2) : e02155-20 (Jan., 2021)
- 10) Kataoka, N., Hirata, K., Matsutani, M., Ano, Y., Nguyen, T. M., Adachi, O., Matsushita, K. and Yakushi, T. : Three ATP-dependent phosphorylating enzymes in the first committed step of dihydroxyacetone metabolism in *Gluconobacter thailandicus* NBRC3255. *Applied Microbiology and Biotechnology* 105(3) : 1227-1236 (Feb., 2021)
- 11) Nguyen, T. M., Naoki, K., Kataoka, N., Matsutani, M., Ano, Y., Adachi, O., Matsushita, K. and Yakushi, T. : Characterization of a cryptic, pyrroloquinoline quinone-dependent dehydrogenase of *Gluconobacter* sp. strain CHM43. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* 85(4) : 998-1004 (Mar., 2021)
- 12) Miah, R., Nina, S., Murate, T., Kataoka, N., Matsutani, M., Matsushita, K. and Yakushi, T. : Major aldehyde dehydrogenase AldFGH of *Gluconacetobacter diazotrophicus* is independent of pyrroloquinoline quinone but dependent on molybdopterin for acetic acid fermentation. *Applied Microbiology and Biotechnology* 105(6) : 2341-2350 (Mar., 2021)
- 13) Koschmieder, J., Wüst, F., Schaub, P., Álveraz, D., Trautmann, D., Fekete, A., Shiko, G., Rustenholz, C., Mano, J., Müller, M., Bartels, D., Huguency, P. and Welsch, R. : Plant apocarotenoid metabolism defense mechanisms against reactive carbonyl species and xenobiotics. *Plant Physiology* 185 : 331-351 (Mar., 2021)
- 14) Sugimoto, K., Matsuoka, Y., Sakai, K., Fujiya, N., Fujii, H. and Mano, J. : Catechins in green tea powder (matcha) are heat-stable scavengers of acrolein, a lipid peroxide-derived reactive carbonyl species. *Food Chemistry* 355 : 129403. (Mar., 2021)

#### その他

- 1) 小林淳 : 特集「昆虫工場の現場から」にあたって～その光と影, そして新たな展開に向けて～. 蚕糸・昆虫バイオテック, 89 : 49-50 (2020年8月)
- 2) 馬嶋景・小林淳 : 起業15年を迎えるバキュロテクノロジーズ. 蚕糸・昆虫バイオテック, 89 : 85-89 (2020年8月)

### 3) 資源利用化学連合講座

#### 【鳥取大学】

#### 著 書

- 1) Bito, T. and Watanabe, F. : Production of vitamin B<sub>12</sub>-enriched lettuce for vegetarians and elderly people. *In Lactuca -Cultivation and Uses-* (Edited by Krüger, J., ISBN : 978-1-53617-729-9), Nova Science Publishers, Inc., New York, pp. 151-164 (Apr., 2020)
- 2) 大崎久美子・尾谷浩・石原亨 : きこの香り成分および廃菌床を利用した病害防除資材の開発, 農業および園芸 95 : 567-576 (2020年7月)
- 3) Matsushita, K., Tamura, J. and Traboni, S. : Glucose and Glucuronate 2,2,2-trichloroethylsulfate : Precursors for Multiply Sulfated Oligosaccharides. *In Carbohydrate Chemistry : Proven Synthetic Methods Vol 5, Part 2, Chapter 12* [Edited by Kosma, P., Wrodnigg, T. M. and Stütz, A., ISBN : 978-0-8153-6788-8 (hbk), 978-1-3512-5608-7 (ebk)], CRC Press, Taylor & Francis group, Boca Raton, pp. 89-97 (Jan., 2021)
- 4) 一柳剛 : 抗菌・抗ウイルス性能の材料への付与, 加工技術と評価 (技術情報協会編, ISBN : 978-4-86104-834-0) . (株) 技術情報協会, 東京, pp. 220-226 (2021年3月)

## 論文

- 1) Niki, D., Higashitani, A., Osada, H., Bito, T., Shimizu, K. and Arima, J. : Chitinolytic proteins secreted by *Cellulosimicrobium* sp. NTK2. FEMS Microbiology Letters 367(7) : fnaa055 (Apr., 2020)
- 2) Eltigani, S.A., Eltayeb, M.M., Bito, T., Ishihara, A. and Arima, J. : Non-specific inhibitor from *Origanum vulgare* leaves restrains *Porphyromonas gingivalis* growth and virulence factors. International Journal of Agriculture and Biology 23(6) : 1068-1074 (Apr., 2020)
- 3) Nishi, M., Kobayashi, H., Amano, T., Sakate, Y., Bito, T., Arima, J. and Shimizu, K. : Identification of the domains involved in promotion of silica formation in glassin, a protein occluded in hexactinellid sponge biosilica, for development of a tag for purification and immobilization of recombinant proteins. Marine Biotechnology 22(6), 739-747 (Apr., 2020)
- 4) Bito, T., Bito, M., Hirooka, T., Okamoto, N., Harada, N., Yamaji, R., Nakano, Y., Inui, H. and Watanabe F. : Biological activity of pseudovitamin B<sub>12</sub> on cobalamin-dependent methylmalonyl-CoA mutase and methionine synthase in mammalian cultured COS-7 cells. Molecules 25(14) : 3268 (Jul., 2020)
- 5) 大崎久美子・陶山彩郁・牛島秀爾・石原亨・前川二太郎 : Russula 属および類縁属種のイソベレラール生産性とイソベレラールの菌寄生性菌類に対する抗菌活性. 日本きのこ学会誌, 28 (2) : 48-55 (2020年7月)
- 6) Yabuta, Y., Nagata, R., Aoki, Y., Kariya, A., Wada, K., Yanagimoto, A., Hara, H., Bito, T., Okamoto, N., Yoshida, S., Ishihara, A. and Watanabe, F. : L-Ascorbate biosynthesis involves carbon skeleton rearrangement in the nematode *Caenorhabditis elegans*. Metabolites 10(8) : 334 (Aug., 2020)
- 7) Bito, T., Okumura, E., Fujishima, M. and Watanabe, F. : Potential of Chlorella as a dietary supplement to promote human health. Nutrients 12(9) : 2524 (Aug., 2020)
- 8) 谷岡由梨・美藤友博・石田裕・羽石悠里・山内淳・古庄律・渡邊文雄 : 二十世紀梨搾汁残渣から抽出した水溶性食物繊維の特性および血糖値上昇抑制効果. 日本食品保蔵科学会誌, 46(4) : 175-180 (2020年9月)
- 9) Tamura, T., Omura, Y. and Tamura, J. : Stereo- and regioselective synthesis of *O*-mannosyl glycan containing matriglycan and a part of tandem ribitol phosphate. The Journal of Organic Chemistry 85(20) : 12935-12946 (Sep., 2020)
- 10) Koseki, K., Maekawa, Y., Bito, T., Yabuta, Y. and Watanabe, F. : High-dose folic acid supplementation results in significant accumulation of unmetabolized homocysteine, leading to severe oxidative stress in *Caenorhabditis elegans*. Redox Biology 37 : doi : <https://doi.org/10.1016/j.redox.2020.101724> (Oct., 2020)
- 11) Nadanaka, S., Miyata, S., Yaqiang, B., Tamura, J., Habuchi, O. and Kitagawa, H. : Reconsideration of the semaphorin-3A binding motif found in chondroitin sulfate using *Galnac4s6st*-knockout mice. Biomolecules 10(11) : 1499-1514 (Oct., 2020)
- 12) Koseki, K., Maekawa, Y., Bito, T., Yabuta, Y. and Watanabe, F. : High-dose folic acid supplementation results in significant accumulation of unmetabolized homocysteine, leading to severe oxidative stress in *Caenorhabditis elegans*. Redox Biology 37 : 101724 (Oct., 2020)
- 13) Bito, T., Koseki, K., Asano, R., Ueda, N., Yamada, Y., Yabuta, Y., Ichianagi, T., Ishihara, A., Watanabe, K. and Watanabe, F. : 5-Hydroxymethyl-2-furaldehyde purified from Japanese pear (*Pyrus pyrifolia* Nakai cv. Nijisseiki) juice concentrate inhibits melanogenesis in B16 mouse melanoma cells. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 84(11) : 2374-2384 (Nov., 2020)
- 14) Kariya, K., Ube, N., Ueno, M., Teraishi, M., Okumoto, Y., Mori, N., Ueno, K. and Ishihara, A. : Natural variation of diterpenoid phytoalexins in cultivated and wild rice species. Phytochemistry 180 : 112518 (Dec., 2020)
- 15) Eltigani, S.A., Eltayeb, M.M., Bito, T., Ichianagi, T., Ishihara, A. and Arima, J. : Argeloside I inhibits the pathogenicity of *Porphyromonas gingivalis* TDC60. Journal of Bioscience and Bioengineering 130(6) : 644-649 (Dec., 2020)
- 16) Iwasaki, T., Murakami, N. and Kawano, T. : A polylysine-polyhistidine fusion peptide for lysosome-targeted protein delivery. Biochem. Biochemical and Biophysical Research Communications 533(4) : 905-912 (Dec., 2020)
- 17) Aboshi, T., Iitsuka, C., Galis, I., Teraishi, M., Kamo, M., Nishimura, A., Ishihara, A., Mori, N. and Murayama,

- T. : Isopentylamine is a novel defense compound induced by insect feeding in rice. *Plant, Cell & Environment* 44(1) : 247-256 (Jan., 2021)
- 18) Ube, N., Katsuyama, Y., Kariya, K., Tebayashi, S., Sue, M., Tohnooka, T., Ueno, K., Taketa, S. and Ishihara, A. : Identification of methoxylchalcones produced in response to CuCl<sub>2</sub> treatment and pathogen infection in barley. *Phytochemistry* 184 : 112650 (Jan., 2021)
- 19) Ono, M., Arai, C., Kunimatsu, Y., Hori, Y., Matsunaga, Y., Bito, T., Iwasaki, T. and Kawano, T. : Regulatory mechanism of larval diapause by a *C. elegans* neuropeptide, FLP-6. *Peptide Science* 2020, 157-160 (Feb., 2021)
- 20) Iwasaki, T., Hayashi, T., Murakami, N. and Kawano, T. : Lysosomal enzyme replacement therapy using H16 peptide. *Peptide Science* 2020, 5-8 (Feb., 2021)
- 21) van Zadelhoff, A., de Bruijn, W., Fang, Z., Gaquerel, E., Ishihara, A., Werck, D., Zhang, P., Zhou, G., Franssen, M. and Vincken, J.-P. : Towards a systematic nomenclature for (neo)lignanamides. *Journal of Natural Products* 84(4) : 956-963 (Mar., 2021)

#### その他

- 1) 宇部尚樹・石原亨：農薬科学とその周辺—最近の話題—ムギ類の新たなフェニルアミド型ファイトアレキシン—ムギは病気になるとどんな防御物質をつくるのか？—。日本農薬学会誌, 45 (2) : 158-159 (2020年8月)
- 2) 美藤友博：食品添加物が食品中のビタミンB<sub>12</sub>に及ぼす影響。ビタミン, 95 : 56-58 (2021年2月)

#### 【島根大学】

##### 著書

- 1) Wongravee, K., Ishigaki, M. and Ozaki, Y. : Chemometrics as a Green Analytical Tool. *In Challenges in Green Analytical Chemistry* (Edited by Garrigues, S., and Guardia, M. de la, ISBN; 978-1-78801-537-0), Royal Society of Chemistry, London, pp 277-336 (May, 2020)
- 2) 室田佳恵子：食品由来フラボノイドの生体利用性：代謝による構造変化と機能性発現。化学と生物, 58 : 302-308 (2020年5月)
- 3) Ishigaki, M. and Ozaki, Y. : Near-infrared spectroscopy and imaging in protein research. *In Vibrational Spectroscopy in Protein Research* (Edited by Ozaki, Y., Baranska, M., Lednev, I. K., and Wood, B. R., ISBN; 978-0128186107). Academic Press, Massachusetts, pp 143-170 (Jun., 2020)
- 4) Ishikawa, D., Ishigaki, M. and Gowen, A. A. : NIR imaging. *In Near-Infrared Spectroscopy –Theory, Spectral Analysis, Instrumentation, and Applications.* (Edited by Ozaki, Y., Huck, C. W., Tsuchikawa, S., and Engelsen S. B., ISBN; 978-9811586477), Springer, Heidelberg, pp.517-551 (Nov., 2020)

##### 論文

- 1) Okuda, M., Hiramatsu, T., Yasuda, M., Ishigaki, M., Ozaki, Y., Hayashi, M., Keisuke, T. and Chatani, E. : Theoretical Modeling of Electronic Structures of Polyiodide Species Included in  $\alpha$  Cyclodextrin. *The Journal of Physical Chemistry B* 124(20) : 4089-4096 (Apr., 2020)
- 2) Ishigaki, M., Yasui, Y., Kajita, M. and Ozaki, Y. : Assessment of Embryonic Bioactivity through Changes in the Water Structure Using Near-Infrared Spectroscopy and Imaging. *Analytical Chemistry* 92(12) : 8133-8141 (May, 2020)
- 3) 清水英寿：腸管上皮細胞の炎症に対する摂取タンパク質由来腸内細菌代謝産物の影響。アグリバイオ 4 (6) : 458-460 (2020年6月)
- 4) Shimoda, T., Hori, S., Maegawa, K., Takeuchi, A., Lee, Y., Joe, G.H., Tanaka, Y., Shimizu, H. and Ishizuka, S. : A low coefficient of variation in hepatic triglyceride concentration in an inbred rat strain. *Lipids in Health and Disease* 19(1) : 137 (Jun., 2020)

- 5) Ishigaki, M., Morimoto, K., Chatani, E. and Ozaki, Y. : Exploration of Insulin Amyloid Polymorphism Using Raman Spectroscopy and Imaging. *Biophysical Journal* 118(12) : 2997-3007 (Jun., 2020)
- 6) Murota, K. : Absorption pathway of dietary flavonoids : the potential roles of the lymphatic transport in the intestine. *Functional Foods in Health and Disease*, 10(7) : 274-289 (Jul., 2020)
- 7) Murota, K. : Digestion and absorption of dietary glycerophospholipids in the small intestine : Their significance as carrier molecules of choline and n-3 polyunsaturated fatty acids. *Biocatalysis and Agricultural Biotechnology* 26 : 101633 (Jul., 2020)
- 8) Hiramatsu, T., Yamamoto, N., Ha, S., Masuda, Y., Yasuda, M., Ishigaki, M., Yuzu, K., Ozaki, Y. and Chatani, E. : Iodine staining as a useful probe for distinguishing insulin amyloid polymorphs. *Scientific Reports* 10(1) : 16741 (Oct., 2020)
- 9) Fujimoto, M.\*, Ebine, K.\*, Nishimura, K.\*, Tsutsumi, N. and Ueda, T. : Longin R-SNARE is retrieved from the plasma membrane by ANTH domain-containing proteins in *Arabidopsis*. *Proc. Natl. Acad. Sci. USA*. 117(40) : 25150-25158 doi : 10.1073/pnas.2011152117 (Oct., 2020)
- 10) Deromachi, Y., Uruguchi, S., Kiyono, M., Kuga, K., Nishimura, K., Sato, M.H. and Hirano, T. : Stable expression of bacterial transporter ArsB attached to SNARE molecule enhances arsenic accumulation in *Arabidopsis*. *Plant Signal. Behav* 15(11) : 1802553 doi : 10.1080/15592324.2020.1802553 (Nov., 2020)
- 11) Lee, J.Y.\*, Shimizu, H.\*, Hagio, M., Fukiya, S., Watanabe, M., Tanaka, Y., Joe, G.H., Iwaya, H., Yoshitsugu, R., Kikuchi, K., Tsuji, M., Baba, N., Nose, T., Tada, K., Hanai, T., Hori, S., Takeuchi, A., Furukawa, Y., Shirouchi, B., Sato, M., Ooka, T., Ogura, Y., Hayashi, T., Yokota, A. and Ishizuka, S. : 12a-Hydroxylated bile acid induces hepatic steatosis with dysbiosis in rats. *Biochimica et Biophysica Acta-Molecular and Cell Biology of Lipids* 1865(12) : 158811 (Dec., 2020)
- 12) Kimura, H., Tokuyama-Nakai, S., Hirabayashi, Y., Ishihara, T., Jisaka, M. and Yokota, K. : Anti-inflammatory and bioavailability studies on dietary 3,5,4'-trihydroxy-6,7-methylenedioxyflavone-O-glycosides and their aglycone from indigo leaves in a murine model of inflammatory bowel disease. *Journal of Pharmaceutical and Biomedical Analysis* 193 : 113716 (Jan., 2021)
- 13) Ishigaki, M., Ito, A., Hara, R., Miyazaki, S., Murayama, K., Yoshikiyo, K., Yamamoto, T. and Ozaki, Y. : A method of monitoring the number of amide bonds in peptides using near-infrared spectroscopy. *Analytical Chemistry* 93(5) : 2758-2766 (Feb., 2021)
- 14) Iwasaki, K., Araki, A., Krishna, M. C., Maruyama, R., Yamamoto, T. and Noothalapati, H. : Identification of molecular basis for objective discrimination of breast cancer cells (MCF-7) from normal human mammary epithelial cells by Raman microspectroscopy and multivariate curve resolution analysis. *International Journal of Molecular Sciences* 22(2) : 800 (Feb., 2021)
- 15) Yamaga, M., Tani, H., Nishikawa, M., Fukaya, K., Ikushiro, S. and Murota, K. : Pharmacokinetics and metabolism of cinnamic acid derivatives and flavonoids after oral administration of Brazilian green propolis in humans. *Food & Function* 12 : 2520-2530 (Mar., 2021)

## その他

- 1) 下位香代子・室田佳恵子 : ポリフェノールと健康に関する研究の最近の動向と今後. *FFIジャーナル*, 225 : 182-190 (2020年4月)
- 2) 西村浩二・粟井光一郎 : 植物タンパク質の膜輸送経路を規定する膜小胞輸送因子のホスファチジルイノシトールリン脂質結合ドメインの機能解析. 令和2年度生体医歯工学共同研究実施報告書 (2021年3月)

## 【山口大学】

### 論文

- 1) Kimata-Ariga, Y., Sakamoto, A., Kamatani, M., Saitoh, T. and Hase, T. : C-terminal aromatic residue of Plasmodium ferredoxin important for the interaction with ferredoxin : NADP(H) oxidoreductase : possible

- involvement for artemisinin resistance of human malaria parasites. *Journal of biochemistry* 168(4) : 427-434 (Apr., 2020)
- 2) Maharjan, R., Fukuda, Y., Nakayama, T., Nakayama, T., Hamada, H., Ozaki, S. and Inoue, T. : Crown-ether-mediated crystal structures of the glycosyltransferase *PaGT3* from *Phytolacca americana*. *Acta Crystallographica - Section D Biological Crystallography* 76 : 521-530 (Jun., 2020)
  - 3) Iida, R., Taniguchi, S., Yoshimatsu, A., Yanai, M., Hirata, M., Karim, M.M. and Azakami, H. : *Lentinula edodes* methanol extract inhibits biofilm formation and autoinducer-2 production by *Eikenella corrodens*, a periodontopathogenic bacterium. *Mushroom Science and Biotechnology* 28 : 68-75 (Jul., 2020)
  - 4) Teshima, T., Yamada, N., Yokota, Y., Sayama, T., Inagaki, K., Koeduka, T., Uefune, M., Ishimoto, M. and Matsui, K. : Suppression of methionine  $\gamma$ -lyase expression causes hyperaccumulation of *S*-methylmethionine in soybean seeds. *Plant Physiology* 183(3) : 943-956. (Jul., 2020)
  - 5) Adachi, O., Nguyen, T.M., Hours, R.A., Kataoka, N., Matsushita, K., Akakabe, Y. and Yakushi, T. : 5-Keto-D-fructose production from sugar alcohol by isolated wild strain *Gluconobacter frateurii* CHM 43. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* 84(8) : 1745-1747 (Aug., 2020)
  - 6) Koeduka, T., Suzuki, H., Taguchi, G. and Matsui, K. : Biochemical characterization of the jasmonic acid methyltransferase gene from wasabi (*Eutrema japonicum*). *Plant Biotechnology* 37(3) : 389-392 (Sep., 2020)
  - 7) Koeduka, T., Ueyama, Y., Kitajima, S., Ohnishi, T. and Matsui, K. : Molecular cloning and characterization of UDP-glucose : volatile benzenoid/phenylpropanoid glucosyltransferase in petunia flowers. *Journal of Plant Physiology* 252 : 153245. (Sep., 2020)
  - 8) Adachi, O., Hours, R.A., Akakabe, Y., Arima, H., Taneba, R., Tanaka, J., Kataoka, N., Matsushita, K. and Yakushi, T. : Taro *koji* of *Amorphophallus konjac* enabling hydrolysis of konjac polysaccharides to various biotechnological interest. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* 84(10) : 2160-2173 (Oct., 2020)
  - 9) Iida, R., Taniguchi, S., Hamaji, M., Takamuku, M., Ishida, E., Siddiq, A. and Azakami, H. : *Hericum erinaceum* (Yamabushitake) extract inhibits biofilm formation and degrades mature biofilm of the periodontopathogenic bacterium *Eikenella corrodens*. *Mushroom Science and Biotechnology* 28(3) : 100-106 (Oct., 2020)
  - 10) Nain, Z., Mansur, F.J., S.B. Syed, S. B., Islam, M.A., Azakami, H., MR. Islam, M.R. and Karim, M.M. : Inhibition of biofilm formation, quorum sensing and other virulence factors in *Pseudomonas aeruginosa* by polyphenols of *Gynura procumbens* leaves. *Journal of Biomolecular Structure and Dynamics* 39 : 1-15 DOI : 10.1080/07391102.2020.1870563 (Jan., 2021)

### 3 国際乾燥地科学専攻

#### 国際乾燥地科学連合講座

##### 【鳥取大学】

##### 著 書

- 1) Inosako, K., Troyo, D.E., Saito, T. and Lucero, V.G. : 2-3-1 Technical Manual for Water and Soil Management of Open Culture. *In Technical Manual of Aquaponics Combined with Open Culture Adapting to Arid Regions* (Edited by Larrinaga J. A. M., Racotta D. I. and Yamada S. ISBN978-4-9907587-7-6), Fukui Print, Tottori, pp.67-90 (May, 2020)
- 2) Inosako, K., Troyo, D.E., Saito, T. and Lucero, V.G. : 2-3-1 Manual Técnico para Manejo de Agua y Suelo en Cultivos a Cielo Abierto, *In Manual Técnico sobre Acuaponía Combinada con Cultivo a Cielo Abierto Adaptando en Zonas Áridas*, (Edited by Larrinaga J. A. M., Racotta D. I. and Yamada S., ISBN978-4-9907587-9-0), Imprenta Fukui, Tottori, pp.65-90 (May, 2020)
- 3) 猪迫耕二・Troyo, D.E・齊藤忠臣・Lucero, V.G. : 2-3-1 露地栽培における水・土壌管理技術マニュアル, 乾燥地に適応した露地栽培結合型アクアポニックスの技術マニュアル (山田智, Juan Angel Larrinaga J. A. M., Racotta D. I. 監修, ISBN978-4-9907587-6-9), 福井印刷, 鳥取, pp.57-76 (2020年5月)
- 4) 山中典和: 乾燥地と砂漠. p.2-3, 東アジアの砂漠. p.12-13, 東アジアの砂漠 タクラマカン砂漠. p.14-15, 東アジアの砂漠 ムウス砂地. p.18-19. 沙漠学事典 (日本沙漠学会編, ISBN 978-4-621-30517-1 C3525). 丸善出版, 東京 (2020年7月)
- 5) 坪充: カラハリ砂漠. pp. 50-51, 気温・降水. pp. 76-77, 沙漠学事典 (日本沙漠学会編, ISBN : 978-4-621-30517-1). 丸善出版, 東京 (2020年7月)
- 6) 谷口武士・山中典和: 南北アメリカの砂漠. pp54-55, pp60-61, 沙漠学事典 (日本沙漠学会編, ISBN : 978-4-621-30517-1). 丸善出版, 東京 (2020年7月)
- 7) 衣笠利彦: 乾燥地の特徴的な植物 一年生植物, 多年生草本. 沙漠学事典 (日本沙漠学会編, ISBN : 978-4-621-30517-1). 丸善出版, 東京, pp. 116-119 (2020年7月)
- 8) 黒崎泰典: 砂漠化による越境汚染 黄砂, PM2.5. pp. 392-393 沙漠学事典 (日本沙漠学会編, ISBN : 978-4-621-30517-1). 丸善出版, 東京, (2020年7月)
- 9) Yanai, J., Toma, M., Mochizuki, H., Moritsuka, N., Wada, K., Uchiyama, T., Endo, T., Toma, Y., Hiraoka, K., Tokuchi, N., Hasukawa, H., Takeshita, K., Maki, H., Matsuyama, M., Ohshiro, T. and Oya, M. : Kinki, Chugoku, and Shikoku Regions. *In The Soils of Japan* (Edited by Hatano, R., Shinjo, H. and Takata, Y., ISBN : 978-981-15-8228-8), Springer, Madison, pp.299-326 (Feb., 2021)
- 10) Kimura, R. : Climate Features of Dakhla Oasis. *In Sustainable water solutions in the western desert, Egypt : Dakhla Oasis* (Edited by Iwasaki, E., Negm, A.M. and Elbeih, S.F., ISBN : 978-3-030-64004-0), Springer, Cham, Switzerland, pp. 89-99 (Mar., 2021)
- 11) Undarmaa J., Okuro T., Nyamtseren Z., Yamanaka N : Rangeland Plants of Gobi Region, Mongolia. (ISBN : 978-9919-9688-3-0). Munkhiin useg Co.Ltd, Ulaanbaatar, p.304, p.320, p.448. (in Mongolian), (Mar., 2021)

##### 論 文

- 1) Chen, X., Wang, T., Liu, S., Peng, F., Kang, W., Guo, Z., Feng, K., Liu, J. and Tsunekawa, A. : Spectral response assessment of moss-dominated biological soil crust coverage under dry and wet conditions. *Remote Sensing* 12(7) : 1158 (Apr., 2020)
- 2) Zhou, T., Liu, M., Sun, J., Li, Y., Shi, P., Tsunekawa, A., Zhou, H., Yi, S. and Xue, X. : The patterns and mechanisms of precipitation use efficiency in alpine grasslands on the Tibetan Plateau. *Agriculture, Ecosystems & Environment* 292 : 106833 (Apr., 2020)
- 3) Majbaudhin, A., Otani, S., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Abeje, M.T., Nigussie, Z., Alam, I., Qing, Q., Masumoto, T. and Kurozawa, Y. The influence of income and livelihood diversification on health-related quality

- of life in rural Ethiopia. *International Journal of Environmental Research and Public Health* 2020 17(8) : 2709 (Apr., 2020)
- 4) Kimura, R., Iwasaki, E. and Matsuoka, N. : Analysis of the Recent Agricultural Situation of Dakhla Oasis, Egypt, Using Meteorological and Satellite Data. *Remote Sensing* 12(8) : 1264 doi : 10.3390/rs12081264 (Apr., 2020)
  - 5) Lyu, J.L., He Q.Y., Yang, J., Chen, Q.W., Cheng, R.R., Yan, M.J., Yamanaka, N. and Du, S. : Sap flow characteristics in growing and non-growing seasons in three tree species in the semiarid Loess Plateau region of China. *Trees-Structure and function*, 34(4) : 943-955 (Apr., 2020)
  - 6) Alemu, G.T., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Nigussie, Z., Tsubo, M., Elias, A., Ayalew, Z., Berihun, D., Adgo, E., Meshesha, D.T., Molla, D., Okoyo, E.N. and Zemedu, L. : Smallholder farmers' willingness to pay for sustainable land management practices in the Upper Blue Nile basin, Ethiopia. *Environment, Development and Sustainability* 23(4) : 5640-5665 (Apr., 2021)
  - 7) Basalirwa, D., Sudo, S., Wacal, C., Oo, A.Z., Sasagawa, D., Yamamoto, S., Masunaga, T. and Nishihara, E. : Impact of fresh and aged palm shell biochar on N<sub>2</sub>O emissions, soil properties, nutrient content and yield of Komatsuna (*Brassica rapa var. perviridis*) under sandy soil conditions. *Soil Science and Plant Nutrition* 66(2) : 328-343 DOI : <https://doi.org/10.1080/00380768.2019.1705737> (Apr., 2020)
  - 8) Matsushima, D., Kimura, R., Kurosaki, Y., Ganzorig, U. and Shinoda, M. : A method for estimating the threshold wind speed for dust emissions as a function of soil moisture. *Boundary Layer Meteorology* 175(2) : 237-257 (May, 2020)
  - 9) Abdelrahman, M., Ishii, T., El-Sayed, M. and Tran, L.S.P. : Heat Sensing and Lipid Reprograming as a Signaling Switch for Heat Stress Responses in Wheat. *Plant Cell Physiology* 61(8) : 1399-1407 (May, 2020)
  - 10) Abu-Zreig, M., Fujimaki, H. and Elbasit, M.A.A. : Enhancing water infiltration through heavy soils with sand-ditch technique. *Water* 12(5) : 1312 (May, 2020)
  - 11) Tatsumi, C., Imada, S., Taniguchi, T., Du, S., Yamanaka, N. and Tateno, R. : Soil prokaryotic community structure is determined by a plant-induced soil salinity gradient rather than other environmental parameters associated with plant presence in a saline grassland. *Journal of Arid Environments* 176 : 104100 (May, 2020)
  - 12) Egusa, M., Matsukawa, S., Miura, C., Nakatani, S., Yamada, J., Endo, T., Ifuku, S. and Kaminaka, H. : Improving nitrogen uptake efficiency by chitin nanofiber promotes growth in tomato. *International Journal of Biological Macromolecules* 151 : 1322-1331 (May, 2020)
  - 13) Mamedov, A.I., Wagner, L.E., Tsunekawa, A., Fujimaki, H., Tsubo, M., Kobayashi, M., Norton, L.D. and Levy, G.J. : Polyacrylamide dissolved in low quality water effects on structure stability of soils varying in texture and clay type. *Archives of Agronomy and Soil Science* 67(6) : 753-766 (May, 2020)
  - 14) Tatsumi, C., Imada, S., Taniguchi, T., Du, S., Yamanaka, N. and Tateno, R. : Soil prokaryotic community structure is determined by a plant-induced soil salinity gradient rather than other environmental parameters associated with plant presence in a saline grassland. *Journal of Arid Environments* 176 : 104100 (May, 2020)
  - 15) Mekuriaw, S., Tsunekawa, A., Ichinohe, T., Tegegne, F., Haregeweyn, N., Nobuyuki, K., Tassew, A., Mekuriaw, Y., Walie, M., Tsubo, M. and Okuro, T : Mitigating the anti-nutritional effect of polyphenols on in vitro digestibility and fermentation characteristics of browse species in north western Ethiopia. *Tropical Animal Health and Production* 52(3) : 1287-1298 (May, 2020)
  - 16) 井上光弘・登尾浩助・藤巻晴行・猪迫耕二 : スケール付き透明円筒を用いた変水位連続試験による砂地の現場飽和透水係数の測定法の開発. *日本砂丘学会誌*, 67 (1) : 11-24 (2020年5月)
  - 17) 緒方英彦・兵頭正浩・石神暁郎・新大軌 : 寒冷地で長期供用された開水路コンクリートの気泡およびひび割れ中の析出物に関する一考察. *コンクリート工学論文集*, 31 : 23-32 (2020年5月)
  - 18) Abebe, G., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Taniguchi, T., Wondie, M., Adgo, E., Masunaga, T., Tsubo, M., Ebabu, K., Mamedov, A. and Meshesha D.T. : Effect of soil microbiome from church forest in the northwest Ethiopian highlands on the growth of *Olea europaea* and *Albizia gummifera* seedlings under glasshouse conditions. *Sustainability* 12(12) : 4976 doi : 10.3390/su12124976 (Jun., 2020)
  - 19) Abeje, M.T., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Ayalew, Z., Nigussie, Z., Berihun, D., Adgo, E. and Elias, A : Multidimensional Poverty and Inequality : Insights from the Upper Blue Nile Basin, Ethiopia. *Social Indicators Research* 149(2) : 585 -611 <https://doi.org/10.1007/s11205-019-02257-y> (Jun., 2020)

- 20) Basalirwa, D., Sudo, S., Wacal, C., Namirembe, C., Sasagawa, D., Yamamoto, S., Masunaga, T. and Nishihara, E. : Effect of activated carbon on greenhouse gas emissions, seed yield, soil chemical properties and isoflavone content of soybean genotypes with varying nodulation capacities under sandy soil conditions. *Rhizosphere* 14 : 100202 doi : 10.1016/j.rhisph.2020.100202 (Jun., 2020)
- 21) Ebabu, K., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Adgo, E., Meshesha, D.T., Aklog, D., Masunaga, T., Tsubo, M., Sultan, D., Fenta, A.A. and Yibeltal, M. : Exploring the variability of soil properties as influenced by land use and management practices : A case study in the Upper Blue Nile basin, Ethiopia. *Soil and Tillage Research* 200 : 104614 (Jun., 2020)
- 22) Mekuriaw, S., Tsunekawa, A., Ichinohe, T., Tegegne, F., Haregeweyn, N., Kobayashi, N., Tassew, A., Mekuriaw, Y., Walie, M., Tsubo, M., Okuro, T., Meshesha, D.T., Meseret, M., Sam, L. and Fievez, V. : Effect of Feeding Improved Grass Hays and Eragrostis Tef Straw Silage on Milk Yield, Nitrogen Utilization, and Methane Emission of Lactating Fogera Dairy Cows in Ethiopia. *Animals* 2020 10(6) : 1021 doi : 10.3390/ani10061021 (Jun., 2020)
- 23) Liu, M., Zhang, Z.C., Sun, J., Wang, Y., Wang, J.N., Tsunekawa, A., Yibeltal, M., Xu, M. and Chen, Y.J. : One-year grazing exclusion remarkably restores degraded alpine meadow at Zoige, eastern Tibetan Plateau. *Global Ecology and Conservation* 22 : e00951 (Jun., 2020)
- 24) 大山幸輝・兵頭正浩・緒方英彦・石井将幸・吉原修 : 管内面に局所荷重を作用した際のRC管の地盤内挙動評価, 農業農村工学会論文集, 312 : I\_53-I\_61 (2020年6月)
- 25) Bayable, M., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Ishii, T., Alemayehu, G., Tsubo, M., Adgo, E., Tassew, A., Tsuji, W., Asaregew, F. and Masunaga, T. : Biomechanical Properties and Agro-Morphological Traits for Improved Lodging Resistance in Ethiopian Teff (*Eragrostis tef* (Zucc.) Trotter) Accessions. *Agronomy Basel* 10(7) : 1012 (Jul., 2020)
- 26) Liu, M., Zhang, Z.C., Sun, J\*, Li, Y.R., Liu, Y., Berihun, M.L., Xu, M., Tsunekawa, A. and Chen, Y.J. : Restoration efficiency of short-term grazing exclusion is the highest at the stage shifting from light to moderate degradation at Zoige, Tibetan Plateau. *Ecological Indicators* 114 : 106323 (Jul., 2020)
- 27) Ye, C.C., Sun, J\*, Liu, M., Xiong, J.N., Zong, N., Hu, J., Huang, Y., Duan, X.W. and Tsunekawa, A. : Concurrent and lagged effects of extreme drought induce net reduction in vegetation carbon uptake on Tibetan Plateau. *Remote Sensing* 2020, 12(15) : 2347 <https://doi.org/10.3390/rs12152347> (Jul., 2020)
- 28) 武美伸宗・緒方英彦・兵頭正浩・橋本学 : コンクリート表層におけるモルタル領域の炭酸化がスケーリング抵抗性に及ぼす影響, コンクリート工学年次論文集, 42 (1) : 647-652 (2020年7月)
- 29) 宇野彩葉・川崎佑磨・新大軌・兵頭正浩 : 揮発速度を変えたアロマ水を混入したモルタルの香り持続性と印象評価に関する研究, コンクリート工学会年次論文集, 42 (1) : 1264-1269 (2020年7月)
- 30) 兵頭正浩・柴原新弥・緒方英彦・早乙女梢 : ヨシ粉末配合モルタルの流動性に関する有機化学成分からの考察, コンクリート工学年次論文集, 42 (1) : 1294-1299 (2020年7月)
- 31) Sun, J\*, Liu, M., Fu, B.J., Kemp, D., Zhao, W.W., Liu, G.H., Han, G.D., Wilkes, A., Lu, X.Y., Chen, Y.C., Cheng, G.W., Zhou, T.C., Hou, G., Zhan, T.Y., Peng, F., Shang, H., Xu, M., Shi, P.L., He, Y.T., Li, M., Wang, J.N., Tsunekawa, A., Zhou, H.K., Liu, Y., Li, Y.R. and Liu, S.L. : Reconsidering the efficiency of grazing exclusion using fences on the Tibetan Plateau. *Science Bulletin* 65(16) : 1405-1414 (Aug., 2020)
- 32) Abdelrahman, M., Nakabayashi, R., Mori, T., Ikeuchi, T., Mori, M., Murakami, K., Ozaki, Y., Matsumoto, M., Urugami, A., Tsujimoto, H., Tran, L.S.P. and Kanno, A. : Comparative metabolome and transcriptome analyses of susceptible *Asparagus officinalis* and resistant wild *A. kiusianus* reveal insights into stem blight disease resistance. *Plant and Cell Physiology* 61(8) : 1464-1476 doi : 10.1093/pcp/pcaa054 (Aug., 2020)
- 33) Eltayeb, M.M., Eltigani, S.A. and Taniguchi, T. : Pyrosequencing scrutiny of bacterial and fungal communities in two Sudanese sorghum-based fermented foods. *Annals of Microbiology* 70(1) : 53 (Sep., 2020)
- 34) Fujimaki, H., Abd El Baki, H.M., Mahdavi, S.M. and Ebrahimian, H. : Optimization of irrigation and leaching depths considering the cost of water using WASH\_1D/2D models. *Water* 12(9) : 2549 (Sep., 2020)
- 35) Kimura, R. : Global Detection of Aridification or Increasing Wetness in Arid Regions from 2001 to 2013. *Natural Hazards* 103(2) : 2261-2276 (Sep., 2020)

- 36) Acidri, R., Sawai, Y., Sugimoto, Y., Sasagawa, D., Masunaga, T., Yamamoto, S. and Nishihara, E. : Foliar nitrogen supply enhances the recovery of photosynthetic performance of cold-stressed coffee (*Coffea arabica* L.) seedlings. *Photosynthetica* 58(4) : 951-960 DOI : 10.32615/ps.2020.047 (Sep., 2020)
- 37) Peng, F., Xue, X., Li, C.Y., Lai, C.M., Sun, J., Tsubo, M., Tsunekawa, A. and Wang, T. : Plant community of alpine steppe shows stronger association with soil properties than alpine meadow alongside degradation. *Science of The Total Environment* 733 : 139048 (Sep., 2020)
- 38) Vanmaercke, M., Chen, Y.X., Haregeweyn, N., De Geeter, S., Campforts, B., Heyndrickx, W., Tsunekawa, A. and Poesen, J. : Predicting gully densities at sub-continental scales : a case study for the Horn of Africa. *Earth Surface Processes and Landforms* 45(15) : 3763-3779 DOI : 10.1002/esp.4999 (Sep., 2020)
- 39) Liu, J., Kimura, R. and Wu, J. : Vertical profiles of wind-blown sand flux over fine gravel surfaces and their implications for field observation in arid regions. *Atmosphere*, 11(10) : 1029 doi : 10.3390/atmos11101029 (Sep., 2020)
- 40) Liang, S., Zhang, X., Lu, Y., An, P., Yan Z. and Chen, S. : Performance of double cropping silage maize with plastic mulch in the North China Plain. *Agronomy Journal* 112(5) : 4133-4146 (Oct., 2020)
- 41) Tongwane, M.I., Moeletsi, M.E. and Tsubo, M. : Trends of carbon emissions from applications of nitrogen fertiliser and crop residues to agricultural soils in South Africa. *Journal of Environmental Management* 272 : 111056 (Oct., 2020)
- 42) Fenta, A.A., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Tsubo, M., Yasuda, H., Shimizu, K., Kawai, T., Ebabu, K., Berihun, M.L., Sultan, D., Belay, A.S. and Sun, J. : Cropland expansion outweighs the monetary effect of declining natural vegetation on ecosystem services in sub-Saharan Africa. *Ecosystem Services* 45 : 101154 (Oct., 2020)
- 43) Kobayashi, N., Hou, F.J., Tsunekawa, A., Chen, X.J., Yan, T.H. and Ichinohe, T. : Effects of feeding level of alfalfa hay on nitrogen utilization for 1-kg daily gain of crossbred Simmental male calves. *Grassland Science* 66(4) 271-276 DOI : 10.1111/grs.12273 (Oct., 2020)
- 44) Du, W.C., Hou, F.J., Tsunekawa, A., Kobayashi, N., Peng, F. and Ichinohe, T. : Effects of oat hay and leguminous forage mixture feeding on enteric methane emission, energy utilization, and feed conversion efficiency in male crossbred Simmental beef cattle. *Animal Science Journal* 91(1) : e13472 DOI : 10.1111/asj.13472 (Oct., 2020)
- 45) Meshesha, D.T., Ahmed, M.M., Abdi, D.Y. and Haregeweyn, N. : Prediction of grass biomass from satellite imagery in Somali regional state, eastern Ethiopia. *Heliyon* 6(10) : e05272 (Oct., 2020)
- 46) Strohmeiera, S., Fukai, S., Haddad, M., AlNsour, M., Mudabber, M., Akimoto, K., Yamamoto, S., Evett, S. and Oweis, T. : Rehabilitation of degraded rangelands in Jordan : The effects of mechanized micro water harvesting on hill-slope scale soil water and vegetation dynamics. *Journal of Arid Environments* 185 : DOI : <https://doi.org/10.1016/j.jaridenv.2020.104338> (Oct., 2020)
- 47) Itam, M.O., Abdelrahman, M., Yamasaki, Y., Mega, R., Gorafi, Y.S.A., Akashi, K. and Tsujimoto, H. : *Aegilops tauschii* introgressions improve physio-biochemical traits and metabolite plasticity in bread wheat under drought stress. *Agronomy* 10(10) : 1588 doi : 10.3390/agronomy10101588 (Oct., 2020)
- 48) Itam, M.O., Mega, R., Tadano, S., Abdelrahman, M., Matsunaga, S., Yamasaki, Y., Akashi, K. and Tsujimoto, H. : Metabolic and physiological responses to progressive drought stress in bread wheat. *Scientific Reports* 10(1) : 1-14 doi : 10.1038/s41598-020-74303-6 (Oct., 2020)
- 49) Kimura, R. and Moriyama, M. : Use of a satellite-based aridity index to monitor decreased soil water content and grass growth in grasslands of north-east Asia. *Remote Sensing* 12(21) : 3556 doi : 10.3390/rs12213556 (Oct., 2020)
- 50) Yamamoto, F., Iwanaga, F., Al-Busaidi, A. and Yamanaka, N. : Roles of ethylene, jasmonic acid, and salicylic acid and their interactions in frankincense resin production in *Boswellia sacra* Flueck. *Trees. Scientific Reports* 10(1) : 16760 (Oct., 2020)
- 51) Hussain, Z., Khattak, R.A., An, P., Shao, Y. and Irshad, M. : Wheat growth and nutrient uptake after phosphorus and potassium application in saline-sodic field of semi-arid region. *Bioscience Journal* 36(6) : 1867-1878 (Nov., 2020)

- 52) Okuda, Y., Onishi, J., Shirokova, Y.I., Kitamura, Y. and Fujimaki, H. : Water and salt balance in agricultural lands under leaching with shallow subsurface drainage used in combination with cut-drains. *Water* 12(11) : 3207 (Nov., 2020)
- 53) Amini, M., Ebrahimian, H., Liaghat, A. and Fujimaki, H. : Unsaturated soil hydraulic properties according to double-ring infiltration of saline water. *Eurasian Soil Science* 53(11) : 1596-1609 (Nov., 2020)
- 54) Ishii, T., Juranic, M., Maheshwari, S., Bustamante, F.D., Vogt, M., Salinas-Gamboa, R., Dreissig, S., Gursansky, N., How, T., Demidov, D., Fuchs, J., Schubert, V., Spriggs, A., Vielle-Calzada, J.P., Comai, L., Koltunow, A.M.G. and Houben, A. : Unequal contribution of two paralogous CENH3 variants in cowpea centromere function. *Communication Biology* 3(1) : 775 (Dec., 2020)
- 55) Liu, M., Wang, Y., Sun, J\*, Zhang, Z.C., Xu, X.L., Zhou, H.K., Wu, G.L., Xu, M., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N. and Tsubo, M. : Shift in nurse effect from facilitation to competition with increasing size of *Salix cupularis* canopy in a desertified alpine meadow on the Tibetan Plateau. *Catena* 195 : 104757 (Dec., 2020)
- 56) Peng, F\*, Zhang, W., Li, C., Lai, C., Zhou, J., Xue, X. and Tsunekawa, A. : Sustained increase in soil respiration after nine years of warming in an alpine meadow on the Tibetan Plateau. *Geoderma* 379 : 114641 (Dec., 2020)
- 57) Berihun, M.L\*, Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Dile, Y.T., Tsubo, M., Fenta, A.A., Meshesha, D.T., Ebabu, K., Sultan, D. and Srinivasan, R. : Evaluating runoff and sediment responses to soil and water conservation practices by employing alternative modeling approaches. *Science of the Total Environment* 747 : 141118 (Dec., 2020)
- 58) Gao, Y., Ma, S\*, Wang, T., Wang, T., Gong, Y., Peng, F. and Tsunekawa, A. : Assessing the wind energy potential of China in considering its variability/intermittency. *Energy Conversion and Management* 226 : 113580 (Dec., 2020)
- 59) Gou, X.W., Tsunekawa, A., Tsubo, M., Peng, F., Sun, J., Li, Y.L., Zhao, X.Y. and Lian, J. : Seasonal dynamics of cattle grazing behaviors on contrasting landforms of a fenced ranch in northern China. *Science of the Total Environment* 749 : 141613 (Dec., 2020)
- 60) Kobayashi, N., Hou, F.J., Tsunekawa, A., Yan, T.H., Tegegne, F., Tassew, A., Mekuriaw, Y., Mekuriaw, S., Hunegnaw, B., Mekonnen, W. and Ichinohe, T. : Laser methane detector-based quantification of methane emissions from indoor-fed Fogera dairy cows. *Animal Bioscience* 34(8) : 1415-1424 DOI : 10.5713/ab.20.0739 (Dec., 2020)
- 61) Mubarak, A.A., Endo, T., Maegawa, T., Mamedov, A. and Yamanaka, N. : Effectiveness of organic amendment and application thickness on properties of a sandy soil and sand stabilization. *Journal of Arid Environments* 183 : 104273 (Dec., 2020)
- 62) Tsujimoto, H. : Gene-mining Asian wheat to feed the population in the 21<sup>st</sup> century. *Plant and Cell Physiology* 62(1) : 1-2 doi : 10.1093/pcp/pcaa158 (Dec., 2020)
- 63) Vanmaercke, M., Chen, Y.X., Haregeweyn, N., De Geeter, S., Campforts, B., Heyndrickx, W., Tsunekawa, A. and Poesen, J. : Predicting gully densities at sub-continental scales : a case study for the Horn of Africa. *Earth Surface Processes and Landforms* 45(15) : 3763-3779 (Dec., 2020)
- 64) Mamedov, A.I\*, Tsunekawa, A., Tsubo, Fujimaki, H., Ekberli, I., Şeker, C., Öztürk, H.S., Cerdà M.A. and Levy, G. J. : Structure stability of cultivated soils from semi-arid region : Comparing the effects of land use and anionic polyacrylamide application. *Agronomy* 10(12) : 2010 (Dec., 2020)
- 65) 加藤諭・八木沢康衛・川邊翔平・緒方英彦 : 円形治具を用いた無機系補修材の付着強度試験方法の開発に関する基礎的研究. *農業農村工学会論文集*, 311 : I\_193-I\_201 (2020年12月)
- 66) Tatsumi, C., Hyodo, F., Taniguchi, T., Shi, W., Koba, K., Fukushima, K., Du, S., Yamanaka, N., Templer, P. and Tateno, R. : Arbuscular mycorrhizal community in roots and nitrogen uptake patterns of understory trees beneath ectomycorrhizal and non-ectomycorrhizal overstory trees. *Frontiers in Plant Science* 11 : 583585 (Jan., 2021)
- 67) Nigusie, Z., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Tsubo, M., Adgo, E., Ayalew, Z. and Abele, S. : The impacts of *Acacia decurrens* plantations on livelihoods in rural Ethiopia. *Land Use Policy* 100 : 104928 (Jan., 2021)
- 68) Mihretie, F., Tsunekawa, A., Bitew, Y., Chakelie, G., Derebe, B., Getahun, W., Beshir, O., Tadesse, Z., Asfaw, M. : Teff [*Eragrostis tef* (Zucc.)] rainfed yield response to planting method, seeding density, and row spacing. *Agronomy Journal* 113(1) : 111-122 (Jan., 2021)

- 69) Mahjoob, M.M.M., Gorafi, Y.S.A., Kamal, N.M., Yamasaki, Y., Matsuoka, Y., Tahir, I.S.A. and Tsujimoto, H. : Genome-wide association study of morpho-physiological traits in *Aegilops tauschii* to broaden wheat genetic diversity. *Plants* 10(2) : 211 doi : 10.3390/plants10020211 (Jan., 2021)
- 70) Konaka, T., Tadano, S., Takahashi, T., Suharsono, S., Mazereku, C., Tsujimoto, H., Masunaga, T., Yamamoto, S. and Akashi, K. : A diverse range of physicochemically-distinct biochars made from a combination of different feedstock tissues and pyrolysis temperatures from a biodiesel plant *Jatropha curcas* : A comparative study. *Industrial Crops and Products* 159 : 113060 doi : 10.1016/j.indcrop.2020.113060 (Jan., 2021)
- 71) Iizumi, T., Ali-Babiker, I.-E.A., Tsubo, M., Tahir, I.S.A., Kurosaki, Y., Kim, W., Gorafi, Y.S.A., Idris, A.A.M. and Tsujimoto, H. : Rising temperatures and increasing demand challenge wheat supply in Sudan. *Nature Food*, 2(1) : 19-27 (Jan., 2021)
- 72) Feng, X., Guo, K., An, P. and Liu, X. : Physiological, morphological and anatomical responses of *Hibiscus moscheutos* to non-uniform salinity stress. *Environmental and Experimental Botany*, 182 : 104301 (Feb., 2021)
- 73) Fujimaki, H. and Abd El Baki, H.M. : Effect of bypass-flow on leaching of salts in a cracking soil in the Nile Delta. *Water*, 13 : 993 (Jan., 2021)
- 74) Bayable, M., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Alemayehu, G., Tsuji, W., Tsubo, M., Adgo, E., Tassew, A., Ishii, T., Asaregew, F. and Masunaga, T. : Yield Potential and Variability of Teff (*Eragrostis tef* (Zucc.) Trotter) Germplasms under Intensive and Conventional Management Conditions. *Agronomy-Basel* 11(2) : 220 (Feb., 2021)
- 75) Elhadi, G.M.I., Kamal, N.M., Gorafi, Y.S.A., Yamasaki, Y., Takata, K., Tahir, I.S.A., Itam, M.O., Tanaka, H. and Tsujimoto, H. : Exploitation of tolerance of wheat kernel weight and shape-related traits from *Aegilops tauschii* under heat and combined heat-drought stresses. *International Journal of Molecular Sciences* 22(4) : 1830 doi : 10.3390/ijms22041830 (Feb., 2021)
- 76) Mukai, S., Billi, P., Haregeweyn, N. and Hordofa, T. : Long-term effectiveness of indigenous and introduced soil and water conservation measures in soil loss and slope gradient reductions in the semi-arid Ethiopian lowlands. *GEODERMA*, 382 (Jan., 2021)
- 77) Mahdavi, S.M., Neyshabouri, M.R. and Fujimaki, H. : On water vapor movement and evaporation in a sandy soil column. *Eurasian Soil Science* 54(2) : 249-256 (Feb., 2021)
- 78) Mamedov, A.I., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Tsubo, M., Fujimaki, H., Kawai, T., Kebede, B., Muluaem, T., Abebe, G., Wubet, A. and Levy, G.J. : Structure stability of cultivated soils from semi-arid region : Comparing the effects of land use and anionic polyacrylamide application. *Sustainability*, 13 : 1407 (Jan., 2021)
- 79) Mamedov, A.I., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Tsubo, M., Fujimaki, H., Kawai, T., Kebede, B., Muluaem, T., Abebe, G., Wubet, A. and Levy, G.J. : Soil Structure Stability under Different Land Uses in Association with Polyacrylamide Effects. *Sustainability* 13(3) : 1407 doi : 10.3390/su13031407 (Feb., 2021)
- 80) Mamedov, A.I., Fujimaki, H., Tsunekawa, A., Tsubo, M. and Levy, G.J. : Structure stability of acidic Luvisols : Effects of tillage type and exogenous additives. *Soil & Tillage Research* 206 : 104832 (Feb., 2021)
- 81) Liu, J., Kimura, R., Miyawaki, M. and Kinugasa, T. : Effects of plants with different shapes and coverage on the blown-sand flux and roughness length examined by wind tunnel experiments. *Catena* 197 : 104976 (Feb., 2021)
- 82) Otie, V., Udoi., Shao, Y., Itam, M.O., Okamoto, H., An, P. and Eneji, E.A. : Salinity effects on morpho-physiological and yield traits of soybean (*Glycine Max L.*) as mediated by foliar spray with brassinolide. *Plants-Basel* 10(3) : 541 (Mar., 2021)
- 83) Kebede, B\*, Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Adgo, E., Ebabu, K., Meshesha, D.T., Tsubo, M., Masunaga, T. and Fenta, A.A. : Determining C- and P-factors of RUSLE for different land uses and management practices across agro-ecologies : case studies from the Upper Blue Nile basin, Ethiopia. *Physical Geography* 42(2) : 160-182 (Mar., 2021)
- 84) Ismayilov, A.I., Mamedov, A.I\*, Fujimaki, H., Tsunekawa, A. and Levy, G.J. : Soil salinity type effects on the relationship between the electrical conductivity and salt content for 1 : 5 soil-to-water extract. *Sustainability* 13(6) : 3395 doi : 10.3390/su13063395 (Mar., 2021)

- 85) Yibeltal, M., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Adgo, E., Meshesha, D.T., Masunaga, T., Tsubo, M., Billi, P., Ebabu, K., Berihun, M.L. : Effect of subsurface water level on gully headcut retreat in tropical highlands of Ethiopia. *Earth Surface Processes and Landforms* 46(6) 1209-1222 (Mar., 2021)
- 86) Tanaka, H., Gorafi, Y. S. A., Fujita, M., Sasaki, H., Tahir, I. S. A. and Tsujimoto, H. : Expression of seed storage proteins responsible for maintaining kernel traits and wheat flour quality in common wheat under heat stress conditions. *Breeding Science* 71(2) : 184-192 doi : 10.1270/jsbbs.20080 (Mar., 2021)
- 87) Saito, H., Kuroda, S., Iwasaki, T., Sala, J. and Fujimaki, H. : Estimating infiltration front depth using time-lapse multioffset gathers obtained from ground-penetrating-radar antenna array. *Geophysics*, 86(5) : 1-37 (Mar., 2021)
- 88) Mdlambuzi, T., Tsubo, M. and Muchaonyerwa, P. : Short-term effects of selected organic fertilizer sources on carbon dioxide fluxes and soil quality. *Journal of Environmental Quality* 50(2) : 312-323 (Mar., 2021)
- 89) 猪迫耕二・犬持智・齊藤忠臣・竹下尚志 : 表層吸引溶脱法による地表面からの塩分の除去. *応用水文*, 33 : 41-50 (2021年3月)
- 90) 齊藤忠臣・河合隆行・西本貴之・猪迫耕二・安田裕・塩崎一郎 : 地中レーダーを用いた鳥取砂丘の地下水分布の解明. *応用水文*, 33 : 51-60 (2021年3月)

## その他

- 1) 西田真弓・石神暁郎・緒方英彦 : 寒冷地の開水路における表面保護工法適用に際する一提案. *農業農村工学会誌*, 88 : 479-482 (2020年6月)
- 2) 石井孝佳, 長岐清孝, 菊池真司 : 細胞遺伝学の新潮流—より速く, より広く, より細かく, そして創出へ : 古くて新しいゲノムの見える化技術. *化学と生物*, 58 (11) : 606-613 (2020年11月)
- 3) Tsujimoto, H. : Greetings from the new Editor-in-Chief of *Breeding Science*. *Breeding Science* 70(5) : 515 doi : 10.1270/jsbbs.70.515 (Dec., 2020)
- 4) Cruse, R., Calzolari, C., Anjos, L., Haregeweyn, N., Lefevre, C. (Eds.). 2020. Soil erosion assessment, tools and data : creation, consolidation, and harmonization- A special issue from the Global Symposium on Soil Erosion 2019 (Rome, FAO HQ). *International Soil and Water Conservation Research* 8(4) : 333-452 (Dec., 2020)

## 【島根大学】

### 論文

- 1) Mekuriaw, S., Tsunekawa, A., Ichinohe, T., Tegegne, F., Haregeweyn, N., Kobayashi, N., Tassew, A., Mekuriaw, Y., Walie, M., Tsubo, M. and Okuro, T. : Mitigating the anti-nutritional effect of polyphenols on *in vitro* digestibility and fermentation characteristics of browse species in north western Ethiopia. *Tropical Animal Health and Production* 52(3) : 1287-1298 (May, 2020)
- 2) Mekuriaw, S., Tsunekawa, A., Ichinohe, T., Tegegne, F., Haregeweyn, N., Kobayashi, N., Tassew, A., Mekuriaw, Y., Walie, M., Tsubo, M., Okuro, T., Meshesha, D. T., Meseret, M., Sam, L. and Fievez, V. : Effect of feeding improved grass hays and *Eragrostis tef* straw silage on milk yield, nitrogen utilization, and methane emission of lactating Fogera dairy cows in Ethiopia. *Animals* 10(6) : 1021 (Jun., 2020)
- 3) Ebabu, K., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Adgo, E., Meshesha, D.T., Aklog, D., Masunaga, T., Tsubo, M., Sultan, D., Fenta, A.A. and Yibeltal, M. : Exploring the variability of soil properties as influenced by land use and management practices : A case study in the Upper Blue Nile basin, Ethiopia. *Soil and Tillage Research* 200 : 104614 (Jun., 2020)
- 4) Abebe, G., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Taniguchi, T., Wondie, M., Adgo, E., Masunaga, T., Tsubo, M., Ebabu, K., Mamedov, A. and Meshesha, D.T. : Effect of Soil Microbiome from Church Forest in the Northwest Ethiopian Highlands on the Growth of *Olea europaea* and *Albizia gummifera* Seedlings under Glasshouse Conditions. *Sustainability* 12(12) : 4976 doi : 10.3390/su12124976 (Jun., 2020)
- 5) Basalirwa, D., Sudo, S., Wacal, C., Namirembe, C., Sasagawa, D., Yamamoto, S., Masunaga, T. and Nishihara, E. : Effect of activated carbon on greenhouse gas emissions, seed yield, soil chemical properties and isoflavone

- content of soybean genotypes with varying nodulation capacities under sandy soil conditions. *Rhizosphere* 14 : 100202, DOI : <https://doi.org/10.1016/j.rhisph.2020.100202> (Jun., 2020)
- 6) Bayable, M., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Ishii, T., Alemayehu, G., Tsubo, M., Adgo, E., Tassew, A., Tsuji, W., Asaregew, F. and Masunaga, T. : Biomechanical Properties and Agro-Morphological Traits for Improved Lodging Resistance in Ethiopian Teff (*Eragrostis tef* (Zucc.) Trotter) Accessions. *Agronomy Basel* 10(7) : 1012 (Jul., 2020)
  - 7) Du, W., Hou, F., Tsunekawa, A., Kobayashi, N., Peng, F. and Ichinohe, T. : Substitution of leguminous forage for oat hay improves nitrogen utilization efficiency of crossbred Simmental calves. *Journal of Animal Physiology and Animal Nutrition* 104(4) : 998-1009 (Jul., 2020)
  - 8) Kobayashi, N., Hou, F., Tsunekawa, A., Chen, X., Yan, T. and Ichinohe, T. : Effects of feeding level of alfalfa hay on nitrogen utilization for 1-kg daily gain of crossbred Simmental male calves. *Grassland Science* 66(4) 271-276 DOI : 10.1111/grs.12273 (Oct., 2020)
  - 9) 許坤・一戸俊義 : 舎飼いサフォーク系雑種成めん羊の粗飼料多給下におけるエネルギー代謝率の評価. *日本緬羊研究会誌*, 57 : 10-16 (2020年11月)
  - 10) Malik, D., Aflizar, Afner, O.N.G, Fukuda, A. and Masunaga, T. : Socio economical evaluation of *Uncaria gambir* cultivation systems in West Sumatra, Indonesia. *Tropics* 29(3) : 77-87 (Dec., 2020)
  - 11) Bayable, M., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Alemayehu, G., Tsuji, W., Tsubo, M., Adgo, E., Tassew, A., Ishii, T., Asaregew, F. and Masunaga, T. : Yield Potential and Variability of Teff (*Eragrostis tef* (Zucc.)Trotter) Germplasms under Intensive and Conventional Management Conditions. *Agronomy-Basel* 11(2) : 220 (Feb., 2021)
  - 12) Yibeltal, M., Tsunekawa, T., Haregeweyn, N., Adgo, E., Meshesha, D.T., Masunaga, T., Tsubo, M., Billi, P., Ebabu, K. and Berihun, M.L. : Effect of subsurface water level on gully headcut retreat in tropical highlands of Ethiopia. *Earth Surface Processes and Landforms* 46(6) 1209-1222 (Mar., 2021)
  - 13) Mihretie, F.A., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Adgo, E., Tsubo, M., Masunaga, T., Meshesha, D.T., Tsuji, W., Ebabu, K. and Tassew, A. : Tillage and sowing options for enhancing productivity and profitability of teff in a sub-tropical highland environment. *Field Crop Research* 263 : 108050 (Mar., 2021)
  - 14) Mihretie, F.A., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Adgo, E., Tsubo, M., Masunaga, T., Meshesha, D.T., Ebabu, K. and Bayable, M. : Agro-Economic Evaluation of Alternative Crop Management Options for Teff Production in Midland Agro-Ecology, Ethiopia. *Agriculture* 11(4) : 298 (Mar., 2021)

## 【山口大学】

### 論文

- 1) Kamamoto, R., Suzuki, K., Kawano, T., Hanado, H., Nakagawa, K., and Kaneko, Y. : Ground validation of GPM DPR algorithms by hydrometeor measurements and polarimetric radar observations of winter snow clouds : A case study on 4 February 2018. *SOLA* 16 : 115-119 (Jul., 2020)
- 2) 高見和哉・鈴木賢士・山口弘誠・中北英一 : 冬期の降水形態の判別を目的とした偏波レーダーを用いた0°C高度推定手法. *水工学論文集B1 (水工学)*, 76 : I\_205-I\_210 (2020年8月)
- 3) 大石哲・南郷脩介・梶川義幸・山浦剛・鈴木賢士・山口弘誠・中北英一 : ビデオゾンデと数値シミュレーションによる雲内の雨滴粒径分布計測手法に関する研究. *水工学論文集B1 (水工学)*, 76 : I\_199-I\_204 (2020年8月)

## 第2章 招待講演

### 1 生産環境科学専攻

#### 1) 農業生産学連合講座

##### 【鳥取大学】

###### 国際学会等

- 1) Morimoto, E.\* : Autonomous Machinery for Rice Crop Production. Expert lecture on Automation and Robotics in Agriculture. New Delhi, India, (Jul., 2020)
- 2) Morimoto, E.\* : Digitization for Agriculture "Now and Future". Leading Higher Education Agriculture Engineering Study Program. Jember, Indonesia, (Oct., 2020)

##### 【島根大学】

###### 国際学会等

- 1) Nobuo Kobayashi. : Japanese azalea germplasm; the living horticulture properties. III International Symposium on Germplasm of Ornamentals. Incheon, Korea (Online Hybrid) (Oct. 2020)

#### 2) 経済・経営学連合講座

##### 【島根大学】

###### 国内学会等

- 1) 井上憲一：肉用牛経営における生産面の課題と対応—繁殖部門を中心として—。第14回食農資源経済学会大会（オンライン）（2020年10月）
- 2) 井上憲一：集落営農法人における組織文化と経営戦略。2020年度日本農業経営学会研究大会（オンライン）（2021年3月）

##### 【山口大学】

###### 国内学会等

- 1) 種市豊：物流危機と農産物・食品流通の転換：第三報告 過疎地・農山村における農産物・食品の配送対応の現状。日本農業市場学会シンポジウム（北海道大学：リモート参加）
- 2) 種市豊：高速道路を活用した過疎地・農山村における農産物の輸送の課題。地域経済活性化と高速道路整備（結び）—少子高齢化社会、グローバル社会、持続可能な開発目標（SDGs）への対応と将来展望—。日本企業経営学会 第61回研究大会統一テーマ（静岡県浜松市：リモート参加）

#### 3) 森林・流域環境科学連合講座

##### 【鳥取大学】

###### 国内学会等

- 1) 日置佳之：庭園のいろいろと自然風庭園づくりのコツ，明治学院大学オンライン講演会，2020.11.28

#### 4) 環境生物学連合講座

##### 【山口大学】

###### 国内学会等

- 1) 伊藤真一：水田転換畑で発生するアブラナ科野菜根こぶ病の原因菌と宿主との相互作用。第9回根こぶ病研究会。広島県福山市（2021年3月）、オンライン開催

#### 2 生命資源科学専攻

##### 2) 生物機能科学連合講座

##### 【島根大学】

###### 国際学会等

- 1) Ishikawa, T. : Protein phosphorylation plays an important role in regulation of hypoxic wax ester production in *Euglena gracilis*. Euglena International Network (EIN) Inaugural Meeting 2020, on line (Nov., 2020)

###### 国内学会等

- 1) 丸田隆典：アスコルビン酸のレドックスサイクルと植物の光環境順応：ようやく見えてきた酸化ストレス防御機構の頑健性とその分子基盤。日本ビタミン学会第72回大会シンポジウム（愛知県名古屋市/オンライン）（2020年6月）
- 2) 丸田隆典：なぜ、そしてどのように植物はアスコルビン酸を高蓄積するのか？第62回日本植物生理学会年会シンポジウム（島根県松江市/オンライン）（2021年3月）

#### 3) 資源利用化学連合講座

##### 【鳥取大学】

###### 国内学会等

- 1) 美藤友博：線虫をモデル生物として用いたビタミン B<sub>12</sub> 欠乏症発症メカニズムの解明。日本ビタミン学会若手シンポジウム（愛知県名古屋市）（2020年6月）
- 2) 石原亨：イネ科植物における二次代謝が関与した防御機構の解明，日本農薬学会賞業績賞（研究）受賞講演，日本農薬学会第46回大会（東京，オンライン）（2021年3月）
- 3) 上野琴巳・滝川浩郷・杉本幸裕：ストリゴラクトンの立体と構造の多様性。日本農薬学会第46回大会シンポジウム（東京都府中市・オンライン開催）（2021年3月）

##### 【島根大学】

###### 国際学会等

- 1) Ishigaki, M. : Assessment of Oocyte Quality and its Maturation using Raman Spectroscopy. Scix 2020, U.S.A. (Online) (Oct., 2020)
- 2) Mitsutsuka, H., Yamamoto, T., Ishigaki, M., Yoshikiyo, K., Iwasaki, K., Noothalapati, H. and Ueno, M. : A microscope Raman spectroscopic study on the living cells of Blast disease, 18th Annual meeting of The Japan Association of Medical Spectroscopy(Online), Matsue, Japan (Nov., 2020)

- 3) Ishigaki, M. : Water analysis using Near-infrared spectroscopy, Basic research and applications to biology. Pittcon 2021, U.S.A. (On line) (Mar. 2021)

#### 国内学会等

- 1) 室田佳恵子：食事性リン脂質由来消化産物の分子種と吸収動態．日本脂質栄養学会第 29 回大会シンポジウム（オンライン開催）（2020 年 9 月）
- 2) 石垣美歌：近赤外分光法による水分析で生体機能や代謝活性を視る—胚発生が水構造に与える影響評価—．日本分析化学会 第 69 回年会，（名古屋工業大学）（オンライン）（2020 年 9 月）
- 3) 石垣美歌：近赤外分光法，イメージングを用いた水分析—胚発生に伴う水構造の変化—．日本分光学会 年次講演会，（東京理科大学）（オンライン）（2020 年 10 月）

### 3 国際乾燥地科学専攻

#### 国際乾燥地科学連合講座

##### 【鳥取大学】

#### 国内学会等

- 1) 石井孝佳：RNA-guided endonuclease in situ labelling (REGN-ISL)法：CRISPR/Cas9 による新規細胞遺伝学技術の開発．第 92 回日本遺伝学会（熊本）（2020 年 9 月）
- 2) 辻本壽：野生種遺伝資源を利用した高温・乾燥耐性コムギ育種．山口大学生物資源環境科学セミナー（2020 年 9 月）
- 3) 木村玲二：乾燥地の土地劣化の現状と監視．日本沙漠学会 2020 年度秋季シンポジウム（東京都北区王子）（2020 年 11 月）

##### 【島根大学】

#### 国際学会等

- 1) Masunaga T. : Role of Si for Stabilization and Extension of Rice Cultivation in Tropical Asia and Africa -Current Situation and Possible Measure for better Si Management. 1st International Conference on Sustainable Tropical Land Management (ICSTLM) 2020, Jakarta, Indonesia (Online) (Sep., 2020)

## 第3章 学術賞等の受賞

### 1 生産環境科学専攻

#### 1) 農業生産学連合講座

##### 【鳥取大学】

田中 裕之：令和2年度鳥取大学科学研究業績表彰（2021年3月2日）

##### 【島根大学】

松本 敏一：令和2年度園芸学会年間優秀論文賞（2021年3月27日）

##### 【山口大学】

山本 晴彦：文部科学省 文部科学大臣表彰（科学技術賞）（2020年4月7日）

山本 晴彦：防災功労者 内閣総理大臣表彰（2020年9月4日）

#### 2) 経済・経営学連合講座

##### 【鳥取大学】

安延 久美：日本国際地域開発学会「若手優秀論文賞」（共著者）（2020年11月14日）

#### 3) 森林・流域環境科学連合講座

##### 【島根大学】

石井 将幸：第4回インフラメンテナンス大賞 優秀賞 技術開発部門 農業農村（2020年11月）

上野 和広：第4回インフラメンテナンス大賞 優秀賞 技術開発部門 農業農村（2020年11月）

### 2 生命資源科学専攻

#### 1) 菌類・きのこ科学連合講座

##### 【鳥取大学】

遠藤 直樹・中桐 昭：日本菌学会会報論文賞（2020年6月）

#### 2) 生物機能科学連合講座

##### 【島根大学】

丸田 隆典：日本農芸化学会・農芸化学奨励賞（2021年3月18日）

### 3) 資源利用化学連合講座

#### 【鳥取大学】

石原 亨：日本農薬学会業績賞（2021年3月8日）

### 3 国際乾燥地科学専攻

#### 国際乾燥地科学講座

#### 【鳥取大学】

遠藤 常嘉：鳥取大学学長表彰（2021年1月4日）

恒川 篤史：鳥取大学学長表彰（2021年1月4日）

恒川 篤史：Top-ten Excellent Articles Award（2021年1月21日）

石井 孝佳：鳥取大学科学研究業績表彰（2021年3月2日）

辻本 壽：日本育種学会功労賞（2021年3月20日）

## 第4章 研究助成

### 1 生産環境科学専攻

#### 1) 農業生産学連合講座

##### 【鳥取大学】

###### 科学研究費

- 田中 裕之 基盤研究 (C) : 高温ストレス下でも小麦粉品質低下を起こさない異種遺伝子を導入したコムギの開発
- 竹村 圭弘 若手研究 : 種子休眠との関連性から紐解く, ナシの芽の自発休眠機構の解明

###### その他

- 近藤 謙介 奨学金寄付 : 1 件
- 森本 英嗣 奨学金寄付 : 2 件, 共同研究 : 3 件
- 田中 裕之 共同研究 : 4 件
- 竹村 圭弘 奨学寄付金 : 1 件, 受託研究 : 2 件
- 田村 文男 奨学寄附金 : 2 件, 受託研究 : 1 件

##### 【島根大学】

###### 科学研究費

- 松本 真悟 基盤研究 (B) : イネのヒ素吸収・移行モデル構築による高温下での子実ヒ素濃度上昇機構解明と低減戦略
- 小林 伸雄 基盤研究 (C) : 伝統園芸植物ツツジの本来の品種名を取り戻せ—遺伝資源流出と品種改良史の探求
- 谷野 章 基盤研究 (C) : 多日照地域の温室の省エネルギー化と作物生育の向上に資する太陽電池ブラインドの開発

###### その他

- 小林 伸雄 奨学寄付金 : 2 件, 共同研究 : 2 件
- 太田 勝巳 奨学寄付金 : 1 件, 受託研究 : 1 件, 共同研究 : 1 件
- 氏家 和広 共同研究 : 1 件
- 浅尾 俊樹 共同研究 : 3 件
- 池浦 博美 受託研究 : 1 件, 共同研究 : 3 件
- 中務 明 奨学寄付金 : 2 件
- 松本 敏一 受託研究 : 3 件, 共同研究 : 4 件
- 松本 真悟 奨学寄付金 : 2 件, 受託研究 : 3 件, 共同研究 : 2 件

##### 【山口大学】

###### 科学研究費

- 山本 晴彦 基盤研究 (B) : 120 年雨量データベース構築と地理空間情報の統合化による水害常襲地のリスク評価

高橋 肇 基盤研究 (C) : もち麦の後期重点型施肥による遅れ穂発生のおくみと多収・高 $\beta$ -グルカン化栽培技術

#### その他

山本 晴彦 受託研究 : 1 件, 共同研究 : 2 件

執行 正義 受託研究 : 2 件, 共同研究 : 1 件

荒木 英樹 奨学寄付金 : 1 件

## 2) 経済・経営学連合講座

### 【鳥取大学】

#### 科学研究費

松田 敏信 基盤研究 (C) : 自然災害が消費者の食料需要に与える影響 : ビッグデータと自然実験に基づく因果推論

### 【島根大学】

#### 科学研究費

森 佳子 基盤研究 (C) : 農業経営の財務構造と統治のダイナミズムー民間信用調査を活用してー

井上 憲一 基盤研究 (C) : 集落営農広域連携組織における資源循環型農業と地域貢献活動の持続性ー中山間地域を中心としてー

#### その他

伊藤 康宏 受託研究 : 1 件

井上 憲一 共同研究 : 1 件

### 【山口大学】

#### 科学研究費

種市 豊 基盤研究 (C) : 異業種共配による小ロット末梢流通体系の成立要件の解明

#### その他

種市 豊 受託研究 : 2 件, 共同研究 : 1 件

## 3) 森林・流域環境科学連合講座

### 【鳥取大学】

#### 科学研究費

岩永 史子 基盤研究 (C) : 冬季カエデ属樹種の糖利用特性と樹液流出特性の解明

永松 大 基盤研究 (C) : 海浜植物群落の安定性と Eco-DRR 機能検証

## その他

岩永 史子 共同研究：2件  
永松 大 受託研究：1件，共同研究：1件  
日置 佳之 共同研究：1件，奨学寄附金：4件

## 【島根大学】

### 科学研究費

矢島 啓 基盤研究 (B)：雨水貯留ポテンシャルを考慮した中小都市の内水氾濫に関する気候変動適応策  
桑原 智之 基盤研究 (C)：三元素系複合含水酸化物による自然由来有害陰イオンの選択的吸着除去と資源回収  
上野 和広 基盤研究 (C)：地震と豪雨の複合作用に対するため池堤体の安全性評価手法の開発  
石井 将幸 基盤研究 (C)：たわんだ管に作用する内水圧の真円復元効果に関する研究  
久保満佐子 基盤研究 (C)：隠岐諸島に生育する氷河期遺存樹種の更新戦略と遺伝的多様性  
川口 英之 基盤研究 (C)：分布拡大している先駆樹種アオモジの拡大過程と在来種の更新への影響  
矢島 啓 特別研究員奨励費：水質管理のための生態系モデルと機械学習モデルのハイブリッドモデルの改良

## その他

桑原 智之 受託研究：2件，共同研究：1件  
高橋絵里奈 共同研究：2件  
上野 和広 奨学寄付金：3件，受託研究：2件，共同研究：1件  
石井 将幸 奨学寄付金：1件，共同研究：1件  
矢島 啓 奨学寄付金：1件，受託研究：3件，共同研究：1件  
久保満佐子 受託研究：1件

## 4) 環境生物学連合講座

## 【鳥取大学】

### 科学研究費

大崎久美子 若手研究 (B)：タバコ病害抵抗性誘導機構を活性化するきのこ揮発性物質の探索とその作用機構  
上中 弘典 基盤研究 (B)：有機農業で生産性向上可能なナノファイバー化技術を用いた廃カニ殻の有効利用技術開発  
児玉基一郎 基盤研究 (C)：植物病原菌の二次代謝産物生合成に依存した寄生・共生および腐生戦略の解明

## その他

児玉基一郎 共同研究：4件  
大崎久美子 受託研究：1件，共同研究：4件  
唐澤 重考 奨学寄付金：1件  
上中 弘典 奨学寄付金：1件，受託研究：1件，共同研究：2件

## 【島根大学】

### 科学研究費

- 堀之内正博 基盤研究 (B) ジュゴン沿岸浅海域の生物多様性や小型動物の生残にどのように寄与するか？  
宮永 龍一 基盤研究 (B)：熱帯アジアにおける送粉者多様性の評価とモニタリング  
木原 淳一 基盤研究 (C)：サカキ輪紋葉枯病菌の分類学的な検討と病理学的特性の解明  
清水 加耶 若手研究：オバギ属アリ植物を寄主利用するトビバナフシのアリ防衛打破戦略の解明  
高原 輝彦 挑戦的研究 (萌芽)：魚類の成長ステージを把握する環境 RNA 手法の開発：ニホンウナギをモデルとして  
山口 啓子 基盤研究 (C)：汽水域における二枚貝の環境耐性と殻体を利用した環境ストレス履歴の解読  
上野 誠 基盤研究 (C)：植物病原菌の生体制御破壊型非殺菌性農薬の開発に向けた物質の同定及び作用機構解明

### その他

- 清水 加耶 受託研究：1 件  
高原 輝彦 奨学寄付金：3 件，共同研究：2 件  
泉 洋平 奨学寄付金：3 件，受託研究：1 件，共同研究：1 件  
山口 啓子 奨学寄付金：1 件，受託研究：2 件  
上野 誠 奨学寄付金：1 件，共同研究：3 件

## 【山口大学】

### 科学研究費

- 柳 由貴子 基盤研究 (C)：腐植—アルミニウム複合体の安定性はどこからくるのか？  
伊藤 真一 基盤研究 (C)：MgO によって萎ちょう病感受性トマトに誘導される萎ちょう病抵抗性

### その他

- 細井 栄嗣 共同研究：1 件  
横山 和平 奨学寄付金：1 件  
伊藤 真一 奨学寄付金：1 件，共同研究：2 件  
竹松 葉子 共同研究：1 件

## 2 生命資源科学専攻

### 1) 菌類・きのこ科学連合講座

## 【鳥取大学】

### 科学研究費

- 會見 忠則 基盤研究 (C)：異種きのこ間のコミュニケーション機構の解明と人工栽培技術への応用  
中桐 昭 基盤研究 (C)：凍結保存が困難な菌根性担子菌培養株の長期保存法の開発  
霜村 典宏 基盤研究 (C)：菌根性きのこの高度利用を目指した子実体内ヘルパー細菌の役割解明

## その他

會見 忠則 共同研究：1 件  
中桐 昭 共同研究：1 件

## 2) 生物機能科学連合講座

### 【鳥取大学】

#### 科学研究費

有馬 二郎 基盤研究 (C)：シリカ粒子形成促進タンパク質の機能を利用した酵素機能呈示シリコン素材の創出  
岩崎 崇 基盤研究 (C)：ヒスチジン立体配置に基づいた細胞膜透過性タンパク質ファミリーの探索と機能解析  
岡 真理子 基盤研究 (C)：塩生植物アッケシソウのバイオ燃料生産能の向上と塩類土壌修復能の評価

## その他

東 政明 共同研究：1 件  
有馬 二郎 受託研究：1 件，共同研究：1 件  
岩崎 崇 奨学寄付金：5 件

### 【島根大学】

#### 科学研究費

石川 孝博 基盤研究 (B)：光による植物アスコルビン酸生合成調節の分子メカニズム解明  
川向 誠 基盤研究 (B)：コエンザイム Q の新規生合成経路の解明  
小川 貴央 基盤研究 (C)：植物細胞内におけるビタミン B2 の代謝調節機構の包括的解明  
戒能 智宏 基盤研究 (C)：極微量しかコエンザイム Q をもたない分裂酵母が示す表現型と CoQ の存在意義  
児玉 有紀 基盤研究 (C)：ミトリゾウムシと共生クロレラを用いた細胞内共生の成立機構と維持機構の解明  
蜂谷 卓士 基盤研究 (C)：地上部の窒素栄養状態を根に伝達する長距離シグナルの解明  
松尾 安浩 基盤研究 (C)：塩ストレス応答における細胞増殖メカニズムの解明  
丸田 隆典 挑戦的研究 (萌芽)：独自の順遺伝学アプローチによる植物の活性酸素誘導性プログラム細胞死の分子機構解明  
舞木 昭彦 基盤研究 (C)：生物リズムの多様性と生物多様性をつなぐ新群集理論  
吉田 真明 基盤研究 (C)：タコブネの殻にみる進化的形質の喪失と再獲得の遺伝的基盤  
石川 孝博 挑戦的研究 (萌芽)：果実におけるアスコルビン酸高蓄積の分子機構に迫る  
川向 誠 挑戦的研究 (萌芽)：生存戦略としての単細胞生物の細胞死のメカニズム

## その他

石川 孝博 共同研究：4 件  
小川 貴央 共同研究：1 件  
戒能 智宏 奨学寄付金：1 件

川向 誠 奨学寄附金：2件  
児玉 有紀 共同研究：1件  
塩月 孝博 奨学寄附金：1件，共同研究：2件  
丸田 隆典 奨学寄附金：2件  
吉田 真明 受託研究：1件

## 【山口大学】

### 科学研究費

小林 淳 基盤研究 (B)：昆虫中腸幹細胞培養分化系を基盤とした生理学および病理学的実験プラットフォームの構築  
薬師 寿治 基盤研究 (B)：酢酸菌のペリプラズミック代謝工学  
真野 純一 基盤研究 (B)：酸化シグナルを運ぶ活性カルボニル種が植物細胞に特異的応答を引き起こすメカニズム  
内海 俊彦 基盤研究 (C)：N-ミリスチル化された膜タンパク質の発見とその機能発現機構の解明

### その他

小林 淳 共同研究：1件  
真野 純一 受託研究：1件  
薬師 寿治 共同研究：2件

## 3) 資源利用化学連合講座

## 【鳥取大学】

### 科学研究費

石原 亨 基盤研究 (B)：生物ストレス耐性の向上を目指したイネのケモダイバーシティの解明と利用  
石原 亨 基盤研究 (C)：特設分野研究 きのこ廃菌床の有効利用を志向した抵抗性誘導物質の発見  
一柳 剛 基盤研究 (C)：LPS 内部コア糖鎖の収斂合成法の開発および殺菌性ヒト抗体の認識部位の解明  
上野 琴巳 基盤研究 (C)：植物および担子菌類由来の寄生成立攪乱物質による根寄生雑草撲滅法の開発  
河野 強 基盤研究 (C)：モデル生物・線虫 *C. elegans* を用いた腸ペプチドの分泌制御機構の解明  
藪田 行哲 基盤研究 (C)：ビタミン B12 欠乏が引き起こすレドックス制御破綻の分子メカニズムの解明  
美藤 友博 若手研究：高齢者で多発するビタミン B12 欠乏性運動機能障害の発症機構の解明

### その他

石原 亨 受託研究：3件，共同研究：5件  
一柳 剛 共同研究：4件  
田村 純一 奨学寄附金：1件，受託研究：1件，共同研究：3件  
河野 強 共同研究：1件  
渡邊 文雄 奨学寄附金：1件，受託研究：1件，共同研究：1件

## 【島根大学】

### 科学研究費

- 清水 英寿 基盤研究 (B) : スカトールを介した高動物性タンパク質摂取による消化管恒常性の破綻・回復機構の解析
- 清水 英寿 挑戦的研究 (萌芽) : 腸内環境も勘案したミクロシスチン低濃度曝露による慢性中毒発症機構と緩和法の検証
- 室田佳恵子 基盤研究 (B) : 食事性フラボノイドのリンパ輸送 : 輸送経路の選択因子と生理的役割の解明
- 山本 達之 基盤研究 (B) : ラマン分光法を用いた, 好酸球性食道炎等の低侵襲な非生検診断法の開発
- 石垣 美歌 基盤研究 (C) : ラマン分光法を用いた iPS 細胞及び分化誘導細胞の非破壊, 非侵襲評価法の確立
- 石垣 美歌 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (牽引型) : ラマン分光法を用いた有機溶媒中アミノ酸濃度の定量分析手法の開発
- 石垣 美歌 学術振興会卓越研究員事業 : 分子分光光学分析を用いた生体活性の非破壊評価

### その他

- 石垣 美歌 奨学寄付金 : 1 件, 受託研究 : 3 件, 共同研究 : 1 件
- 清水 英寿 共同研究 : 1 件
- 地阪 光生 共同研究 : 1 件
- 西村 浩二 共同研究 : 1 件
- 室田佳恵子 受託研究 : 1 件, 共同研究 : 3 件
- 山本 達之 共同研究 : 1 件

## 【山口大学】

### 科学研究費

- 小崎 紳一 基盤研究 (C) : 病原性細菌が嫌氣的にヘムを開環分解して生存に必須の鉄を取り出す機構の解明
- 木股 洋子 基盤研究 (C) : マラリア原虫のアルテミシニン耐性においてフェレドキシンの変異が果たす役割の解明
- 肥塚 崇男 基盤研究 (C) : ナス科植物における花香の生成放散機構の解明

### その他

- 赤壁 善彦 奨学寄付金 : 1 件, 共同研究 : 2 件
- 木股 洋子 共同研究 : 2 件

### 3 国際乾燥地科学専攻

#### 国際乾燥地科学連合講座

##### 【鳥取大学】

##### 科学研究費

- 緒方 英彦 基盤研究 (B) : 積雪寒冷地における農業水利施設の新たな凍害検診技術と余寿命評価手法の開発
- 木村 玲二 基盤研究 (B) : 乾燥地における土地劣化計測システムとモニタリング手法の開発
- 辻本 壽 基盤研究 (B) : 高温耐性コムギ系統の QTL 解析と選抜マーカーの開発
- 猪迫 耕二 基盤研究 (C) : 表層吸引溶脱法の拡張による節水型除塩技術の確立
- 齊藤 忠臣 基盤研究 (C) : 物理センサ群を用いた土壌・樹木・大気連続系における物質移動・貯留特性の解明
- 谷口 武士 基盤研究 (C) : 根部内生微生物群集の形成プロセスを介した乾燥地植物の適応度向上に関する研究
- 山本 定博 基盤研究 (C) : 乾燥地における低温時期の冷水灌漑による土壌劣化 : 土壌塩類化とリン溶脱の観点から
- 石井 孝佳 若手研究 : イネ科亜科間交雑での染色体脱落 : 染色体脱落を制御している雄側因子の特定
- 藤巻 晴行 国際共同研究強化 (B) : 土壌塩分輸送シミュレーションモデルを用いた除塩用水量の最適化
- 辻本 壽 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS) : スーダンおよびサブサハラアフリカの乾燥・高温農業生態系において持続的にコムギを生産するための革新的な気候変動耐性技術の開発
- 恒川 篤史 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS) : 砂漠化対処に向けた次世代型「持続可能な土地管理 (SLM)」フレームワークの開発 (研究代表者)

##### その他

- 安 萍 共同研究 : 8 件
- 石井 孝佳 受託研究 : 1 件, 共同研究 : 2 件
- 遠藤 常嘉 奨学寄付金 : 1 件
- 緒方 英彦 奨学寄付金 : 2 件, 受託研究 : 3 件, 共同研究 : 2 件
- 衣笠 利彦 共同研究 : 1 件
- 齊藤 忠臣 共同研究 : 2 件
- 谷口 武士 共同研究 : 3 件
- 辻本 壽 奨学寄付金 : 1 件, 共同研究 : 3 件
- 兵頭 正浩 奨学寄付金 : 3 件, 共同研究 : 1 件
- 藤巻 晴行 共同研究 : 1 件
- 山本 定博 共同研究 : 2 件

##### 【島根大学】

##### 科学研究費

- 佐藤 邦明 基盤研究 (C) : 土壌の窒素浄化機能を極限にまで高める水質浄化用高機能土壌団粒の創製

## その他

一戸 俊義 奨学寄付金：1件，共同研究：1件

佐藤 邦明 受託研究：1件

増永 二之 共同研究：3件

## 【山口大学】

### 科学研究費

鈴木 賢士 基盤研究（B）：降水雲内の帯電電荷を測定する 400MHz 帯ラジオゾンデ搭載用の新型センサーの開発

## その他

鈴木 賢士 受託研究：1件，共同研究：2件

## 第5章 その他の教育研究活動

### 1 生産環境科学専攻

#### 1) 農業生産学連合講座

##### 【島根大学】

- 小林 伸雄
- ・ 花と緑の教室 特別講義「在来作物の美味しさと面白さ」講師。「在来の植物資源を活用した新品種育成と地域活性化」新潟県立植物園（新潟県新潟市）（2020年9月27日）
  - ・ のとキリシマツツジ育成講習会講師。石川県立能登産業技術専門校（石川県能登町）（2020年10月）
- 浅尾 俊樹
- ・ 特願 2020-089476 「電気分解装置及びそれを用いた植物工場」、発明者：浅尾俊樹・上野 誠・松下幸之助、出願者：島根大学（2020年5月）
  - ・ 特願 2021-033216 「サツマイモの養液栽培方法」、発明者：浅尾俊樹・上野 誠、出願者：島根大学（2021年3月）
  - ・ 特願 2021-033217 「サツマイモの連続栽培方法」、発明者：浅尾俊樹・上野 誠、出願者：島根大学（2021年3月）
- 松本 真悟
- ・ 日本土壌肥料学会 第6部門次長
  - ・ 農業生産技術管理学会 評議員
  - ・ 農林水産技術会議農業分科会，委員
  - ・ 斐伊川水系生態系ネットワーク協議会，委員
  - ・ 美味しまね審査委員会，委員長
  - ・ 奥出雲町農業遺産推進協議会，委員

##### 【山口大学】

- 荒木 英樹
- ・ 学術指導：衛生データと地上部発育モデルの組み合わせによる高効率かつ高精度な小麦生育総合管理システム。アグリライト研究所

#### 2) 経済・経営学連合講座

##### 【鳥取大学】

- 安延 久美
- ・ 放送大学講師（2020年10月24-25日）

##### 【山口大学】

- 種市 豊
- ・ SDGsによる山口の循環農業とスポーツ観光。令和2年度観光庁「産学連携による観光産業の中核人材・強化事業」「SDGsによる山口県のスポーツ観光講座」

#### 3) 森林・流域環境科学連合講座

##### 【鳥取大学】

- 永松 大
- ・ 一般財団法人日本生態学会専務理事，中国四国地区会会長
  - ・ 日本景観生態学会専門理事，植生学会編集委員会副委員長
  - ・ 鳥取県湖山池環境モニタリング委員会会長
  - ・ 令和2年度日南町生涯学習講座にちなみ町民大学講師「鳥取県指定天然記念物に指定された「日南町神福のサクラソウ群落」」（鳥取県日南町）（2020年7月15日）

- ・ 兵庫県村岡高校「総合的な学習の時間」非常勤講師（兵庫県香美町）（2020年9月18日）
  - ・ 気候変動適応中国四国広域協議会 植生・シカ等の生態系分科会意見交換会話題提供「鳥取県の森林におけるニホンジカの影響について」（オンライン）（2020年12月8日）
  - ・ 令和2年度鳥取砂丘調査研究報告会ふしぎ発見！鳥取砂丘講師「鳥取砂丘の植生変化をみる」（鳥取市，県民ふれあい会館）（2020年12月13日）
- 日置 佳之
- ・ ICLEE（国際景観生態学・生態工学連合）事務局長
  - ・ 環境省植生図更新検討委員会委員
  - ・ 林野庁近畿中国森林管理局 保護林管理委員会委員

#### 【島根大学】

- 桑原 智之
- ・ 日本水環境学会 JWET 部会（英文誌編集委員会）
  - ・ 日本水環境学会中国・四国支部 幹事
- 高橋 絵里奈
- ・ （公社）島根県緑化推進委員会運営協議会 委員
  - ・ にちなん中国山地林業アカデミー 非常勤講師「造林学」（鳥取県日南町）（2020年8月3日，9月10日），（出雲市）（2020年6月12日）

### 4) 環境生物学連合講座

#### 【島根大学】

- 高原 輝彦
- ・ 環境 DNA 学会業務執行理事（会計担当）
  - ・ 環境 DNA 学会代議員
  - ・ 環境 DNA 学会事業委員
  - ・ 環境 DNA 学会広報委員
  - ・ 日本陸水学会 Limnology 編集委員
  - ・ 日本生態学会大会実行委員

#### 【山口大学】

- 柳 由貴子
- ・ 宮崎県環境影響評価専門委員会委員

## 2 生命資源科学専攻

### 2) 生物機能科学連合講座

#### 【島根大学】

- 石川 孝博
- ・ 出雲科学館 子ども科学学園「ビタミンCにふれてみよう！」開催（島根県出雲市）（2021年2月）
- 児玉 有紀
- ・ ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）ゾウリムシ 運営委員会委員長
  - ・ 日本原生生物学会 評議員および活性化委員
- 小川 貴央
- ・ しまね大交流会 2020（2020年11月7～8日）
  - ・ 第62回日本植物生理学会（松江）（2021年3月14～16日，オンライン開催）
- 蜂谷 卓士
- ・ 第62回日本植物生理学会年会 公開講座「花は咲くー高校生物の教科書を彩る植物の世界ー」2021年3月16日（火）16：00-17：30 Zoom ウェビナー 世話人

### 3) 資源利用化学連合講座

#### 【鳥取大学】

石原 亨

- ・ 倉吉西高校 チャレンジグループ活動 (2020年5月21日)
- ・ 新温泉町えごま研究会 (2020年8月18日)
- ・ JA 鳥取県中央会 毒劇物取扱者試験対策講座 (2020年9月4日)
- ・ JST イノベーション・ジャパン (2020年9月28日～11月30日)
- ・ 東亜合成(株) 社内講演会 (2020年11月28日)
- ・ 東京農業大学 博士論文審査委員 (2021年2月24日)
- ・ 鳥取大学 JST 新技術説明会 (2021年3月2日)
- ・ 特許出願2件 (特願2020-202938、特願2021-008138)

田村 純一

- ・ (特許出願) REPEATING OLIGOSACCHARIDE FOR OLIGOSACCHARIDE SYNTHESIS AND METHOD FOR PRODUCING OLIGOMER THEREOF, 国際出願番号 PCT/JP2020/35624 (2020年9月18日出願), 国際公開日2021年3月25日、国際公開番号 WO2021/054474、発明者: 田村純一, 田村敬裕, 出願人: 国立大学法人鳥取大学
- ・ 「化学合成糖鎖で筋ジストロフィーを治す」イノベーション・ジャパン2020 大学見本市 online、出展番号 L-53, 2020年9月28日～11月30日 (閲覧数341人)
- ・ 「生物の機能を制御する糖鎖+農学部の教育と研究」兵庫県立小野高等学校理数セミナー, 2021年2月2日 1時間 (online 講義), 受講者 (科学探究科1年生・40名, 教員2名)
- ・ 「化学合成糖鎖で筋ジストロフィーを治す」鳥取大学 JST 新技術説明会 online (2021年3月2日)

#### 【島根大学】

石垣 美歌

- ・ 第17回医用分光学会, 学会組織実行委員, 島根大学 (2020年11月)
- ・ 第17回医用分光学会, 座長, 島根大学 (2020年11月)
- ・ 日本化学会中国四国支部大会, 学会組織実行委員, 島根大学 (2020年11月)
- ・ 文部科学省科学技術・学術政策研究所 専門調査員

室田 佳恵子

- ・ 岡山大学農学部「応用分子生物学」非常勤講師 (2020年9月)
- ・ 第18回 男女共同参画学協会連絡会シンポジウム 実行委員 (2020年10月)
- ・ 中四国アグリテックセミナー「食事と疾病予防」開催世話人 (2020年12月)

#### 【山口大学】

赤壁 善彦

- ・ 山口県食品開発推進協議会委員
- ・ 山口市森林セラピー協議会委員
- ・ 樺野川流域の魚食文化を普及する会委員

### 3 国際乾燥地科学連合専攻

#### 国際乾燥地科学連合講座

#### 【鳥取大学】

猪迫 耕二

- ・ JICA 集団研修「乾燥地における持続的農業のための土地・水資源の適性管理」の代表および講師

遠藤 常嘉

- ・ 鳥取県立倉吉総合看護専門学校 非常勤講師「人間と環境」(2020年11月, 12月)

- 緒方 英彦
  - ・ Centro de Investigaciones Biológicas del Noroeste S.C., Tutorial Committee Member
  - ・ 農業農村工学会 材料施工研究部会幹事, 農村道路研究部会幹事
  - ・ 土木学会 コンクリート委員会 359 コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会委員
  - ・ 土木学会 コンクリート委員会 363 茂喜登牛水路橋解体調査研究委員会委員
  - ・ コンクリート工学年次大会 2020 実行委員会講演部会委員
  - ・ 鉦山跡措置技術委員会 (独立行政法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター) 委員
  - ・ 食料・農業・農村政策審議会農業農村振興整備部会技術小委員会 (農林水産省農村振興局) 委員 (食料・農業・農村政策審議会専門委員)
  - ・ 水路トンネル補修・補強技術図書策定に係わる技術検討委員会 (東北農政局土地改良技術事務所) 委員
  - ・ 農業水利施設の補修・補強技術に関する検討委員会 (関東農政局土地改良技術事務所) 委員
  - ・ 近畿農政局農業用ダム技術検討委員会 (日本水土総合研究所) 委員
  - ・ 京丸ダム他安全性評価等委員会 (日本水土総合研究所) 委員
- 木村 玲二
  - ・ 劉佳啓・木村玲二:「無指向飛砂量計測装置」(特願 2020-192786)
- 黒崎 泰典
  - ・ 鳥取大学ジュニアドクター育成塾 めざせ!地球を救う環境博士 (JST 事業) 講義 (2020年11月8日), 鳥取大学乾燥地研究センター
- 谷口 武士
  - ・ 鳥取県立鳥取西高等学校スーパーグローバルハイスクール (SGH) 事業 (鳥取西高等学校 4月15日, 10月14日)
- 辻 本壽
  - ・ 日本学術会議連携会員
  - ・ 四川農業大学作物ゲノム資源・遺伝改良国際共同総合実験室学術委員
  - ・ アラル海流域国際開発センター科学委員
  - ・ 日本育種学会編集委員長
  - ・ 岡山大学農学部 非常勤講師 (職名:教授) 令和2年8月19日~8月20日
  - ・ 山口大学農学部 非常勤講師 (職名:教授) 令和2年9月15日~9月18日

## 第3部 組織・運営

### 第3部 組織・運営

#### 第1章 主指導教員の教育研究分野一覧

令和3年3月1日現在

専攻	連合講座	主指導教員氏名	所属大学	教育研究分野	
				名称	内容
生産環境科学	農業生産学	浅尾 俊樹	島根大学	園芸生産学	野菜・花卉の生産技術に関する研究
		荒木 英樹	山口大学	栽培学	不良環境下における作物の生産機能とその栽培学的応用
		太田 勝巳	島根大学	園芸植物学	園芸植物の成長制御に関する研究
		喜多威知郎	島根大学	水緑利用学	合理的な水資源利用計画と管理および緑化による環境改善
		小林 伸雄	島根大学	園芸育種学	植物遺伝資源の評価と育種利用
		高橋 肇	山口大学	作物学	作物の省力・低投入型栽培体系の確立に関する研究
		田中 裕之	鳥取大学	植物遺伝学	小麦粉品質の改良に関する遺伝育種学的研究
		田村 文男	鳥取大学	園芸学	ニホンナシの自発休眠制御に関する研究
		鶴永 陽子	島根大学	食品加工学	食品加工における製造方法と機能性に関する研究
		中務 明	島根大学	園芸分子育種学	園芸作物における有用形質関連遺伝子の解析と育種利用
		野波 和好	鳥取大学	農業生産工学	農作業の機械化に関する研究
		福田 善通	※鳥取大学	作物遺伝育種学	イネ農業形質の多様性、分化、遺伝様式に関する遺伝育種学研究
		松本 真悟	島根大学	土壌・作物栄養学	土壌肥沃度に対応した作物の養分獲得機構の解明
		松本 敏一	島根大学	果樹園芸学	果樹栽培と加工品に関する研究
		谷野 章	島根大学	生物環境電気工学	生物環境関連技術への電気工学の適用
	山本 晴彦	山口大学	環境情報科学	光学的計測法による植物の生育診断	
	経済・経営学	伊藤 康宏	島根大学	漁業史	日本漁業の近現代史研究
		井上 憲一	島根大学	農業経営学	農業経営における地域資源の管理に関する研究
		種市 豊	山口大学	農業市場学	農産物・農業資材の流通に関する研究
		能美 誠	鳥取大学	地域産業計画学	地域農業計画・分析手法の開発および適用
		松田 敏信	鳥取大学	消費者行動学	計量経済学による消費者行動の研究、特に食料需要の実証分析
		松村 一善	鳥取大学	農業経営学	農業経営と農村社会の相互関係に関する研究
		万 里	鳥取大学	流通情報解析学	農産物の流通経路と市場情報の計量経済分析
	安延 久美	鳥取大学	国際農業開発学	東南アジアにおける農業・農村開発に関する研究	
	森林・流域環境科学	石井 将幸	島根大学	地域基盤工学	水利施設の補修補強に関する設計手法の開発
		伊藤 勝久	島根大学	森林政策学	森林・林業政策及び条件不利地域対策に関する実証的研究
		桑原 智之	島根大学	水環境保全学	水域環境の保全及び排水・環境水の浄化に関する研究
		武田 育郎	島根大学	水質水文学	集水域における面源汚濁の評価と制御
		鶴崎 展巨	鳥取大学	動物分類学	陸上無脊椎動物の種多様性・染色体・進化と保全
		長澤 良太	鳥取大学	景観生態学	中山間地域における自然、人文、社会環境の景観生態学的研究
		永松 大	鳥取大学	植物生態学	森林・草原の植物個体群動態と植生科学、生物多様性保全
		日置 佳之	鳥取大学	生態系保全・復元計画学	生物多様性の保全と復元のための生態学的な計画と技術
		藤本 高明	鳥取大学	木材理学	木材性質変動の解析および計測評価手法の開発
		矢島 啓	島根大学	環境水理学	流体現象を考慮した水域の水環境に関する研究
	環境生物学	荒西 太士	島根大学	遺伝生態学	水域生物資源の進化、生態および保全に関する分子遺伝学研究
		井藤 和人	島根大学	土壌微生物学	微生物と植物間の相互作用
		伊藤 真一	山口大学	植物病理学	植物病原体ゲノムの構造と機能
		上野 誠	島根大学	植物病理学	植物一病原菌の相互作用における抵抗性発現に関する研究
		上中 弘典	鳥取大学	植物微生物相互作用学	植物における免疫応答と菌根共生の分子機構の解明
		唐澤 重考	鳥取大学	多様性生物学	無脊椎動物の遺伝子・種多様性に関する研究
		木原 淳一	島根大学	植物病理学	植物病原糸状菌の光環境応答
		児玉基一朗	鳥取大学	植物病理学	植物-微生物相互作用と植物耐病性の分子機構
竹松 葉子		山口大学	昆虫生態学	シロアリの多様性と生態に関する研究	
宮永 龍一		島根大学	昆虫生態学	野生ハナバチ類の生態と管理に関する研究	
山口 啓子		島根大学	水圏生態学	ベントスを中心とした生物の生態と水圏環境に関する研究	
生命資源科学	菌類・きのこ科学	會見 忠則	鳥取大学	微生物生産科学	微生物による食料及び有用物質生産の生化学・分子生物学
		霜村 典宏	鳥取大学	菌類育種栽培学	きのこ類遺伝資源の育種・栽培に関する研究
		早乙女 梢	鳥取大学	菌類系統分類学	きのこ類の系統分類と木材腐朽性担子菌の生態に関する研究
		中桐 昭	鳥取大学	菌類多様性学	水生環境に生息する菌類の分類・生態・適応進化

専攻	連合講座	主指導教員氏名	所属大学	教育研究分野	
				名称	内容
生命資源科学	生物機能科学	赤間 一仁	島根大学	植物分子生物学	植物のtRNAの発現制御機構とγ-アミノ酪酸の生理機能の解明
		東 政明	鳥取大学	分子昆虫学	昆虫細胞の特異的機構の解明とその有効利用
		有馬 二郎	鳥取大学	生命機能化学	微生物・酵素の新奇機能探索とメカニズムの解明、及びその利用
		石川 孝博	島根大学	植物分子生理学	光合成生物における抗酸化物質合成と活性酸素代謝機構
		岩崎 崇	鳥取大学	生体制御化学	生体機能を制御する生理活性物質の探索および開発に関する研究
		川向 誠	島根大学	遺伝子工学	真核生物情報伝達系と細胞周期の制御、コエンザイムQの生合成
		小杉 昭彦	鳥取大学	応用微生物学	微生物機能を用いたバイオマス資源利用技術の開発
		児玉 有紀	島根大学	共生生物学	ミドリゾウムシとクロレラの細胞内共生の成立機構の解明
		塩月 孝博	島根大学	生物制御化学	昆虫を主な対象とする生物制御の分子機構解明と化学生物学的応用
		中川 強	島根大学	植物分子遺伝学	植物の発達メカニズムの解明と植物遺伝子解析技術の開発
		西川 彰男	島根大学	動物発生生物学	両生類を用いた細胞増殖、分化、細胞死、形態形成に関する研究
		真野 純一	山口大学	植物生産生理学	植物の環境ストレス耐性機構の解明と応用
		丸田 隆典	島根大学	植物生理学	植物のレドックス代謝ネットワークとストレス応答
	資源利用化学	阿座上弘行	山口大学	分子微生物学	バクテリアの宿主表面への定着の分子メカニズム
		石原 亨	鳥取大学	天然物化学	植物・微生物が合成する代謝産物の機能、生理活性、生合成に関する研究
		一柳 剛	鳥取大学	有機化学	合成化学的アプローチによる生物活性化合物の機能解明
		河野 強	鳥取大学	生物有機化学	環境応答による休眠・代謝・寿命の制御機構
		清水 英寿	島根大学	栄養病態生理学	食品由来腸内細菌代謝産物や藍藻類由来毒素による病態発症メカニズムの解明
		田村 純一	鳥取大学	有機化学	生理活性糖鎖の化学合成と天然糖鎖の単離・構造決定
		室田佳恵子	島根大学	食品代謝機能学	脂溶性食品成分の生体利用性と機能性に関する研究
山本 達之		島根大学	生命分子分光学	分子分光学の生命科学や医療への応用	
横田 一成		島根大学	細胞生命化学	食品・医薬品関連物質と生体との相互作用に関する分子細胞生物学的研究	
渡邊 文雄	鳥取大学	食品科学	食品に含まれるビタミンB12関連化合物の化学的性質と栄養評価に関する研究		
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	明石 欣也	鳥取大学	分子細胞生物学	耐乾性植物のストレス分子応答および環境耐性植物の分子育種
		Nigussie Haregeweyn AYEHU	鳥取大学	土地管理	流域プロセスのモニタリング、モデリング及び管理に関する研究
		安 萍	鳥取大学	植物生理生態学	乾燥地における植物の生理的応答と機構および生態学に関する研究
		一戸 俊義	島根大学	家畜飼養学	反すう家畜の栄養と生産システムの評価
		猪迫 耕二	鳥取大学	水士環境保全学	水士環境の保全と再生ならびに持続可能な利用に関する研究
		荊木 康臣	山口大学	生物環境調節工学	環境制御型植物生産システムに関する研究
		遠藤 常嘉	鳥取大学	土壌化学	乾燥地域における灌漑農地の塩類動態と土壌劣化に関する研究
		緒方 英彦	鳥取大学	水利施設工学	水利構造物の建設材料と構造性能の評価
		衣笠 利彦	鳥取大学	乾燥地緑化保全学	乾燥・半乾燥草原に生育する植物の生態学および生態生理学
		木村 玲二	鳥取大学	境界層気象学	乾燥地における熱収支・水収支の解明に関する研究
		黒崎 泰典	鳥取大学	乾燥地気候学	乾燥地における気候変動、風食、ダスト発生、ダストの気候影響
		蔡 義民	※鳥取大学	畜産学	飼料資源の開発とサイレージ発酵制御に関する研究
		清水 克之	鳥取大学	水利用学	農業用水管理のモニタリングと評価
		鈴木 賢士	山口大学	気象学	降水メカニズム解明のための観測研究と降水粒子測定手法の開発
		谷口 武士	鳥取大学	微生物生態学	土壌および植物根圏微生物の生態と利用
		辻本 壽	鳥取大学	分子育種学	遺伝子および染色体工学的的手法による乾燥耐性作物系統の育種
		恒川 篤史	鳥取大学	保全情報学	乾燥地における植物生産および生態系変化のモニタリングとモデリング
		坪 充	鳥取大学	気候リスク管理学	乾燥地における農業気象と気候変動対応型農業
		西原 英治	鳥取大学	乾燥地作物栽培学	乾燥地を含む地域における作物栽培体系の構築に関する研究
		兵頭 正浩	鳥取大学	施設環境材料学	農業水利施設の維持管理と環境を考慮した材料に関する研究
藤巻 晴行	鳥取大学	土壌保全学	乾燥地における塩類集積および土壌侵食の防止と修復技術の開発		
増永 二之	島根大学	土壌圏生態工学	土壌の環境維持・修復機能および植物生産機能の制御と利用		
山田 智	鳥取大学	植物栄養学	乾燥地における植物のストレス応答機構に関する研究		
山中 典和	鳥取大学	乾地緑化学	乾燥地における樹木の生態学的研究		
山本 定博	鳥取大学	環境土壌学	乾燥地における土壌環境の保全と農耕地の持続的利用に関する研究		

※ 協力機関 (JIRCAS) との連携

## 第2章 委員会

### 1 研究科委員会

#### (1) 委員

令和3年3月1日現在

専攻	連合講座	鳥取大学		島根大学		山口大学	
		教授	准教授	教授	准教授	教授	准教授
生産環境科学	農業生産学	田村 文男 山口 武視	田中 裕之 森本 英嗣 △竹村 圭弘	浅尾 俊樹 喜多威知郎 小林 伸雄 松本 真悟 谷野 章	中務 明 小林 和広 田中 秀幸	荒木 英樹 高橋 肇 執行 正義	
	経済・経営学	能美 誠 松村 一善 安延 久美	万 里	伊藤 康宏 井上 憲一	保永 展利		種市 豊
	森林・流域 環境科学	鶴崎 展巨 長澤 良太 永松 大 日置 佳之	藤本 高明 芳賀 弘和	伊藤 勝久 武田 育郎 桑原 智之	石井 将幸 久保満佐子		
	環境生物学	児玉基一朗	上中 弘典 中 秀司	井藤 和人 上野 誠 木原 淳一 宮永 龍一 山口 啓子 荒西 太士	泉 洋平 堀之内正博	伊藤 真一 竹松 葉子 横山 和平	細井 栄嗣 柳 由貴子
生命資源科学	菌類・きのこ科学	會見 忠則 霜村 典宏 中桐 昭	▲遠藤 直樹				
	生物機能科学	東 政明 有馬 二郎	岩崎 崇	石川 孝博 川向 誠 塩月 孝博 中川 強 西川 彰男 松崎 貴	丸田 隆典 戒能 智宏 松尾 安浩 ▲蜂谷 卓士	真野 純一 小林 淳	
	資源利用化学	石原 亨 一柳 剛 河野 強 田村 純一 渡邊 文雄	藪田 行哲 △上野 琴巳 ▲美藤 友博	室田佳恵子 山本 達之	清水 英寿 地阪 光生 西村 浩二 吉清 恵介	阿座上弘行 井内 良仁	
国際乾燥地科学	明石 欣也 遠藤 常嘉 緒方 英彦 黒崎 泰典 清水 克之 辻本 壽 恒川 篤史 坪 充 西原 英治 藤巻 晴行 山田 智 山中 典和 山本 定博 Nigussie Haregeweyn AYEHU	安 萍 衣笠 利彦 兵頭 正浩 Peng Fei △石井 孝佳	一戸 俊義 増永 二之	佐藤 邦明	荊木 康臣		
計		34	18	26	17	11	3
合計		109					

△は講師、▲は助教を示す。

(2) 審議事項等

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
令和2年8月21日 (金)	<p>第84回研究科委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度(10月入学) 持続可能な開発目標に貢献する乾燥地農学特別プログラムの編入学者について</li> <li>・2020年度(10月入学) 菌類きのこ資源利用科学特別プログラムの編入学者について</li> <li>・2020年度(10月入学) 外国人留学生特別入試(渡日前入試)の合格者について</li> <li>・2020年度予算配分について</li> <li>・学生の異動について</li> <li>・指導教員等の変更について(協議・追認)</li> <li>・2020年度入学者選抜試験(10月入学)合格者の決定について</li> <li>・2020年度入学予定者(10月入学)に係る指導教員等について</li> <li>・連合農学研究科教員候補者の選考について</li> <li>・学位論文の合否決定について</li> <li>・学位論文の全文に代えて要約を公表する申立について</li> <li>・鳥取大学大学院連合農学研究科長候補適任者選挙について</li> <li>・科学コミュニケーションⅠの実施について</li> <li>・農学特論Ⅰ(連合一般ゼミナール(日本語))の実施について</li> <li>・各専攻特論の実施について</li> <li>・科学コミュニケーションⅡの実施について</li> </ul>
令和3年2月19日 (金)	<p>第85回研究科委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度(4月入学) 外国人留学生特別入試(渡日前入試)の合格者について</li> <li>・学生の異動について(協議・追認)</li> <li>・研究生の受入について</li> <li>・研究生の退学について</li> <li>・指導教員等の変更について(協議・追認)</li> <li>・研究科長候補適任者の承認について</li> <li>・令和3年度入学者選抜試験(4月入学)合格者の決定について</li> <li>・令和3年度入学予定者(4月入学)に係る指導教員等について</li> <li>・連合農学研究科教員候補者の選考について</li> <li>・学位論文の合否決定について</li> <li>・学位論文の全文に代えて要約を公表する申立について</li> <li>・次期代議委員会委員及び専攻長の選出について</li> <li>・令和3年度連合農学研究科予算配分基本方針(案)について</li> <li>・連合農学研究科規則等の一部改正について</li> <li>・令和3年度連合農学研究科年間スケジュールについて</li> <li>・令和3年度「年度計画」について</li> <li>・科学コミュニケーションⅡ(研究セミナー)の実施について</li> <li>・農学特論Ⅱ(連合一般ゼミナール(英語))の実施について</li> <li>・新多地点遠隔講義システムの導入について</li> </ul>

## 2 代議委員会

### (1) 委員

所属専攻名等	所属連合講座名	氏名(所属大学)	任 期
研究科長		東 政明(鳥取大学)	平成31年4月1日~令和3年3月31日
副研究科長		児玉基一郎(鳥取大学)	平成26年6月1日~
生産環境科学	農業生産学	<u>高橋 肇</u> (山口大学)	平成31年4月1日~令和3年3月31日
	経済・経営学	伊藤 康宏(島根大学)	〃
	森林・流域環境科学	石井 将幸(島根大学)	〃
	環境生物学	伊藤 真一(山口大学)	〃
生命資源科学	菌類・きのこ科学	中桐 昭(鳥取大学)	〃
	生物機能科学	<u>石川 孝博</u> (島根大学)	〃
	資源利用化学	河野 強(鳥取大学)	〃
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	<u>藤巻 晴行</u> (鳥取大学)	〃

※下線は専攻長

## (2) 審議事項等

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
令和2年 4月10日 (金)	第384回代議委員会 (テレビ会議) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生異動について</li> <li>・指導教員等の変更について</li> <li>・特別リサーチ・アシスタントの決定について</li> <li>・2020年度学生募集要項 (10月入学) について</li> <li>・長期海外渡航中の学生の研究指導について</li> <li>・2020年度農学特論 I (前期連合一般ゼミナール) (日本語) について</li> <li>・2020年度各専攻特論講義担当講師について</li> <li>・科目ナンバリングの設定について</li> <li>・令和元年度連合農学研究科「大山会」決算報告について</li> </ul>
令和2年 5月15日 (金)	第385回代議委員会 (オンライン会議) <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員資格審査委員会委員の選出について</li> <li>・2020年度予算配分 (案) について</li> <li>・国際学会等発表学生への援助について</li> <li>・2020年度 (10月入学) 外国人留学生特別入試 (渡日前入試) にかかる口頭試問実施方法について</li> <li>・連合農学研究科規則等の一部改正について</li> <li>・教員資格再審査について</li> <li>・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について (協議・報告)</li> <li>・臨時研究科長会議及び専任教員会議の議事について</li> <li>・2020年度各専攻特論について</li> <li>・科学コミュニケーション I 及び連合一般ゼミナールの授業実施方法の変更について</li> <li>・各構成大学における新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応状況について</li> </ul>
令和2年 6月 3日 (水)	第386回 (臨時) 代議委員会 (オンライン会議) <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度 (10月入学) 外国人留学生特別入試 (渡日前入試) の合否判定について</li> <li>・2020年度 (10月入学) 外国人留学生特別入試 (渡日前入試) にかかる口頭試問実施方法について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大による学生指導への影響について</li> <li>・学位論文審査の方法及び入試の実施方法について</li> </ul>
令和2年 7月 3日 (金)	第387回代議委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度10月入学のための外国人留学生特別入試 (渡日前入試) の合否判定について</li> <li>・学位論文受理の可否について</li> <li>・学位論文審査委員会の設置および委員の決定について</li> <li>・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について (協議・報告)</li> <li>・2020年度各専攻特論講義題目及び講師の変更について</li> <li>・連合農学研究科教員資格再審査に係る教員調書等の記入要領等について</li> <li>・令和2年度 (第1回) 全国連合農学研究科長会議について</li> </ul>
令和2年 8月21日 (金)	第388回代議委員会 (オンライン会議) <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度入学者選抜試験 (10月入学) 合否判定について</li> <li>・2021年度菌類きこ資源利用科学特別プログラム学生募集要項及び選考方法について</li> </ul>

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
令和2年10月 9日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰国困難な国費留学生の対応について</li> <li>・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について (協議・報告)</li> <li>・鳥取大学大学院連合農学研究科長候補適任者選挙について</li> <li>・第84回研究科委員会への議題提出について</li> <li>・コミュニケーションⅡの実施について</li> <li>・2020年度教員資格審査日程 (後期) について</li> </ul> <p>第389回代議委員会 (オンライン会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究生の受け入れについて</li> <li>・学生の異動について</li> <li>・指導教員等の変更について</li> <li>・特別リサーチ・アシスタントの決定について</li> <li>・2021年度学生募集要項 (案) について</li> <li>・2020年度国際学会・研究集会発表学生援助 (第2次) の選考について</li> <li>・規則改正について</li> <li>・連合農学研究科長候補適任者選挙について</li> <li>・国際シンポジウム</li> <li>・新多地点遠隔講義システムの導入について</li> <li>・教員資格再審査の結果について</li> <li>・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について (報告)</li> </ul>
令和2年11月 6日 (金)	<p>第390回代議委員会 (オンライン会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究生の退学について</li> <li>・休学願の取り下げについて</li> <li>・指導教員等の変更について</li> <li>・連合農学研究科長候補適任資格者選挙について</li> <li>・連合農学研究科長候補適任者選挙について</li> <li>・2021年度菌類きのこ資源利用科学特別プログラム進学者の選考について</li> <li>・令和2年度国際学会・研究集会発表学生援助 (第2次) の選考について</li> <li>・教員資格再々審査の取り扱いについて</li> <li>・令和2年度業務実績報告書 (中間報告) について</li> <li>・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について</li> <li>・科学コミュニケーション (研究セミナー) の実施について</li> </ul>
令和2年11月24日 (火)	<p>第391回代議委員会 (オンライン会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連合農学研究科長候補適任者選挙当選者の確認について</li> </ul>
令和2年11月25日 (水)	<p>第392回代議委員会 (オンライン会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連合農学研究科長候補適任者再選挙当選者の確認について</li> </ul>
令和2年12月 4日 (金)	<p>第393回代議委員会 (オンライン会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度 (4月入学) 外国人留学生特別入試 (渡日前入試) にかかる口頭試問実施方法について</li> <li>・2021年度年間スケジュール (案) について</li> <li>・教員資格審査委員の選出について</li> <li>・教員資格再々審査の取り扱いについて</li> <li>・指導教員等の変更について</li> <li>・令和3年度年度計画 (案) について</li> <li>・令和2年度農学特論Ⅱ (連合一般ゼミナール) (英語) について</li> </ul>

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
令和3年 1月 6日 (水)	<p>第394回代議委員会 (オンライン会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の異動について</li> <li>・2021年度(4月入学) 外国人留学生特別入試(渡日前入試)の合否判定について</li> <li>・日本学生支援機構第一種奨学生採用時返還免除内定候補者の推薦について</li> <li>・学位論文受理の可否について</li> <li>・学位論文審査委員会の設置及び委員の選出について</li> <li>・2021年度菌類きこの資源利用科学特別プログラム(博士後期課程) 学生募集要項について</li> <li>・2021年度持続可能な開発目標に貢献する乾燥地農学特別プログラム(博士後期課程) 学生募集要項について</li> <li>・次期代議委員会委員の選出について</li> <li>・令和3年度予算配分方針(案)について</li> <li>・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について(報告)</li> </ul>
令和3年 2月 3日 (水) ～ 5日 (金)	<p>第395回(臨時)代議委員会(メールによる持ち回り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度菌類きこの資源利用科学特別プログラム(博士後期課程)の入学試験にかかる口頭試問実施方法について</li> <li>・2021年度持続可能な開発目標に貢献する乾燥地農学特別プログラム(博士後期課程)の入学試験にかかる口頭試問実施方法について</li> </ul>
令和3年 2月19日 (金)	<p>第396回代議委員会 (オンライン会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度入学者選抜試験合格判定について</li> <li>・学業優秀による令和3年度入学科免除候補者の推薦について</li> <li>・学位論文受理の可否について</li> <li>・次期代議委員会委員及び専攻長の選出について</li> <li>・令和3年度国際学会・国際研究集会発表学生援助(第1次)の募集について</li> <li>・第85回研究科委員会への提出議題について</li> </ul>
令和3年 3月 4日 (木)	<p>第397回(臨時)代議委員会 (オンライン会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度持続可能な開発目標に貢献する乾燥地農学特別プログラム(博士後期課程) 入学試験の合否判定について</li> <li>・2021年度菌類きこの資源利用科学特別プログラム(博士後期課程) 入学試験の合否判定について</li> </ul>
令和3年 3月11日 (木)	<p>第398回代議委員会 (オンライン会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本学生支援機構第一種奨学金返還免除者の推薦について</li> <li>・2021年度各専攻特論講義担当講師について</li> <li>・2022年度外国人留学生特別入試募集要項(案)について</li> <li>・2021年度持続可能な開発目標に貢献する乾燥地農学特別プログラム(博士後期課程) 編入学生(私費留学生) 募集要項(案)について</li> <li>・2021年度菌類きこの資源利用科学特別プログラム(博士後期課程) 編入学生(私費留学生) 募集要項(案)について</li> <li>・学位論文審査委員会の設置及び委員の選出について</li> <li>・学位論文受理の可否について</li> <li>・渡日が困難な学生の研究指導について</li> <li>・学生の異動について</li> <li>・連合農学研究科教員資格審査の様式変更について</li> </ul>

### 第3章 令和2年度 連合農学研究科教員

#### 1 有資格教員（教授・准教授・講師・助教）一覽

令和3年3月1日現在

専攻	連合講座	鳥 取 大 学			島 根 大 学			山 口 大 学			
		教 授	准 教 授	助 教	教 授	准 教 授	助 教	教 授	准 教 授	助 教	
生産環境科学	農業生産学	田村 文男 ○ 野波 和好 ○ ◆ 福田 普通 山口 武視	田中 裕之 ○ ◆ 許 東河 ◆ 小田 正人 近藤 謙介 森本 英嗣 △ 竹村 圭弘		浅尾 俊樹 ○ 太田 勝巳 ○ 喜多威知郎 小林 伸雄 ○ 鶴永 陽子 ○ 松本 真悟 ○ 松本 敏一 谷野 章	中務 明 池浦 博美 氏家 和広 江角 智也 門脇 正行 小林 和広 田中 秀幸		荒木 英樹 ○ ◎ 高橋 肇 山本 晴彦 執行 正義			
	経済・経営学	能美 誠 松田 敏信 ○ 松村 一善 ○ 安延 久美 ○	万 里		◎ 伊藤 康宏 ○ 井上 憲一 ○	赤沢 克洋 森 佳子 保永 展利			種市 豊 ○		
	森林・流域環境科学	鶴崎 展巨 ○ 長澤 良太 ○ 永松 大 日置 佳之 ○	藤本 高明 ○ 芳賀 弘和 △ 岩永 史子		伊藤 勝久 ○ 桑原 智之 ○ 武田 育郎 矢島 啓	◎ 石井 将幸 川口 英之 久保満佐子 高橋絵里奈 米 康充	上野 和広 藤卷 玲路				
	環境生物学	☆ 児玉基一朗 ○ 唐澤 重考	上中 弘典 ○ 中 秀司 實來佐和子 △ 大崎久美子		荒西 太士 ○ ※ 井藤 和人 ○ 上野 誠 ○ 木原 淳一 ○ 宮永 龍一 ○ 山口 啓子 ○	泉 洋平 高原 輝彦 堀之内正博	清水 加耶 林 昌平	◎ 伊藤 真一 ○ 竹松 葉子 ○ 横山 和平	細井 栄嗣 柳 由貴子		
生命資源科学	の菌類・科学	◎ 會見 忠則 ○ ◎ 霜村 典宏 ○ ◎ 中桐 昭 ○	早乙女 梢	遠藤 直樹							
	生物機能科学	★ 東 政明 ○ 有馬 二郎 ○ ◆ 小杉 昭彦	岩崎 崇 岡 真理子		◎ 赤間 一仁 石川 孝博 ○ 川向 誠 ○ 塩月 孝博 ○ 中川 強 ○ 西川 彰男 ○ 松崎 貴 ○ 林 蘇娟	児玉 有紀 丸田 隆典 小川 貴央 戒能 智宏 舞木 昭彦 松尾 安浩 吉田 真明	蜂谷 卓士	真野 純一 ○ 内海 俊彦 小林 淳 薬師 寿治	高坂 智之	片岡 尚也	
	資源利用化学	石原 亨 ○ 一柳 剛 ○ ◎ 河野 強 ○ 田村 純一 ○ 渡邊 文雄 ○	藪田 行哲 ○ △ 上野 琴巳	美藤 友博	室田佳恵子 ○ 山本 達之 ○ 横田 一成	清水 英寿 ○ 地阪 光生 西村 浩二 吉清 恵介	石垣 美歌	阿座上弘行 赤壁 善彦 小崎 紳一 松井 健二 ※ 宮田 浩文	井内 良仁 木股 洋子 肥塚 崇男		
国際乾燥地科学	明石 欣也 ○ 猪迫 耕二 ○ 遠藤 常嘉 ○ 緒方 英彦 ○ 黒崎 泰典 ○ ◆ 蔡 義民 ○ 清水 克之 ○ 辻本 壽 ○ 恒川 篤史 ○ 坪 充 ○ 西原 英治 ○ ◎ 藤卷 晴行 ○ 山田 智 ○ 山中 典和 ○ 山本 定博 ○ Nigussie Haregeweyn ○ AYEHU	安 萍 ○ 衣笠 利彦 ○ 木村 玲二 ○ 谷口 武士 ○ 兵頭 正浩 ○ 齊藤 忠臣 ○ Peng Fei TODERICH Kristina MA Shaoxiu △ 石井 孝佳	佐久間 俊	一戸 俊義 増永 二之 ○	佐藤 邦明	宋 相憲	荊木 康臣 鈴木 賢士	佐合 悠貴			
小計		41	29	3	33	30	7	18	8	1	
合計						170					

(注) ★は研究科長，☆は副研究科長，※は学部長，◎は代議委員，◆は連携教員，○は主指導教員，△は講師を示す。

2 担当教員を補助する教員（助教）一覧

令和3年3月1日現在

専攻	連合講座	鳥取大学	島根大学	山口大学
生産環境科学	農業生産学		足立 文彦 城 惣吉 渋谷 知暉	
	経済・経営学	Asres Elias Baysa		
	森林・流域環境科学			
	環境生物学	佐久間 俊	清水 加那 吉岡 秀和 林 昌平	佐々木一紀
生命資源科学	菌類・きのこ科学			
	生物機能科学			
	資源利用化学			
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	佐久間 俊 Asres Elias Baysa 寺本 宗正 宇部 尚樹	上野 和広	
生物生産科学*	農業生産学		足立 文彦 城 惣吉	
	森林資源学			
	経済・経営学		中間由紀子	
生物環境科学*	生産環境工学			
	環境科学		林 昌平	
生物資源科学*	生物機能科学			
	資源利用化学			
国際乾燥地科学*	国際乾燥地科学	佐久間 俊		
計		4人	8人	1人
合計		13人		

\*…平成29年度以前入学生

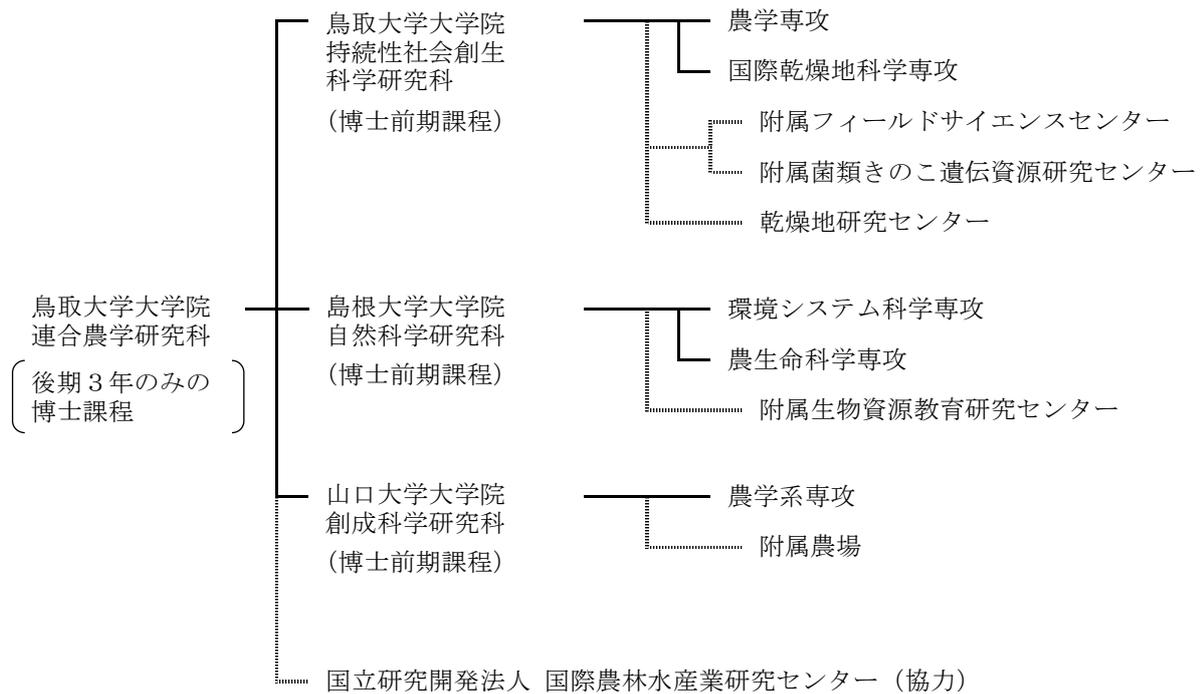
## 第4章 その他

### 1 組織

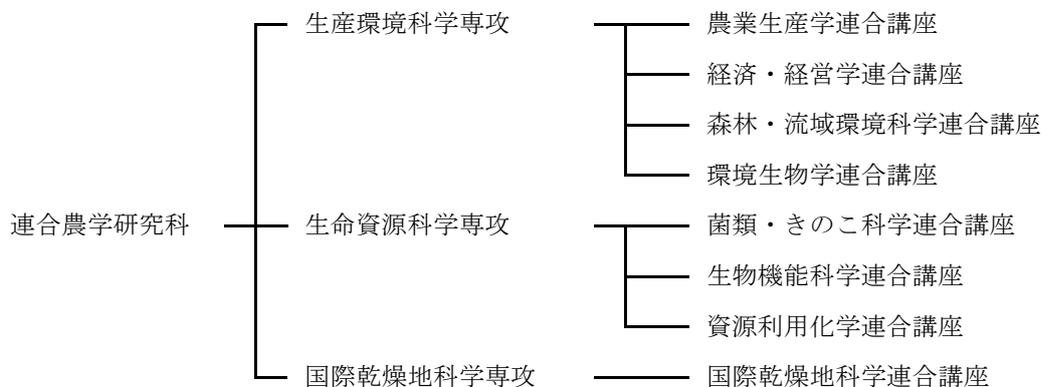
本連合農学研究科は、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究、島根大学大学院自然科学研究科及び山口大学大学院創成科学研究科の博士前期課程の講座と附属施設を母体として編成されている。

各大学の研究科と密接な連携協力のもとに運営されているが、それぞれの研究科とは別の独立した研究科である。

#### 連合農学研究科の母体組織



本研究科には、生産環境科学、生命資源科学、国際乾燥地科学の3専攻の下に8連合講座を置いている。



\* 生物機能科学連合講座は平成23年度新設、国際乾燥地科学専攻は平成21年度新設

\* 平成30年4月より3専攻8連合講座へ改組

## 2 予算規模

(千円)

事 項	配 分 額	内 訳		
		鳥取大学	島根大学	山口大学
当初予算配分	105,442	58,635	31,772	15,035
ティーチング・アシスタント 経費	9,047	2,503	4,921	1,623
リサーチ・アシスタント 経費	10,379	3,307	6,029	1,043

### 3 行 事

年 月 日 (曜日)	行 事
令和 2年 4月10日 (金)	入学式, オリエンテーション (中止)
〃	第384回代議委員会
5月15日 (金)	第385回代議委員会
5月20日 (水)	科学コミュニケーションI (5/22まで) (オンライン)
6月 3日 (水)	第386回代議委員会 (臨時)
6月 8日 (月)	学位論文審査申請受付 (6/16まで, 前期修了予定者)
〃	学生募集要項発表 (後期入学)
6月12日 (金)	第67回関係教員連絡会
6月17日 (水)	農学特論I (日本語) (6/19まで)
6月22日 (月)	出願資格認定申請受付 (後期入学) (6/26まで)
7月 3日 (金)	第387回代議委員会
〃	教員資格審査委員会
7月14日 (火)	入学願書受付 (後期入学) (7/17まで)
7月29日 (水)	各専攻特論 (8/5まで)
8月 6日 (木)	入試委員会 (持ち回り)
8月21日 (金)	入学者選抜試験 (後期入学)
〃	第388回代議委員会
〃	第84回研究科委員会
8月31日 (月)	合格者発表 (後期入学)
9月11日 (金)	学位記授与式 (中止)
10月 8日 (木)	教員資格再審査委員会
10月 9日 (金)	入学式, オリエンテーション
〃	第389回代議委員会
10月14日 (水)	科学コミュニケーションII (10/16まで) (オンライン)
11月 4日 (水)	学生募集要項発表
11月 6日 (金)	研究科長候補者適任資格者選挙
〃	第390回代議委員会
11月18日 (水)	農学特論II (英語) (11/20まで)
11月24日 (火)	研究科長候補者選挙
〃	第391回代議委員会
11月25日 (水)	研究科長候補者再選挙
〃	第392回代議委員会
12月 4日 (金)	第393回代議委員会
12月 7日 (月)	学位論文審査申請受付 (12/14まで, 後期修了予定者)
〃	出願資格認定申請受付 (12/14まで)
令和 3年 1月 6日 (水)	第394回代議委員会
〃	教員資格審査委員会
1月12日 (火)	入学願書受付 (前期入学) (1/15まで)
1月29日 (金)	入試委員会
2月 3日 (水)	第395回 (臨時) 代議委員会 (メール持ち回り) (2/5まで)
2月18日 (木)	入学者選抜試験 (2/19まで)
2月19日 (金)	第396回代議委員会
〃	第85回研究科委員会
3月 1日 (月)	合格者発表
3月 4日 (木)	第397回 (臨時) 代議委員会
3月11日 (木)	第398回代議委員会
〃	学位記授与式 (中止)

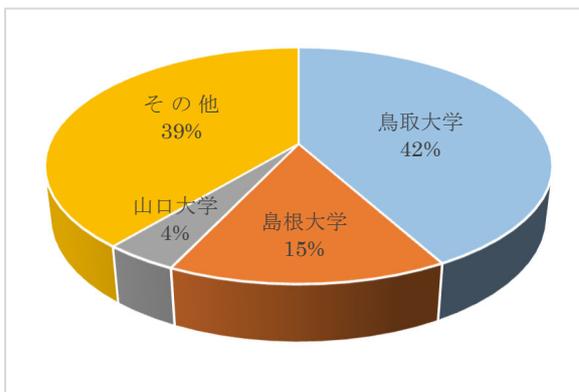
## 第4部 在学生へのアンケート

科学コミュニケーションⅡ

(令和2年10月14日～16日)において実施

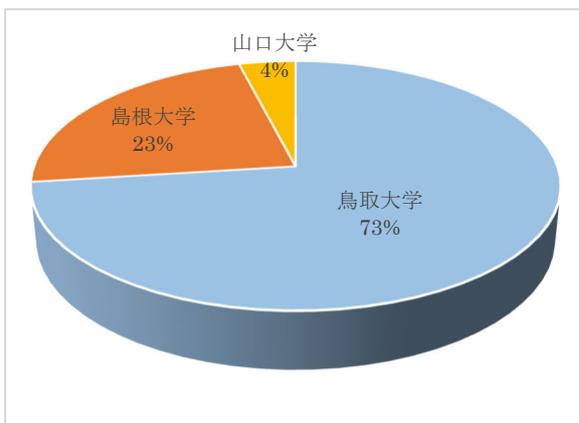
## 1. あなた自身についてお答え下さい

### (1) 修士課程の出身大学



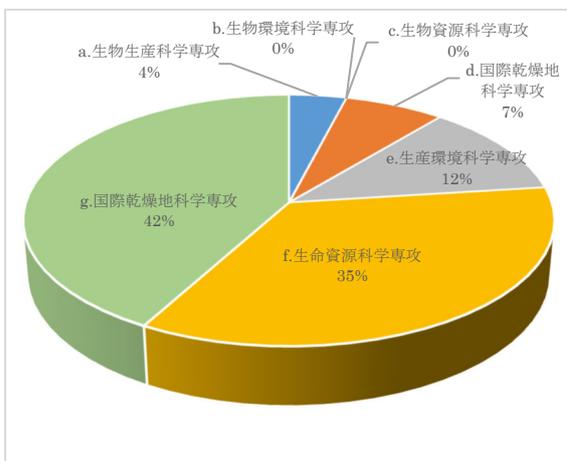
鳥取大学	11
島根大学	4
山口大学	1
その他	10
計	26

### (2) 現在の配属大学



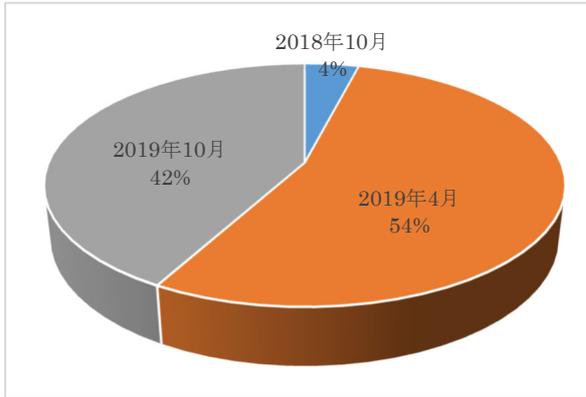
鳥取大学	19
島根大学	6
山口大学	1
計	26

### (3) 専攻



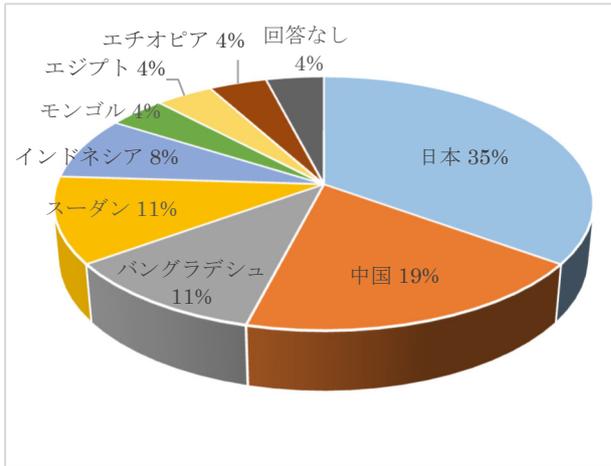
a.生物生産科学専攻	1
b.生物環境科学専攻	0
c.生物資源科学専攻	0
d.国際乾燥地科学専攻 2017年度以前入学	2
e.生産環境科学専攻	3
f.生命資源科学専攻	9
g.国際乾燥地科学専攻 2018年度以降入学	11
計	26

#### (4) 入学年月



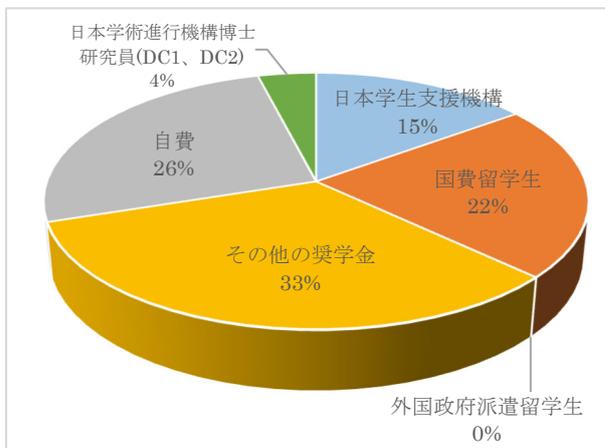
2018年10月	1
2019年4月	14
2019年10月	11
計	26

#### (5) 国籍



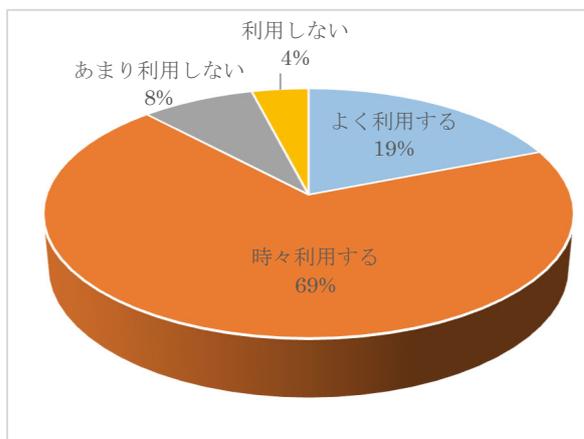
日本	9
中国	5
バングラデシュ	3
スーダン	3
インドネシア	2
モンゴル	1
エジプト	1
エチオピア	1
回答なし	1
計	26

#### (6) 奨学金受給状況



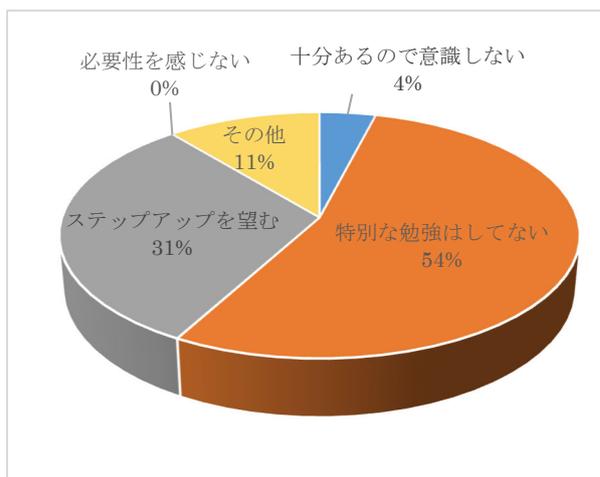
日本学生支援機構	4
国費留学生	6
外国政府派遣留学生	0
その他の奨学金	9
自費	7
日本学術振興機構博士研究員(DC1、DC2)	1
計	27

(7) 連大ホームページ利用状況



よく利用する	5
時々利用する	18
あまり利用しない	2
利用しない	1
計	26

(8) あなたの英語力はどのようにして維持・上達させていますか？



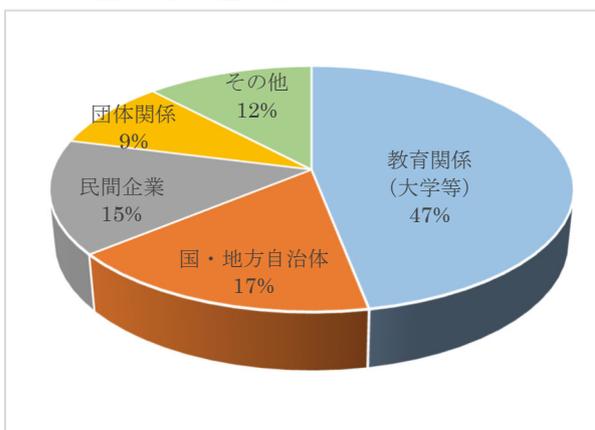
十分あるので意識しない	1
特別な勉強はしてない	14
ステップアップを望む	8
必要性を感じない	0
その他	3
計	26

■コメント

- My answer is "a", but I still need to improve.
- I'm not very please with my English. So I read English article and TED talk almost everyday.
- Just I read peer-reviewer paper frequently that helps me to improve my writing.
- Here in Japan, it is less chance to communicate with English speaker.
- Reading articles of English Journal Netflix, documentary, BBC news ...

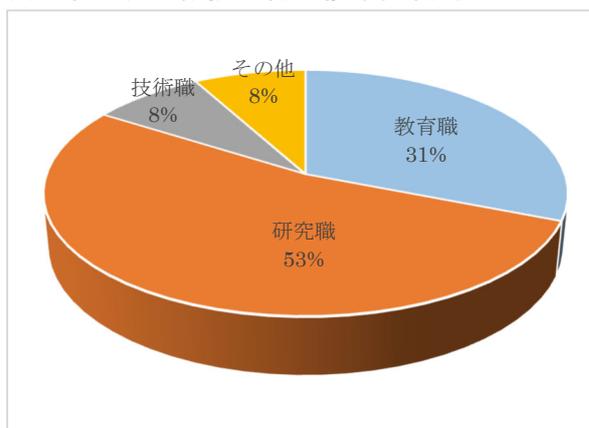
## 2. あなたの将来の志望についてお尋ねします

### (1) 希望する職種（複数回答可）



教育関係(大学等)	16
国・地方自治体	6
民間企業	5
団体関係	3
その他	4
計	34

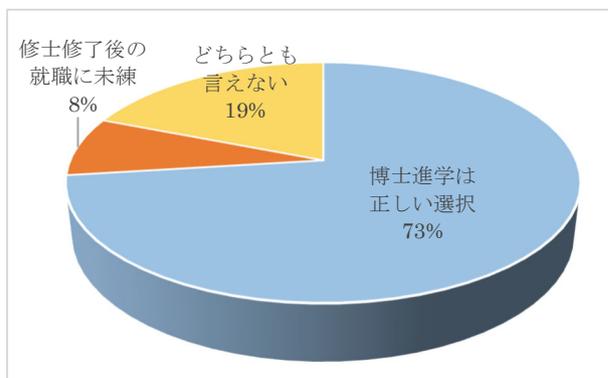
### (2) 希望する職務内容（複数回答可）



教育職	11
研究職	19
技術職	3
その他	3
計	36

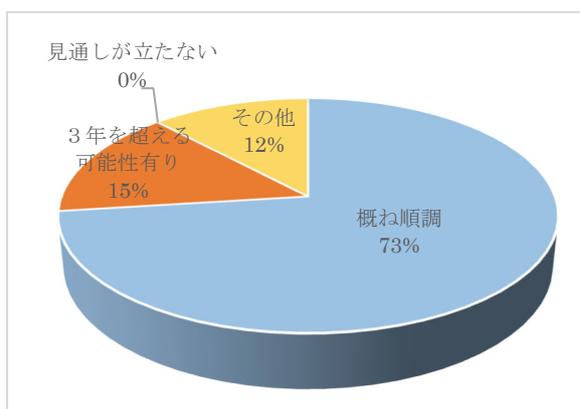
### 3. 鳥取連大の研究指導・教育についてお尋ねします

(1) 第一印象として今の素直な気持ちを選択してください。



博士進学は正しい選択	19
修士修了後の就職に未練	2
どちらとも言えない	5
計	26

(2) あなたは博士課程へ入学して約1～3年が経過しましたが、研究の進展は順調ですか？

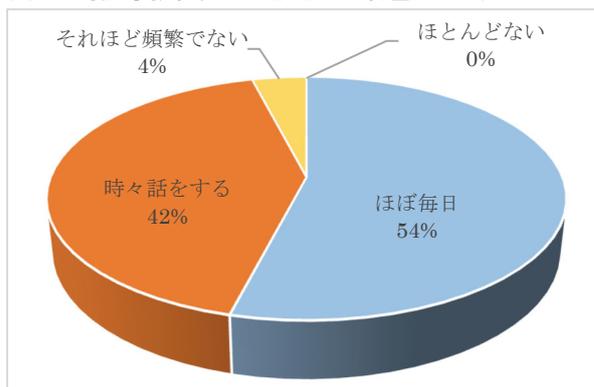


概ね順調	19
3年を超える可能性有り	4
見通しが立たない	0
その他	3
計	26

#### ■その他

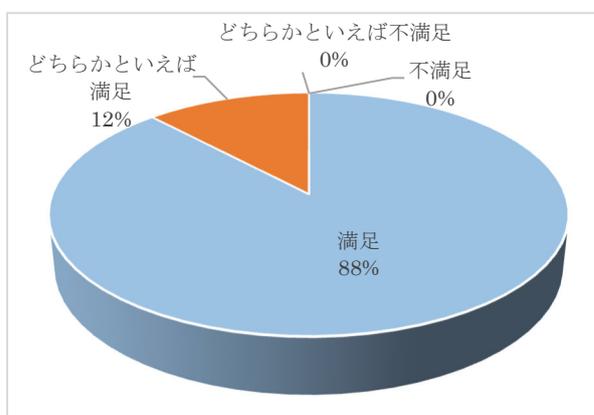
- ・ 予想以上に苦戦しているが少しずつ進んでいる
- ・ everything is on the track
- ・ My supervisor will retire in 2021, March. I'm not sure if going well with next supervisor, maybe need more time.

(3) 主指導教員との意思の疎通は日常的にできていますか？



ほぼ毎日	14
時々話をする	11
それほど頻繁でない	1
ほとんどない	0
計	26

(4) 主指導教員の指導に満足ですか？



満足	23
どちらかといえば満足	3
どちらかといえば不満足	0
不満足	0
計	26

(5) その理由は？

■コメント

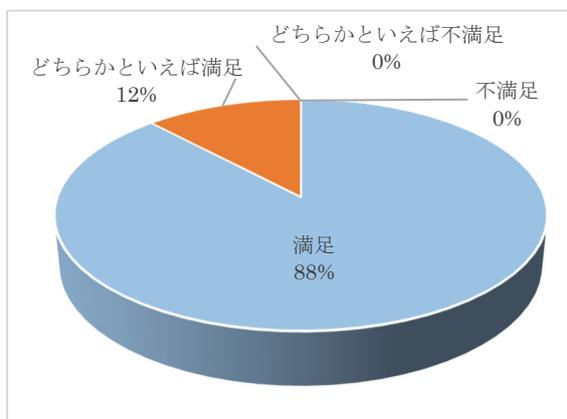
- ・ 研究に対してディスカッションしない日はないくらい毎日研究の話をしている。
- ・ 必要なタイミングで適(的)格に指導していただけるため。
- ・ really helpful
- ・ We are not talked with each other. However, when my supervisor talks to me, he gave many important and brilliant ideas about research.
- ・ 自立を促してくれる。
- ・ アメとムチのタイミングがよい。研究だけでなく進路の相談にもものってもらえている。
- ・ 話し合いたい際はすぐに時間を設けてくれる
- ・ My supervisor advised me regularly.
- ・ Sensei taught me a lot of things and always supported me to write good papers to be at the level of peer-reviewer Journal.
- ・ He provides enough guidance and gives me feedback in short time.
- ・ I am satisfied because we have weekly meeting, we discuss about the results and experiment problems. I usually get suggestions to improve my work and we discuss research ideas.

- He is very helpful when I face any difficulties he tries to sort out the problem in a simple manner.
- My supervisor is a specialist in our field.
- He is very sincere about my study and degree.
- We have good communication, and he is so kind and pays attention to my daily life, health, study. When I had difficulties I always ask him how to do, he always gives me good advices and helps me.
- 職場に来て指導していただくこともあり、非常に手厚い指導を受けさせていただいていると感じています。
- なかなか研究室に顔を出すことができないが、実験、論文作成等ご指導頂けている。

#### ■主指導教員へお願いしたいこと

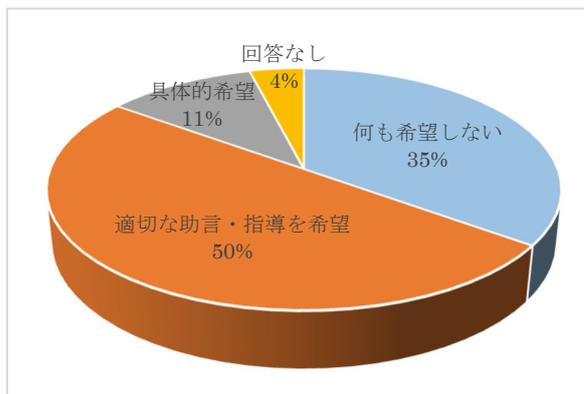
- We need to start to publish our 1st publication this year
- I sometimes feel hesitate to talk to him. Not just because he is busy, but it seems that he wants to discuss my research in a formal way. My request is to talk the research in a more relax condition.
- Keep it up!
- I don't have any request.
- Just fine, we need to continue the same way.
- I have ambition to use the most modern instruments and learn the most recent technologies.
- My sensei, you are very helpful and cordial to me. Please help me further getting my Ph.D. within the time frame.
- No any request
- Very good.

#### (6) 副指導教員の指導に満足ですか？



満足	22
どちらかといえば満足	3
どちらかといえば不満足	2
不満足	0
計	25

(7) 副指導教員に何を希望しますか？



何も希望しない	9
適切な助言・指導を希望	13
具体的希望	3
回答なし	1
計	26

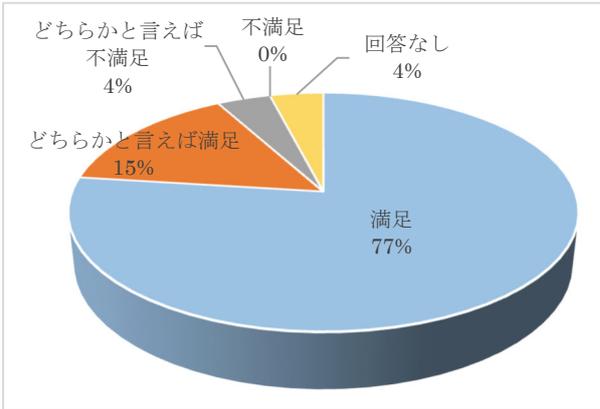
■コメント

- ・満足している
- ・ I'm satisfied with both main and sub-supervisors.
- ・ I am getting feedback from my sub-supervisors in good way and satisfied.
- ・ I want some experimental guideline from sub-supervisor. Example, when I start an experiment for the first time, it is little bit difficult. In that case, I want help from sub-supervisor.

(8) 全般的な教員の指導で改善してほしい点があれば、自由に記入してください。

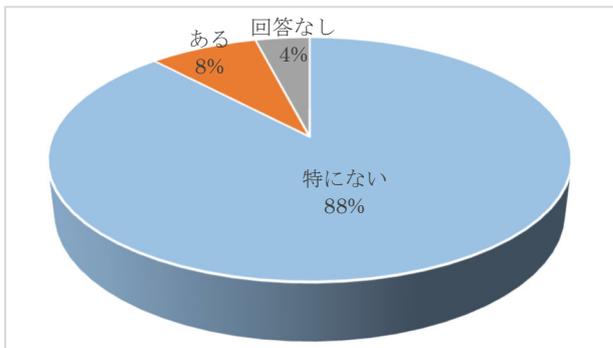
- ・ Next time, please do not any joke about China. Thanks.
- ・ Discussion regularly in a more relax condition will be a good idea to improve the way of guidance.
- ・ I don't have any opinion. Actually, the system is so nice.
- ・ Subject of courses should be more specific and expanded the course time with examination.
- ・ Please contact with the student about progress of research. Accordance to their progress then contact with their supervisor.
- ・ Very kind.
- ・ I noticed that even though we have 漢字 name, but office always use English name. Actually, if we go back country to find job, the Japanese version should have 漢字名前 on our diploma (same as Japanese students). It is important for us use 漢字, in mainland country we don't use English name often. ( English version of diploma is ok.)

(9) 現在の研究環境に満足していますか？



満足	20
どちらかと言えば満足	4
どちらかと言えば不満足	1
不満足	0
回答なし	1
計	26

(10) 研究環境の改善すべきところがありますか？

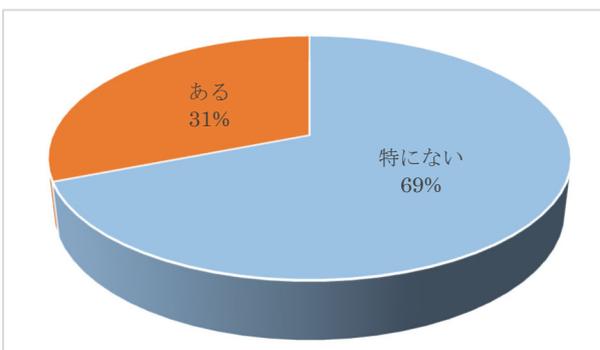


特になし	23
ある	2
回答なし	1
計	26

(11) 問い(10)で「ある」と答えた方は具体的に記述下さい。

- ・作業に集中したい時に、騒がれると気が散るので (時折)
- ・教授間のトラブルで、学内の実験機器が使えない。わざわざ外部の施設で使用料を払って実験することになっている。

(12) 現在の研究以外で取り組んでみたいテーマはありますか？



特になし	18
ある	8
計	26

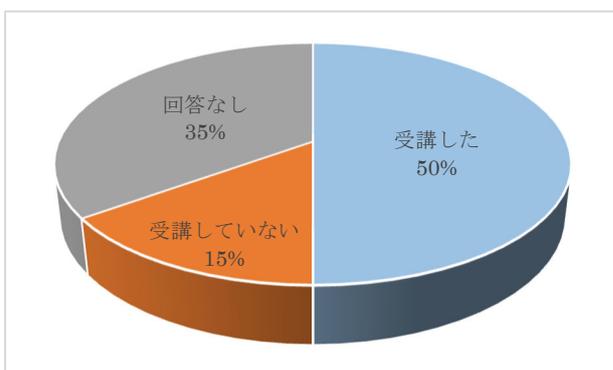
(13) 問(12)で「ある」と答えた方は具体的に記述下さい。

- My previous work were about taxonomy and diversity. I am still keen on it. In the future I will do it both (my current research & previous work)
- CRISPR case 9 things
- I am interested in fields experiment and also exploration in forests. My current research is only limited to laboratory condition.
- 海外へ長期間滞在し、1つのグループ（プロジェクト）を回してみたい。また、他大学との共同研究を行いたい。
- I am interested in working on smart agriculture.
- Learning new languages such as English and Japanese.
- I am interested in the area of plant pathology like microbe-plant interaction. Biological control strategy of plant disease in addition to my current research.
- 遺伝子関連の基礎研究に携わってみたい。クローニングから形質転換等、修士でできなかった部分でもあるので、取り組んでみたい

## 4. 鳥取連大の共通科目についてお尋ねします

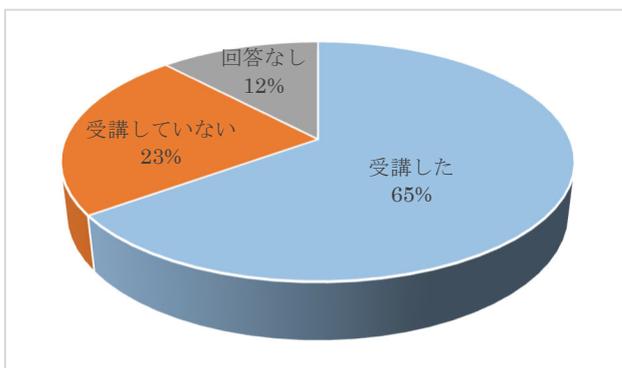
### (1) 既に農学特論を受講しましたか

#### ・農学特論Ⅰ（日本語）



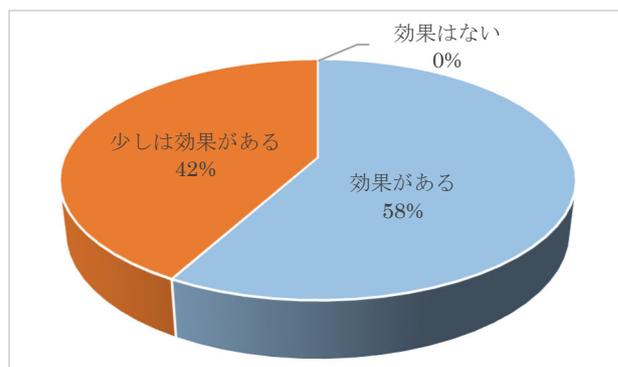
受講した	13
受講していない	4
回答なし	9
計	26

#### ・農学特論Ⅱ（英語）



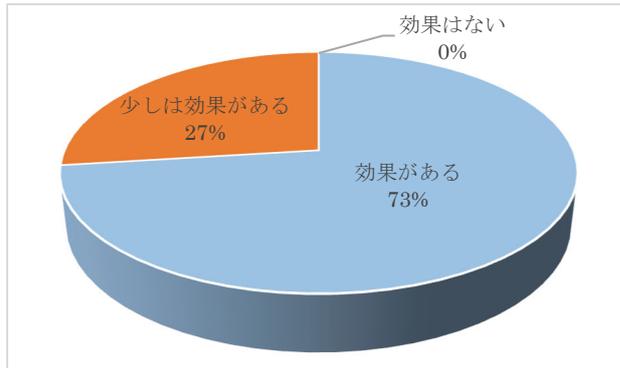
受講した	17
受講していない	6
回答なし	3
計	26

### (2) 農学特論Ⅰ・Ⅱは、あなたの研究を進める上で、幅広く知識を増やすために効果があると思いますか？



効果がある	15
少しは効果がある	11
効果はない	0
計	26

(3) 専攻特論はあなたの素養や能力を高める上で効果があると思いますか？

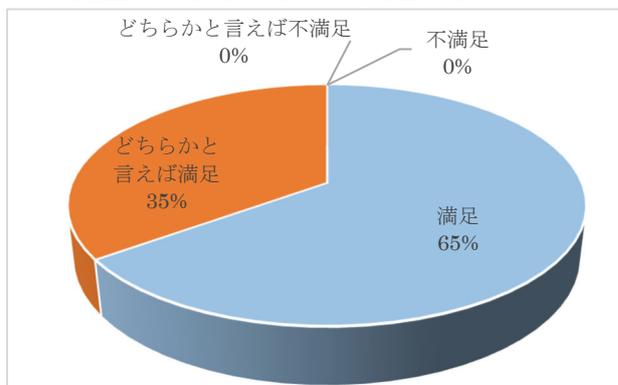


効果がある	19
少しは効果がある	7
効果はない	0
計	26

(4) 農学特論 I・II および専攻特論の開講・運営方法について要望や改善策があれば書いて下さい。

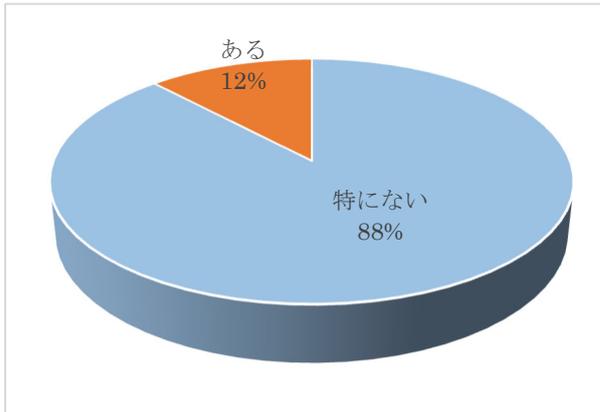
- Presentation time for student need to be a little longer than current
- Next time, if we have to take online course, I think we had better turn on the camera, because that we could make communication with each other. The speaker could understand they follow or not.
- The lectures about how to conduct research, how to write scientific paper, and how to make scientific presentation are absolutely important. I think I need more lecture with long hours about these topics.
- I think every department should have special courses like me in Global Dryland Science. I may have crop science, and any subject in the Dryland area.
- Increase time and more discussions.
- Please arrange related course for the respective Ph.D. student.
- It's difficult to give any suggestions from me. I think it's good.
- Agricultural Science's content is so wide range, maybe it is difficult to understand professional idea, maybe more connect with real society, life, study process, business topics are better.

(5) 現在のカリキュラムに満足ですか？



満足	17
どちらかと言えば満足	9
どちらかと言えば不満足	0
不満足	0
計	26

(6) 現在のカリキュラムの改善すべきところがありますか？



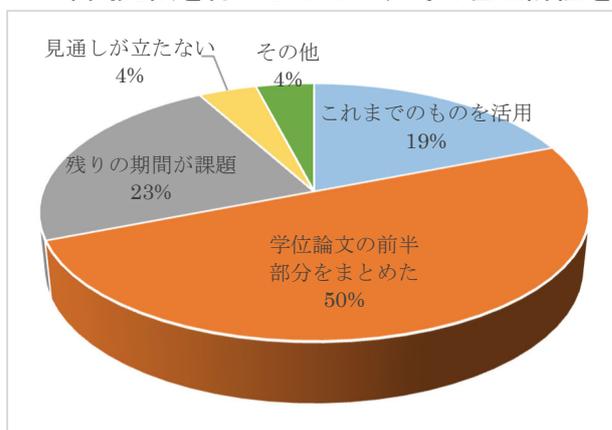
特にない	23
ある	3
計	26

(7) 問(6)で「ある」と答えた方は具体的に記述して下さい。

- ・もう少し、量が少なくても良い。
- ・The curriculum does not include the areas of Socioeconomics / Agricultural Economics fields.
- ・When we became D3, there is less connection with other students. No communication, No chance to know more Tottori University. When we told people about Tottori University, actually we don't have long experience in Tottori Campus. If there have some activities will be fine.

## 5. 科学コミュニケーションについてお尋ねします

(1) この科学コミュニケーションでは、口頭発表とポスター発表という形で自分の研究の中間発表を行いました。その自己評価をお願いします。(複数回答可)



これまでのものを活用	5
学位論文の前半部分をまとめた	13
残りの期間が課題	6
見通しが立たない	1
その他	1
計	26

### ■その他の記述

・I reused the previous contents half, and add some contents.

(2) 今回の特別講義の感想や印象を記入ください。

### ◆ 工藤先生

- ・ビジネスに関するスキル等は不可欠でありながら、触れられる機会が少なかったため勉強になった。
- ・ジョークをまじえた興味深い話で、時間を気にすることなく受講することができた。
- ・これまでにあまり聞いたことがない話が多く、興味深かった。私の研究はすぐにビジネスにつながるようなものではないと考えてきたがこれを期に意識的に見るようにしたい。
- ・I got some enlightenment from his lecture.
- ・I don't like/satisfied with his joke. Otherwise he is a good speaker.
- ・The lecture from Dr. Kudoh gave me a new insight about the importance of intrapreneurship as well as entrepreneurship for researcher like me.
- ・これまでにあまり考えてこなかった顧客とそのニーズの意味や重要性について学ことが出来たので非常に良かった。
- ・普段学ぶこと、知ることが難しいことを学べたと思う。
- ・研究をビジネス的観点で考えることに今まで重点をおいていなかったが、興味深く拝見した。
- ・Good
- ・Excellent
- ・It was nice to know more about other topics such as business. That is totally different from research works, but I think we have to know about different life topics.
- ・Very useful and informative lecture that I will use for planning my research career.

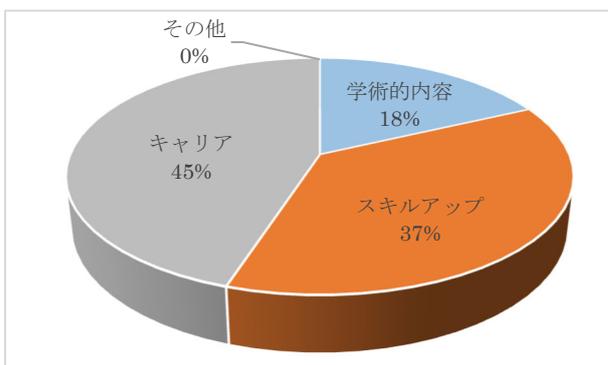
- Very good and highly effective lecture
- It was very useful and very interesting
- I like his lecture, it raised my awareness about a scientist can also be good business man.
- No impression, thanks.
- He is a good person. We learnt a lot of things from him.
- It's very important for my career.
- I learned many thing about scientific business.
- He is so humorous and interesting contents of economics thinking, but not good at English to explain good. Some students told me they don't like the joke to compare China and Taiwan, the sensitive joke. For me, maybe Japanese lecture will be more understandable.
- 民間企業の視点から、科学研究をどのように社会へ活用していくか等を、具体的な手法を紹介していただきながら学ことができました。特に農学においては、マーケットが求めるものを抄出していくことが重要であると、現在の仕事を通じて感じているところであり、科学研究者の視点からどうアプローチしていくかを考えると良い機会となった。
- 入社時の研修等で似た内容の話聞いたことがある。学生時代に今日のようなお話をうかがえる機会があるのは大変良いと感じた。
- 講義の内容はとても勉強になったので、聞いてよかった。ただし、国々の特徴を示していたスライドで、一部政治的な問題に触れるシーンがあり、一部の学生がチャット上で講義の中止を要求していた。工藤先生は特に対応することなく続けていた。

#### ◆ ホーク・フィリップ先生

- 他の受講生と話せる機会にもなり有意義であった。
- 英語が速くて聞き取れないことがしばしばあったが最後まで受講できた。
- 最近英語の論文を書く上で気になっていた疑問が少し解消されたので助かった。英語は今後も必要なスキルなので授業で習ったことも含めて努力していきたい。
- He is the best option to improve my English. Please make longer time for this lecture in the future (4-6 hours).
- I pretty like Dr. Hawke's lecture. Really received a lot from him, hope next time could take his lecture face to face.
- Lecture by Dr. Hawke gave me a practical knowledge about the English skill of writing scientific paper. This skill is very essential for researchers and Ph.D. students.
- The only problem is the very limited time for this lecture. We should have more session on this lecture.
- サイエнтиフィックライティングにおいて必要な英語のルールについて改めて勉強できただけでなく、自分の未熟な部分(弱点) について理解できたので本当に良かった。
- 普段学ぶこと、知ることが難しいことを学べたと思う。
- 今現在、論文執筆中のため、大変有意義なレクチャーであった。
- Good
- Excellent

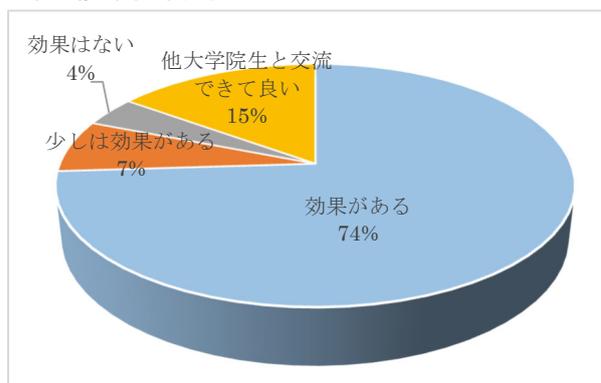
- It was a nice lecture. In particular to science ethics to avoid plagiarism many other related topics.
- I have learned a lot from his lecture. It was at the right time and with my useful contents.
- Very good lecture with highly effective
- It was the most important and useful lecture among them.
- It was extremely useful, it provided precious information about scientific writing which is indispensable for paper writing and future career.
- The lecture is a little bit short. I want to learn more about English writing.
- thanks.
- Excellent motivational person. Learnt a lot about writing skill.
- It's very helpful for writing research paper.
- I learned very important things about research technic and writing scientific article.
- I participated last year (Communication I), already learned the same content and materials. There is no big novel part. I feel a little bit disappointed. He is so nice and professional in writing, maybe it is better to give us more structure example.
- 英語で論文を執筆するにあたって、読み手が読んでいて疲れない、わかりやすくシンプルな校正にすることが重要であり、そのポイントを基礎的な文法を用いながら学ことができた、現在執筆中の論文に活かしたいと思う。
- 講義の内容は今後論文を作成するうえで、非常に役立つと感じたが、リモートでのワークはやり方を工夫した方がよかったと思う。
- 英語論文を書く上での注意点を学ぶことができた。今執筆中の論文にも反映させようと思う。科学コミュニケーションIの時もだが、講義に向けて準備するものを通知するメールが直前になってくるので、もっと早く知らせてほしい。

(3) 今後、セミナーなどの特別講義として聞いてみたい話題は何ですか？(複数回答可)



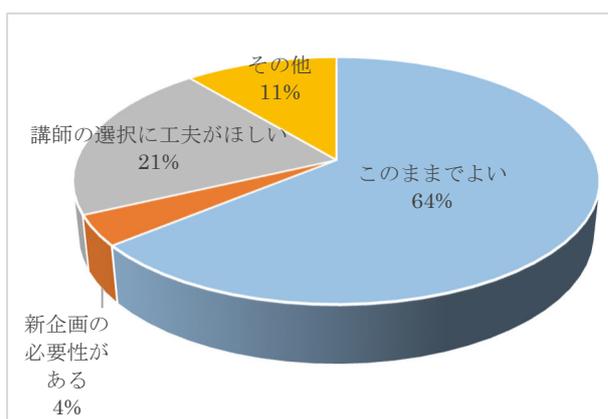
学術的内容	7
スキルアップ	14
キャリア	17
その他	0
計	38

(4) 今回の科学コミュニケーションは、あなたの研究にとって効果があると思いますか。(複数回答可)



効果がある	20
少しは効果がある	2
効果はない	1
他大学院生と交流できて良い	4
計	27

(5) 科学コミュニケーションの内容や運営方法（研修所の設備を含む）についてさらなる改善策があれば書いて下さい。



このままでよい	18
新企画の必要性がある	1
講師の選択に工夫がほしい	6
その他、具体的に	3
計	28

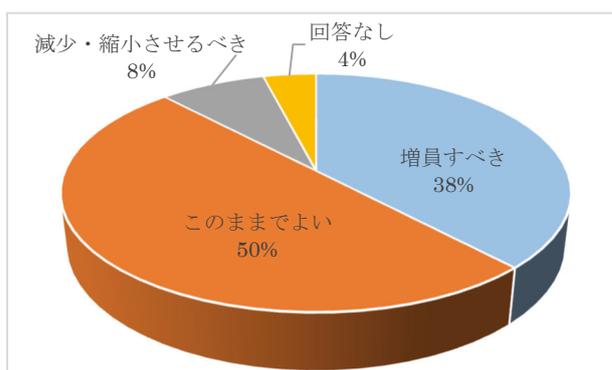
#### ■コメント

- Need more sessions and time for each lecture. I think 3 days is not enough. We should have more lecture to upscaling our academic skills.
- Please include expertise in the areas of socioeconomics fields
- fine
- 1. Internet seminar: We don't see each other, no feedback and response less communication, it's better require student prepare good internet environment for showing face and feedback.
- 2. Oral presentation: In order to smoothing continue every student's presentation, I think it is better to collect all PPT together as archives, and check the content if same as last year, give them limitation of pages, time, structure, like conference. Also, it's better let presentation host to control screen not one by one.

- WebEx や Zoom によるオンライン形式で行ったことは、コロナ対策や山大、島大生の移動や宿泊のことを考えると負担が大きく減ってよかったと思う。ただ、口の動きや表情、ジェスチャーなどがカメラをオフの状態では全く感じとることができず、コミュニケーションのことを考えると、直接あって議論することに比べると大分劣るのではないかと感じた。Zoom やオンラインならではの発表スキルが身につくことはプラスに考えている。
- Special Seminar is good, but I think foreigner teacher or professor is better for us, if they worked in Japan. Same background, give us more practical skills and advices to suit.

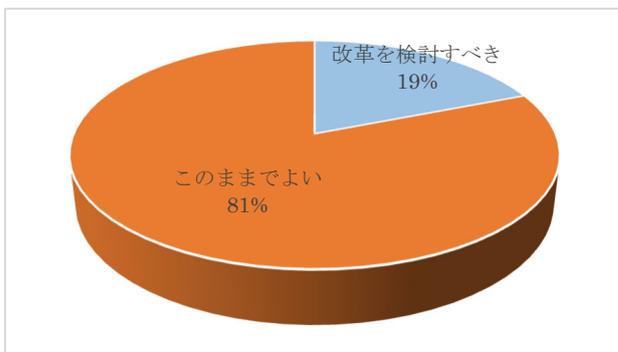
## 6. その他

(1) 現在の定員は3大学合わせて1学年19名です。今後、定員数を変えることについてどう考えますか？



増員すべき	10
このままでよい	13
減少・縮小させるべき	2
回答なし	1
計	26

(2) 現在の組織は、3専攻・8連合講座ですが、この組織構成についてどう考えますか？



改革を検討すべき	5
このままでよい	21
計	26

## 7. 連合大学院の発展や後輩のためにご要望やご意見をお聞かせください

- There is a need to improve the admission/information managerial to student.
- You did well. Thanks.
- UGSAS should practical itself, so many university students, as well as researchers in the world, particularly in East and Southeast Asian country know and familiar with UGSAS and probably they will send their students or staff to study at UGSAS.
- Keep it up!
- Prepare specific courses with examination to improve the level of specific area.
- This suggestion may help future international students. Some parts of Tottori University website is available in Japanese only such as my library. It will be extremely helpful for international student to use if English version also exist.
- UGSAS only have programs of academic activities, I would like to participate in more experience lecture, increasing contact with Tottori campus students, learn more about Tottori 事情.
- I usually lived in Shimane campus, there is no chance to participate in activities in Tottori University. When I introduce Tottori but I don't know more about that.
- I think UGSAS can send more messages about event of anything which we can participate in, online lecture, activities, communication and so on.
- 修士課程の学生へ、連合大学院の PR 活動（各ゼミ、ラボに連大生を招く等）を行うと、興味を持ってもらいやすいかと思えます
- 連大の学生証の機能を各配属大学で拡張してほしい。  
山口大学では、図書館にも入れない。生協や学内のショップでは、決裁において電子決済化が進んでいるが、鳥大の学生証は非対応だといつも断られ、通常のサービスが受けられない。

## 「学生及び教員の研究活動」の掲載基準

### 学生の研究活動

1. 令和2年度に在籍した学生の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの研究活動を掲載した。
2. 公表論文  
著書，学会誌，大学・国公立研究機関の学術報告等に公表したものを掲載した。  
なお，複数の連大学生による共著論文は，それぞれの学生が1編として掲載した。
3. 学会発表  
国際及び国内学会等で口頭発表したものを掲載した。連名の場合は発表者に\*印を付した。  
なお，複数の連大学生による連名での発表は，それぞれの学生が1件として掲載した。
4. 学会等招待講演  
国内及び国際学会等主催の講演会，シンポジウム等で招待講演したものを掲載した。連名の場合は発表者に\*印を付した。
5. その他  
上記項目以外で特筆すべきものがあれば掲載した。

### 教員の研究活動

1. 令和2年度における有資格教員の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの研究活動を掲載した。  
なお，当年度に退職及び転出した教員の一部については除外した。
2. 公表論文  
著書，論文，その他に区分し，連合講座ごとに著者の刊行月の古いものから順にまとめて掲載した。  
なお，複数の連大教員による共著論文は，まとめて1編とした。
3. 招待講演  
国際及び国内学会等における講演会，シンポジウム等での招待講演を連合講座ごとに講演年月順にまとめて掲載した。  
なお，複数の連大教員による連名での講演は，まとめて1件とした。
4. 学術賞等の受賞  
受賞者，賞の名称，受賞年月日を掲載した。
5. 研究助成金  
科学研究費補助金は，研究代表者のみ掲載した。奨学寄附金等（奨学寄附金，受託研究，民間等との共同研究）は，受入教員名とその件数を記載した。

年 報 令和 2 年度

---

令和 4 年 3 月 発行

編 集 鳥取大学大学院連合農学研究科  
編 集 委 員 会

発 行 鳥取大学大学院連合農学研究科

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4 丁目 101

☎ 0857 - 31 - 5445

---

